

あなたにぴったりのジョブが見つかる

Hitachi Job Matching Navigator

「ジョブマッチング」

これは日立のオリジナルの採用方式です。

自分に最適な仕事を見つけ出せるように。

ジョブマッチングナビゲーターは、

そんな思いで生まれました。

数多くのジョブが存在するからこそ、

「こんな仕事もあるんだ！」

「こっちの方が自分に合っているのかも。」

そんな出会いが、きっとあるはずです。

あなたが輝ける仕事を、

ぜひここで見つけてください。

答えはきっと、1つじゃない。

あなたの
キャリアを、
ここから

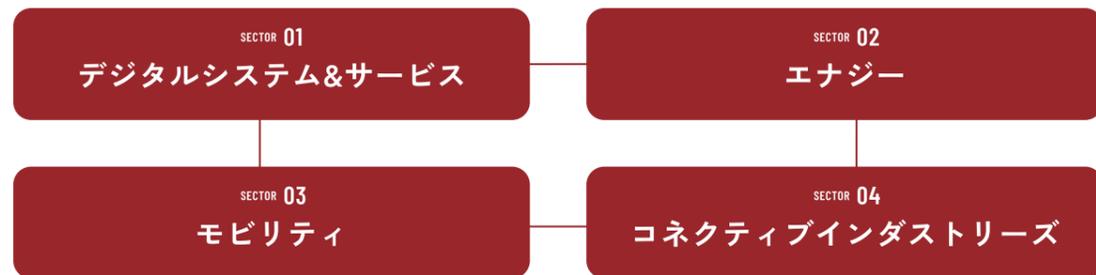
事業領域

日立グループは、デジタル技術を用いて高度な社会インフラをグローバルに提供し、人々のより良い暮らしを実現する「社会イノベーション事業」で、気候変動・都市化・少子高齢化など世界中の課題解決に貢献しています。



社会イノベーション事業を支える4つの柱

グローバルで社会イノベーション事業のさらなる進化と成長をめざし、以下の4セクターで事業を推進しています。



“One Hitachi”

日立グループ各社が地域・部門の枠を越え、それぞれの分野で培ってきた技術や知見を集結し、一体となって目指す未来に向かって取り組む、それが私たちの大切にしている価値観“One Hitachi”です。

4つのセクターとそれを支える2つの部門

デジタルシステム&サービス

POINT

生成AIやクラウド、セキュリティなどの先進のデジタル技術を活用して、データから価値を創出する高度なデジタルソリューションを提供し、社会インフラをトランスフォームすることをめざしています。

SECTOR 01

マッチング対象部門



エナジー

SECTOR 02

POINT

IT（情報技術）×OT（制御・運用技術）×プロダクト（製品・設備）とグリーンテクノロジーを統合し、デジタルでエネルギーネットワークを高度化することで、脱炭素・レジリエンス・安心・安全を備えた電力供給を世界中に広げることがめざしています。

マッチング対象部門



モビリティ

SECTOR 03

POINT

鉄道車両のみならず信号システムなどにおける保守事業も含めて、持続可能なサービス事業の拡大・伸長をはかることで、安全、安心、快適でグリーンな移動を提供することをめざしています。

マッチング対象部門



コネクティブインダストリーズ

POINT

競争力の高いプロダクトにデジタルを組み合わせ、フロントラインワーカーの生産性向上に資するソリューションを提供するなど、社会全体のウェルビーイングの実現をめざしています。

SECTOR 04

マッチング対象部門



研究開発

DEPARTMENT 01

POINT

新領域を開拓する研究開発をはじめ、長年培ってきた技術の融合により革新的な製品・サービスの創出に取り組んでいます。世界一の技術をめざし国内外のさまざまな専門性を持った研究者が連携し研究開発を推進しています。

マッチング対象部門



コーポレート

DEPARTMENT 02

POINT

各部門が連携し、製造技術の強化、デジタル変革の推進、人材マネジメントなど、グループ全体の戦略立案と経営支援を担い、社会イノベーション事業の推進と持続可能な成長を支えています。

マッチング対象部門



創業 **110** 年以上

1910年。日立の源流は、激動の明治時代に生まれた青年エンジニアの志に遡ります。彼の名は小平浪平。「自らの力で電気機械を製作したい」という学生時代から抱いていた熱い想いによって、日立は誕生したのです。

沿革

連結売上収益

9.8 兆円

※(2025年3月期)2022年度に非連結化した日立金属、日立建機および2023年度に非連結化した日立Astemoを除いた今後の連結事業(3セクター)で示しています。

100 を超える国と地域で事業展開

連結研究開発費

2,594 億円

日立グループでは、売上収益の約3.0%に相当する額を研究開発に投資しています(2025年3月期)

特許出願公開件数

約 **7,200** 件

※2023年国内外延べ件数

TOP100グローバル・イノベーター

14 年連続選出

クラリベイト社「Top100グローバル・イノベーター」に14年連続選出(2024年度実績)

出産・育児休暇後の復職率と定着率

性別	復職率	定着率
男性	100.0%	98.2%
女性	97.5%	98.7%

(2024年度実績)

グループ従業員数

約 **28** 万人

※連結子従業員数282,743人(2025年3月31日時点)

グループ企業

約 **900** 社以上

※連結子会社数:618社(2025年3月31日時点)

海外売上比率

61 %

日立グループの全売上高のうち、実に59%が海外での売上高に相当。グローバルに事業を展開しています。(2025年3月期)

若手海外研修参加者

合計 約 **5,000** 人以上

現地の文化・生活を理解し対応できる人材へと育成するため、日本国外での業務・生活を体験するプログラムを実施しており、2011年度から若手のグループ社員を12年間で合計5,000人以上派遣しています

2024年度売上収益 **97,833** 億円

セクター	割合
デジタルシステム&サービス	27%
グリーンエネルギー&モビリティ	36%
コネクティブインダストリーズ	32%
その他	5%

※ 数値は2023年度に適用した新セグメント区分に基づいています。
 ※ 2022年度に非連結化した日立金属、日立建機および2023年度に非連結化した日立Astemoを除いた今後の連結事業(3セクター)で示しています。

2,000 人の「返仁」?!

日立には「日立返仁会」という博士号の学位を有する者(在籍者とOB)の集まりがあります。日立創業メンバーの一人である馬場桑夫(くめお)博士が、後進の育成にあたり博士号の取得を奨励したことに端を発しています。※馬場博士の持論「凡人、才子にあらざる変人たれ!」ということばから「変人会」と称しましたが、1959年に現在の「日立返仁会」に改称されました。



「就社」ではなく「就職」

どんな仕事をするのかわからないまま入社することは、とても不安なことだと思います。
多少時間と手間をかけても、仕事内容を詳しく理解し、働くイメージを深めながら就職活動を進めてほしいと日立は考えています。

あなたの希望する事業分野が選べる日立オリジナルの採用方式

HITACHI JOB MATCHING

*本誌では、理系職種・分野についてご紹介しています。

THREE POINTS OF JOB MATCHING ジョブマッチングの3つのポイント

01 選べるマッチング単位は1つじゃない

1つに絞ることが難しくても問題ございません。
日立製作所では最大3つ、グループ会社では制限なく応募が可能です。

02 内々定と同時に配属先も決定

内々定のタイミングで配属先が決定するため、
ご自身の入社後の仕事が決まった状態で決断することができます。

03 日立グループ会社の一部も応募が可能

選べるジョブは日立製作所だけでなく、
一部のグループ会社も含まれるため、選べる事業の幅も広いです。

※本誌記載のマッチング単位・分野は2026年3月1日時点のものです。今後の変更につきましては、Hitachi Recruiting My Pageにてお知らせいたします。

ジョブマッチング対象範囲

日立製作所

事業分野別に分かれた「ジョブマッチング」を実施

- AI・デジタル・データサイエンス P12
- 研究開発グループ P16
- 鉄道ソリューション P20
- インダストリアルデジタル&オートメーション P22
- 水・環境ソリューション P26
- エネルギーソリューション P30
- IT デジタルソリューション P36
- 防衛・社会インフラ安全保障ソリューション P42
- 社会インフラコントロールシステム P44
- コーポレートIT デジタル部門 P52
- モノづくり戦略本部 P54

グループ会社

- 日立インダストリアルプロダクツ P56
- 日立グローバルライフソリューションズ P60
- 日立チャネルソリューションズ P64
- 日立ハイテク P68
- 日立マネジメントパートナー P72
- 日立ビルシステム P74
- 日立ヴァンタラ P78
- 日立産業制御ソリューションズ P80
- 日立プラントコンストラクション P84

Hitachi Recruiting My Page

URL : <https://www.e2r.jp/ja/hitachi2027/>



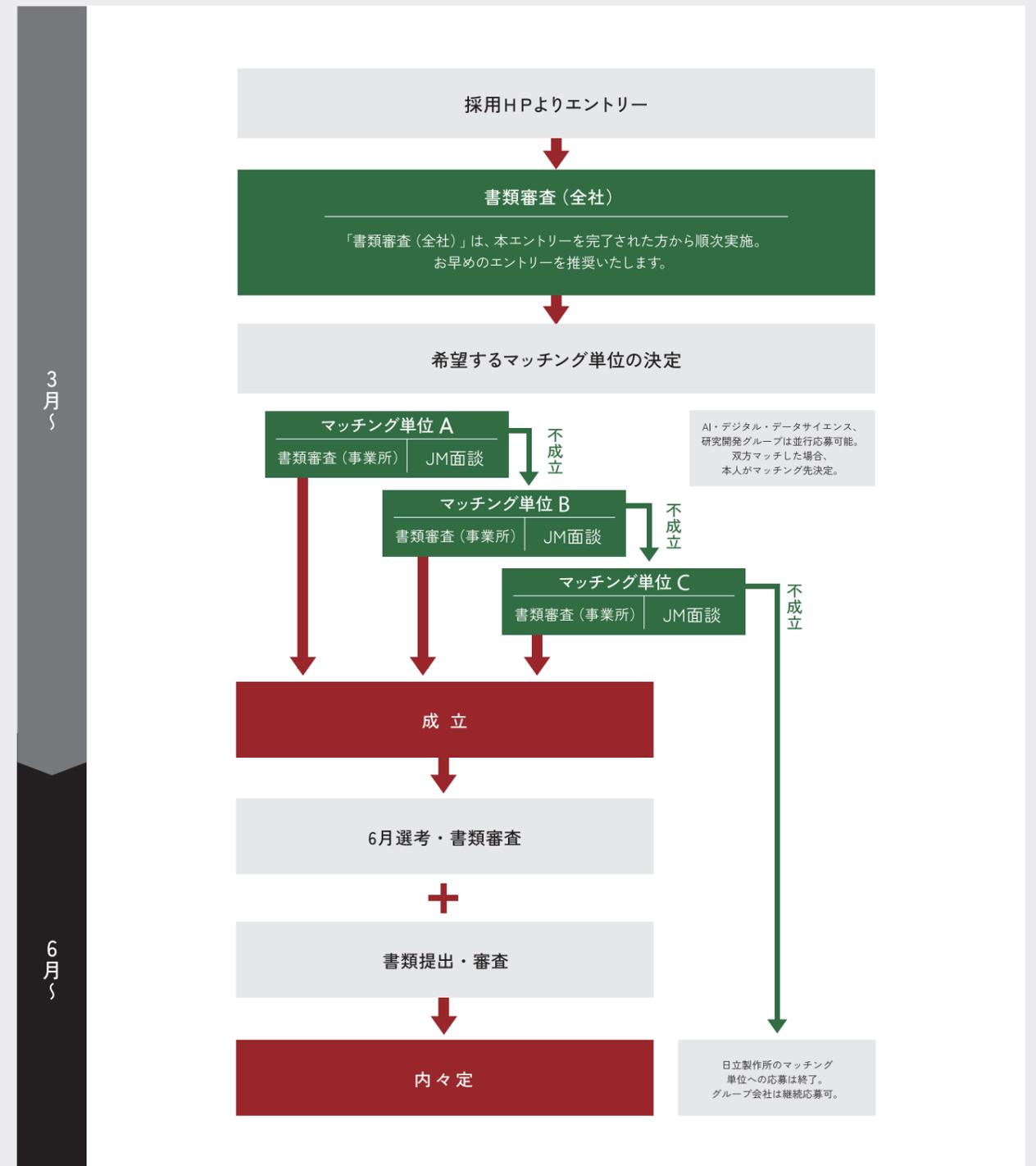
JOB MATCHING PROCESS ジョブマッチングの流れ

応募方法

- ご応募につきましては、学科を問わず「自由応募」にて受付いたします。
学校推薦での応募は受付しておりませんので、ご了承ください。
- 日立製作所のマッチング単位は最大3カ所。グループ会社のマッチング単位は応募数に制限はありません。
- グループ会社のマッチング単位は日立製作所のマッチング単位と並行して応募が可能です。
(ただしグループ会社同士の並行応募は不可)

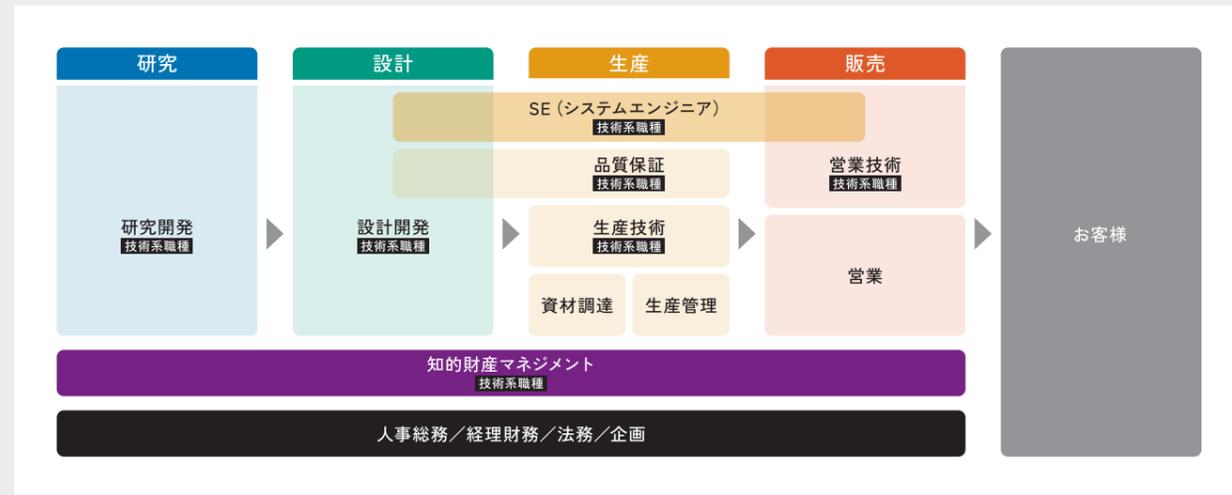
マッチング成立後

- 入社を希望する場合は、6月選考に申込。



職種紹介

職種の全体像



日立には多種多様な「職種」があり、それらが多様にコラボレーション（協業）することによって新しい事業・新しい技術を生み出しています。

理系の皆さんを対象とした技術系職種は、研究開発、設計開発、システムエンジニアなど幅広く活躍の場が広がっています。

「自分はこういう仕事・働き方をしたい」というものがきっと見つかるはずですよ。

職種インデックス

JOB CATEGORIES INDEX

マッチング単位・会社名	研究開発	設計開発	SE システム エンジニア	生産 技術	品質 保証	営業 技術	その他
AI・デジタル・データサイエンス	●		●			●	
研究開発グループ	●						
鉄道ソリューション		●	●	●	●	●	
インダストリアルデジタル&オートメーション		●	●				
水・環境ソリューション		●	●			●	
エネルギーソリューション		●	●	●	●	●	
ITデジタルソリューション		●	●		●		
防衛・社会インフラ安全保障ソリューション		●	●		●		
社会インフラコントロールシステム		●	●		●		
コーポレートITデジタル部門			●				
モノづくり戦略本部		●	●	●			
日立インダストリアルプロダクツ		●		●	●	●	
日立グローバルライフソリューションズ		●		●	●	●	●
日立チャネルソリューションズ		●	●		●		●
日立ハイテク	●	●		●	●	●	●
日立マネジメントパートナー			●				
日立ビルシステム	●	●	●				
日立ヴァンタラ		●	●		●		
日立産業制御ソリューションズ		●	●		●		
日立プラントコンストラクション	●	●			●		●

研究開発

RESEARCH AND DEVELOPMENT

事業発展に不可欠な技術開発、特定目的の素材研究や製品に直結した研究、グローバルなネットワークづくりのための総合的なシステム開発など、R&D部門のエンジニアが扱うテーマは、基礎研究から応用研究まできわめて幅広く、クリエイティブとチャレンジ精神が求められる仕事です。その活動拠点は世界5極（日本、北米（米州）、欧州、中国、APAC（Asia-Pacific））にあり、グローバルに連携して研究を推進しています。

設計開発

PRODUCT DEVELOPMENT

進化する技術を反映し、製品として結実させ世の中に新しい価値を提供していくことが、設計開発の役割。日立の技術力をバックボーンに、時々刻々と変化するマーケット動向や社会的ニーズに即応して、機器やシステムの企画・開発から製品化までを手がけます。例えば、IT分野ではサーバなどのハードウェアやソフトウェア、インダストリー分野では各種発電設備、モビリティ分野では交通システムや昇降機などを開発・製品化しています。

SE

システムエンジニア
SYSTEM ENGINEER (SE)

政府・自治体、企業などめざす未来を共有し、それを実現するシステムを企画・設計・開発するのがSEの仕事。ただシステムを設計するだけでなく、どんなサービスを実現するのか、それを使って働く人々とう連携するのか、サービスそのものや業務の内容にも関わります。実は机を離れて、多くの人に会い議論することも多い仕事。システムのプロとして専門技術に通じ、日立発の新しい技術を生み出すプロもいます。さまざまなプロの形がある仕事です。

生産技術

MANUFACTURING ENGINEER

生産量の拡大、生産効率の向上を技術面から実現させていく役割を担っています。横浜研究所を研究拠点として、それぞれの事業部が生産技術部門を設置。これらの中核として、生産効率拡大のための生産技術の開発・実用化を追求し、製品のコストパフォーマンスを高めています。情報システムの構築活動に生産性向上の面から寄与するソフトウェア生産技術エンジニアも含め、その活躍の場は、全事業分野に広がっています。

品質保証

QUALITY ASSURANCE

「品質の番人」として、製品・システムが安心・安全であることをチェックするのが品質保証です。常にお客様の立場に立ち、上流工程から製品・システムが所定の機能・性能・耐久性などを確実にクリアしているかどうかをチェックし、問題の発生を未然に防ぎます。「品質こそ日立製品の本質」をテーマに、品質保証技術の開発・実用化を推進することもその仕事の一部。各事業グループ・事業部門において、厳密なチェックを実施しています。

営業技術

TECHNICAL SALES

営業活動を技術的側面から支援する仕事です。お客様ニーズを実現するために解決すべき技術的課題の抽出、社内の各関連部署と調整などを行い、ソリューション設計の礎を築いていく。また、単に製品を納めるだけでなく、お客様自身が気づけていない問題や課題を探索し、日立グループの総合力を活用して具体的解決策まで提供していきます。

AI・デジタル・データサイエンス

お問い合わせ先

研究開発
talent.acquisition_rdg.gv@hitachi.com
データサイエンティスト・DXコンサルティング
saiyou.job.bt@hitachi.com



所在地

国分寺サイト 〒185-8601 東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地	茨城サイト 大みか地区 〒319-1292 茨城県日立市大みか町七丁目1番1号	茨城サイト 勝田地区 〒312-0034 茨城県ひたちなか市堀口832番地2号	横浜サイト 〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地
---	--	--	---

【データサイエンティスト】主な拠点 — 配属部署により勤務地が異なります。 東京都、神奈川県 ※担当業務により顧客先への常駐の場合あり。
【DXコンサルティング】主な拠点 — 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー



多様なデータから価値を創出し、 AI・データアナリティクス技術で デジタルイノベーションを加速する。

近年、IoTの進展により、社会やビジネスが生み出すデータが急増し、そのデータがビジネスの新たな価値を生み出す源泉となっています。日立は、さまざまな事業領域のお客様と共に「デジタルイノベーション」に取り組み、データサイエンス、AI、メディア処理などの技術を活用して新たなビジネスを迅速に立ち上げています。これにより、社会イノベーション事業を推進し、お客様の企業価値向上と人々のQuality of Life向上をめざしています。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業領域	デジタルシステム&サービス	エナジー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES 職種紹介

研究開発

新しい価値を創出する「デジタルイノベーション」に向けて、研究開発では、コア技術のグローバルNo.1化を進め、IT×OT×プロダクトのソリューションを加速します。グローバル企業の前頭に立ち、これまでだれも実現していないイノベーションに挑戦していきます。

データサイエンティスト

社会の次なるビジョン実現に向けて、データから価値を創出し、ビジネス上の課題を整理・解決に導くことで、お客様のデータ活用をトータル支援します。仕事内容は、顧客課題把握、AI等を活用したデータ分析とアクション創出/分析結果のフィードバックによる経営課題解決、さらにデータ活用によるサービス・ソフトウェアの開発まで多岐にわたります。

DXコンサルタント

DXを起点にお客様へのコンサルティングやソリューションの企画開発を行う仕事です。GlobalLogic社を含む日立グループの力を活かし、顧客と伴走するDX Partnerとして企業価値向上&価値創生を支援。お客様の課題解決を実行し、日立の社会イノベーション事業を牽引しています。

MATCHING FIELD マッチング分野

01 研究開発(先端AI・データサイエンス分野)

AIやデータサイエンスの最先端技術を駆使し、社会課題の解決やビジネスを革新する研究開発を行っています。映像・音声・言語など現場のリアルなデータの解析やAIアルゴリズムの開発により、新たなデジタルソリューションを創出しています。また、基盤技術創生に取り組み、トップカンファレンス採録・国際コンペ上位獲得などの実績を積み重ね、業界をリードしています。エネルギーや鉄道分野をはじめグローバルに活躍する機会が広がっています。

研究開発(先端AI・データサイエンス分野)の代表的な研究内容

1 社会インフラ向けインテリジェンス研究

電力、鉄道、工場などの社会インフラシステムの設計・運用を高度化するAI技術、AI Agent 技術を開発するとともに、AIの社会実装まで責任を持つことで、社会および社会インフラのAIトランスフォーメーションを加速。AIと人間、組織、システムの共進化により社会イノベーションに貢献します。

【主な研究内容】
Nuero-Symbolic AI, 構造理解AI, 強化学習, 知識処理・ナレッジグラフ, 数理最適化, モデリング・シミュレーション, リモートセンシング, Human-Machine Interaction, Physics Informed ML, 時系列データ処理(時系列Foundation Model), タンバク質言語モデル アプリケーション例: 経営・意思決定支援, AI for Science, Materials Informatics, Bioinformatics, 衛星画像解析, ナレッジマネジメント, 製品設計支援, インフラ運用支援, 経営・業務コンサル支援

3 メディアインテリジェンス研究

言語・音声・音響・時系列信号処理、リライアブルAI、知識獲得など、人や社会との接点となるAIの研究開発を進めています。マルチモーダルデータを対象に理論的探究を深めることで、生成AIの新たな地平を切り拓き、実用性と革新性を両立するソリューションの創出をめざします。

【主な研究内容】
生成AI(業務特化型LLM, AIエージェント、マルチモーダル(音響/図表/言語/時系列信号等))、自然言語処理(LLMのための知識抽出・構造化、対話・論述構造解析、自然言語推論、ファクトチェック)、対話エージェント、強化学習、信頼できるAI(説明性・透明性・公平性・頑健性などの診断と改善)、Agentic AI(信頼性、自己改善、記憶管理)、音声/音響/時系列汎用基盤モデル(音声: Full Duplex音声対話、Speech-to-Speech、音響: 異常音検知、Audio QA and Reasoning、Text-to-Audio、時系列: 予測/復元/検知、Signal QA and Reasoning、Text-to-Signal)
応用例: フロントワーカー支援、コンタクトセンター支援(チャットボット、自動音声応答)、保守業務支援、ドキュメント・インテリジェンス(契約書・報告書の自動分析)、応対品質評価・VOC(顧客の声)分析、知財情報分析、故障予兆診断



02 研究開発(先端デジタルテクノロジー分野)

AI時代のデジタルサービスの実装にむけて、AIエージェント基盤、データパイプライン、知識データベース、ネットワーク分散AI、エッジクラウド、OSS、AIデータセンター、ストレージシステムなどの研究開発を進めています。日立製作所がささえる、エネルギー、鉄道、製造、医療、金融、公共の各現場で働く人々のための社会イノベーションに貢献します。

研究開発(先端デジタルテクノロジー分野)の代表的な研究内容

1 サービスコンピューティング研究

AIデータセンターおよびAIエージェントとエネルギー・産業分野等の実業を支えるシステムを組み合わせ、現場の課題を解決するサービスを構築・継続運用する研究を行い、人材不足、生産性向上や脱炭素社会の実現などの社会課題解決に貢献しています。

【主な研究内容】
データセンター、生成AI開発基盤、生成AI活用サービス、クラウドネイティブアーキテクチャ、コンテナ、ブロックチェーン/Web3、IoTプラットフォーム、マルチAIエージェント協調、DevOps、AI Ops、SRE (Site Reliability Engineering)、OSS
応用例: 分散データセンター間における計算負荷の制御等を活用した統合マネジメント、スマートビルIoTサービス、ITシステム運用管理者向け生成AI活用アシスタント、Web3を支える分散IDプラットフォーム技術、マルチAIエージェント協調によるシステム開発自律化、生成AI活用によるシステムアップデート自動化(AIリフト&シフト)

3 エッジインテリジェンス&エッジ・クラウド連携システム研究

実世界とデジタル空間、分散した拠点やシステム、現場の知識や経験を要件に合わせて「つなぐ」ことで新たな価値を創出する研究開発に取り組んでいます。その実現に向け、AI技術、ネットワーク・通信技術、エッジ・クラウド連携データ処理技術等の先端デジタル技術を活用しつつ新たな技術を開発し、鉄道やエネルギー、製造を始めとする様々な業界の業務変革を実現する社会イノベーションに貢献します。

【主な研究内容】
・AI技術: 分散AI、エッジAI、業務特化AI、連合学習、Physical AI
・ネットワーク: 5G/6G、通信制御、SDN(Software Defined Network)、無線システムエンジニアリング
・データ処理: データ統合・分散データ処理、エッジコンピューティング
・実世界融合: CPS(サイバー・フィジカルシステム)、デジタルツイン

2 ビジョンインテリジェンス研究

映像解析をコアとしたマルチモーダルAI技術、日立の次世代AIエージェント「Navy」を用いた人とロボットの協働、Physical AIの研究開発に取り組んでいます。鉄道、製造現場、電力プラント、公共インフラ、パブリックセーフティ、メディカルなどの事業ドメインを対象に、社会イノベーション事業を創生・牽引し、だれもが安心・安全・健康かつ能力を発揮できる社会の実現に貢献します。

【主な研究内容】
技術: コンピュータビジョン、画像・図面認識、行動認識、暗黙知抽出、マルチモーダルAI(LLM、VLM、VLA)、AI Agent、Diffusion Model、XR、3D Graphics、センサ信号処理、感覚拡張、HCI、Physical AI、Embodied AI、World model、Robot collaboration
アプリケーション例: Navy、現場拡張メタバース、災害状況把握AI、医療画像診断AI、作業訓練、現場作業支援、現場安全確認、映像監視、バイオメトリクス、家電製品向けAI、OTナレッジマネジメント



2 データ&ナレッジマネジメント研究

産業機器や社会活動から生み出されるデータに対し、環境・社会・経済に役立つ知識を抽出し、お客様に新たな価値を提供するデータ&ナレッジマネジメント技術を開発しています。電力、交通・都市、産業、金融・公共などの様々な業種に向け、拠点や組織に散らばっているデータを管理・検索する分散データ統合管理技術や、それらデータを掛け合わせて迅速に知識を抽出する知識活用技術の研究に取り組んでいます。これらの研究成果を通じて、データや知識に基づきお客様のDXを加速し、社会イノベーションに貢献します。

【主な研究内容】
データベース、データカタログ、根拠データ管理、マルチモーダル向けデータレイク、生成AIデータパイプライン、AIエージェント、デジタルツイン、データモデリング、知識グラフ、暗黙知マネジメント、デジタルオプザバトリ

4 データストレージ研究

AI時代の爆発的に増大するデータの活用・管理を支える大容量・高信頼のデータストレージ技術を研究開発しています。コンピュータアーキテクチャやAIを活用したデータ削減、クラウドストレージ、大規模AI向け基盤などを追求し、日立の製品としてグローバルな企業で活用されています。

【主な研究内容】
大規模AI向けデータ基盤(コンピューティング及びストレージ)、AI学習・推論処理(高速化など)、AI活用技術(システム運用管理、画像圧縮など)、パブリッククラウド活用技術(クラウドストレージサービス、クラウドへのバックアップなど)、分散ストレージ、省電力技術、ハードウェアアーキテクチャ(CPU、メモリ、ネットワーク、GPU、FPGAなど)、ソフトウェアアルゴリズム(高速入出力処理、圧縮/重複排除、データ保護など)

03 研究開発(社会システムイノベーション分野)

社会インフラや産業システムを支えるシステムやサービスの研究開発を行っています。AI、IoTやクラウド技術を活用した大規模なシステムの設計・構築を通じ、複雑さを増す社会課題やビジネス課題を解決し、効率的で柔軟なソリューションを提供。これらで多岐にわたる業界で蓄積してきた豊富な知識や経験を活かし、信頼性・安全性の高いシステム基盤を提供することで、デジタル社会の発展に貢献しています。

研究開発(社会システムイノベーション分野)の代表的な研究内容

1 社会インフラアーキテクチャ研究 ～実世界数理モデリング～

電力や鉄道などの社会インフラでは、AI・デジタル活用が進んでいない非効率な運用が残っています。その運用をシステムモデル化し、問題解決のためのデジタル技術を開発することで、社会全体の効率化に貢献します。

【主な研究内容】

電力システムモデリング、エネルギーマネジメント、鉄道運行制御システムモデリング、生成AI活用鉄道運行業務支援、モビリティ・エネルギー協調運用、メンテナンスレコメンデーション、制御クラウドプラットフォーム、AI・生成AI活用数理最適化

3 ビジネスアーキテクチャ研究

AI・デジタルの最先端技術と日立が培ってきたOTナレッジ、デザイン技術を掛け合わせ、グリーンとデジタルの成長分野における社会イノベーション事業の創生に取り組んでいます。

※OT: Operational Technology

【主な研究内容】

モビリティ/社会公共/インダストリ/エネルギー分野のソリューション創生および事業創生の手法・技術

4 DXエンジニアリング研究

～ビジネス変革を支えるソフトウェア開発技術～

インダストリー分野を中心に、DXによりビジネス価値を向上させるソフトウェアエンジニアリングの研究開発です。ソースコードや各種データを分析し、開発から運用保守に至る各工程の作業を、AIを活用して効率化、高品質化します。(インダストリー分野の例: 製造(FA、PA)、自動車、鉄道、医用機器、水環境、エレベーターシステム、ストレージシステム、トレーサビリティ、デジタルフレッド)

【主な研究内容】

AI活用プラント自動運転、プロセスデジタルツイン、Over The Air技術、協創型アジャイル開発手法、生成AI活用ソフトウェア開発、組み込みソフトウェア実装技術、DevOps、テスト自動生成/自動実行、モデルベース開発、プログラム自動修正、AIソフトウェアのテスト・検証、組み込みシステム性能検証、構成管理技術、開発プロジェクトリスク検知



2 デジタルエコノミー&コミュニティ研究

金融や公共分野における最先端のデジタルサービスを生み出し、社会を支えるエンジニアリング技術の研究開発に取り組んでいます。例えば、生成AIやエージェント技術を駆使して、ESG(環境・社会・ガバナンス)を軸に様々な業界をつなぐ新しい金融サービスや、官民が連携して生み出す公共サービスおよびシステムを開発し、サステナブルな社会の実現に挑戦しています。

【主な研究内容】

サステナブルファイナンス、金融向けAIエージェント、GX×スマートシティ、AI活用省エネ機器制御、官民連携サービス、ブロックチェーン、デジタル通貨、ステーブルコイン、デジタルID管理、サービスインキュベーション、DevSecOps、高信頼システム向けクラウドシフト、システム開発自動化AIエージェント、生成AI活用成熟度モデル、耐量子計算機暗号(PQC)対応システム

5 セキュリティ研究

サイバー攻撃への備えが重要となる中、AIやデジタル技術を活用して迅速かつ正確なリスク分析や自動対処のセキュリティ技術を開発しています。これらは、IT(金融、公共等)/OT(電力、鉄道等)分野のシステム、及び医療機器等の製品に適用し、安全な社会の実現をめざします。

【主な研究内容】

PSIRT/CSIRT技術、Cyber Threat Intelligence、Security Automation、脆弱性管理、リスク分析、ペネトレーションテスト、セキュリティテスト、AIセキュリティ、バイオメトリクス、秘匿情報処理

04 研究開発(ヘルスケア分野)

先端技術を駆使し、医療やバイオテクノロジーの革新を推進しています。AIやデータ解析技術を活用して、診断や治療の高度化、個別化医療の実現をめざし、より良い医療ソリューション提供に貢献します。さらに社会の健康や福祉にも幅を広げ、次世代のヘルスケアをリードする技術開発を通じて、持続可能な医療・社会保障制度の構築にも貢献します。

研究開発(ヘルスケア分野)の代表的な研究内容

ヘルスケアIT研究

人々の健康寿命延伸と持続可能な医療システムの実現をめざし、医療(放射線治療含む)・バイオ(培養など製薬製造含む)・健康データのAI・データアナリティクス技術の開発や開発技術の社会実装に向けた研究開発に取り組むことで、ヘルスケア・ライフサイエンス分野におけるデジタルトランスフォーメーションに貢献しています。



【主な研究内容】

機械学習や統計手法を用いた医療/健康データ処理・解析技術(データベース技術、データ管理技術なども含む)、製造・生物プロセス制御、バイオフィォーマティクス

05 研究開発(環境・エネルギー・電力分野)

持続可能な社会の実現に向けて、環境とエネルギーの革新をデジタル技術により推進しています。再生可能エネルギーやエネルギー効率の向上、CO2削減技術などを研究し、地球環境保全とエネルギー安定供給を両立するソリューションを提供。最先端技術を駆使し、次世代のエネルギーシステムの開発を通じて、社会と産業の発展に貢献しています。

研究開発(環境・エネルギー・電力分野)の代表的な研究内容

1 電力システム研究

再生可能エネルギーの導入拡大を効率的かつ安定的に行うための電力システム向けソリューションを開発しています。電力の供給や需要に関連する各種データに基づき、数理最適化、AI・データ分析を用いて再生可能エネルギー源化に向けた最適シナリオの立案と政策提言、電力系統の計画・運用最適化や、電力取引の経済的な利活用、再生可能エネルギーセンター・EV・産業用熱機器の協調的な運用、蓄電池のパフォーマンスと寿命を両立する最適運用に関する技術を開発・社会実装し、再生可能エネルギーを中心とした社会への移行に貢献します。

【主な研究内容】

最適化計算およびAI・データ分析を活用した電力系統における潮流シミュレーション、電力取引市場を活用した経済合理性に基づく電力システム運用技術、電池の電気化学的的特性や制御工学に関する知識を応用した電池システムの制御技術

3 原子カシステム研究

カーボンニュートラル実現に向け、原子力発電システムをOTとIT両面から研究しています。OTナレッジを取り込んだデジタル空間に原子力プラントを構築し、設計・建設・運転から廃炉まで対応するソリューションを提供し、持続可能な社会システムの構築に貢献します。

【主な研究内容】

プラントデジタルツイン、プラント状態監視、ワークマネジメント、構成管理、機器信頼性、生成AI、メタベース

2 環境システム研究

カーボンニュートラル社会の実現を支える環境システムソリューションの開発を行っています。バッテリー製造、水素バリューチェーン、水処理等の環境システム開発と産業・エネルギー機器のメンテナンス技術を、AI/デジタルを活用した物理現象と業務プロセスの高度モデリング技術により実現し、持続可能な社会システムの構築に貢献します。

【主な研究内容】

プロセスデジタルツイン(電池製造、水素製造・輸送システム、公共・産業プラント)、プロセスオートメーション(設計自動化、AI活用制御)、電池診断、ブルーカーボン、故障原因診断、ナレッジモデリング、自然言語処理

4 電磁応用システム研究

健康で持続可能な社会の実現に向け、電磁応用技術を活用した医療・産業機器の開発やメンテナンス負荷を低減する非破壊検査技術の開発に取り組んでいます。医用画像の高画質化や半導体検査画像の解析、電磁応用機器のデジタルツイン構築にAI技術を活用し、モデルベースの解析とAI技術を組み合わせることで製品の高性能化、高信頼化に貢献します。

【主な研究内容】

電磁場分布解析、絶縁・高電圧制御、半導体検査、デジタルツイン、非破壊検査、放射線モニタリング、医療用加速器システム、医用画像AI活用、核融合、超伝導

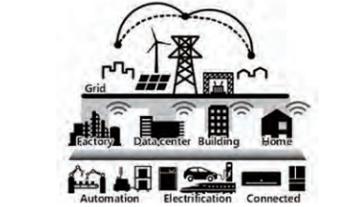
06 研究開発(電化・電動化・冷熱利活用分野)

脱炭素社会の実現に向け、モビリティ(鉄道、商用車、電動航空機)やインダストリー分野(産業ドライブ/サーボ、医用分析装置)を支える電化・電動化・冷熱利活用技術の革新に取り組んでいます。デジタル技術を積極的に融合し、OTナレッジを活かしたリカーリングなどのデジタルサービスを実現し、省資源化や環境負荷軽減に貢献します。

研究開発(電化・電動化・冷熱利活用分野)の代表的な研究内容

OTナレッジとAI分析技術の融合による効率化ソリューションの開発

プロダクト開発で培ったOTナレッジ(電気・機械)に、モビリティやインダストリー分野のデータとAI分析技術を融合し、熟練作業者の暗黙知デジタル化や複雑系システムの再現・制御など、保守コスト低減・省エネに向けた説明性の高いソリューションの提案に貢献します。



【主な研究内容】

プロダクト開発で培ったOTナレッジ(電気・機械)のデジタル化技術(ID-CAE/MBD、システムシミュレーション、電磁界・熱流体解析)、およびデータ分析技術(AI、機械学習、数理最適化)を組み合わせたシミュレーション高度化

07 研究開発(制御・オートメーション・ロボティクス分野)

先進的な制御技術やロボティクスとデジタル・AIを組み合わせ、製造・流通システム、交通システム、プラントシステム、ヘルスケアシステム等の自動化・自律化を実現します。オートメーション技術を通じて、次世代のスマートシステムを構築し、持続可能な社会の実現に貢献します。



研究開発(制御・オートメーション・ロボティクス分野)の代表的な研究内容

1 自律システム制御研究

鉄道などのモビリティの自律化や、製造・物流の自動化を実現するシステム制御技術を開発しています。高信頼にシステムを運用する自律制御プラットフォームや、最適に機器を動作するリアルタイム制御、環境を理解し判断を可能とするサイバーフィジカルシステムなどの技術により、安全・安心なソリューションを提供し、サステナブルな社会システムの構築とQoL向上に貢献します。

【主な研究内容】

自律制御プラットフォーム(制御クラウド、セキュリティ・セーフティ、機能安全)、リアルタイム制御(フィジカルAI、モデル予測制御、自動運転システム、管制システム、ロボット群制御)、サイバーフィジカル(環境センシング、自己位置推定、センサフュージョン、都市デジタルツイン)

2 生産システム研究

製造・ロジスティクス・サプライチェーン分野向けのスマート生産システムの開発を行っています。製品データや製造データ、流通・配送データ等をAI、機械学習、数理最適化で分析して、自律的に最適な業務オペレーションを実現するシステムを開発します。

【主な研究内容】

製造・ロジスティクス・サプライチェーン分野のデータアナリティクス(AI、機械学習、数理最適化、サイバーフィジカルシステム、シミュレーション)、製造現場のデジタル化(IoT、設備センシング、製造現場モニタリング)

3 知能ロボティクス研究

ロボットの高度な自律化や、ヒトとロボットの協同作業や相互理解を促進するため、ロボットの認知機能や自律制御技術を開発しています。日立の幅広い製品や運用のナレッジをベースに、ロボットのハードウェアやエッジ制御、動作生成、知能化、および、それらとITシステムとを接続したCPS(Cyber Physical System)の研究にも取り組んでいます。これらを産業分野やサービス分野に社会実装することで、QoLを向上する人中心の社会をめざします。

【主な研究内容】

深層学習型自律動作生成(深層予測学習、模倣学習、ロボット基盤モデル、VLA(Vision-Language-Action)、拡散モデル、強化学習など)、学習ベース認識技術、マルチモーダルAI、マルチエージェントシミュレーション、デジタルツイン、世界モデル、sim2real、およびそれらの応用技術

08 データサイエンティスト

日立は、金融(銀行・保険)、公共(官庁・自治体)、社会インフラ(電力・交通・通信)、産業・流通(小売・製造業)等、多岐にわたるお客様に対してICTソリューションを提供しています。データサイエンティストは、持続可能な社会の実現に向けて、日立が持つITとOTの知見を結集させ、デジタル技術を最大限活用することを目指し、世界のコンペティターにはない切り口で社会イノベーション事業の展開を加速させる役割を担っています。

データサイエンティストの主な業務と求める人材像

多数のお客様とのAIやデータアナリティクス技術を活用したPoCやAIシステム導入支援を実施しています。ビジネス力・業務知識・データサイエンスの知見を持つデータサイエンティストがお客様のDXを支援します。多様な機械学習モデル、文書や画像などのメディア処理、数理最適化などの専門分野を探索、応用することで、チャレンジングな課題の解決に挑戦する気概がある方を募集します。



09 DXコンサルティング

事業拡大や社会貢献をめざすお客様に対して、経営課題を深掘りし、デジタル技術を活用した仮説の立案や提案を行います。具体的な業界としては、産業(自動車など製造業、鉄鋼、エンタメ、化学他)、ヘルスケア(医療、医療機器、病院他)、公共(電力、鉄道、通信、官庁自治体他)にわたる多様なお客様に対し、日立の技術・ソリューションを活用しながら、提案の実現まで見届けることができる、まさに社会全体の課題解決に向けた社会イノベーションを推進するポジションです。

DXコンサルティングの主な業務と求める人材像

デジタル技術でお客様が進化し事業価値を向上させ、社会貢献につながる未来図を、お客様との協創を通じて描きます。社内外のグローバルなステークホルダーを巻き込み、お客様の課題を分析し、デザインシンカーとともに施策を立案、DXエンジニアと協力して実現をリードします。日立の強みを活かし、Digital技術を変革市場に結びつけ、成長事業の創出に貢献しています。周囲を巻き込み、社会のために好奇心ドリブンでチャレンジ精神旺盛な方のご応募をお待ちしております。



独自のポイント

生成AIの活用

日立は、成長著しい生成AI(Generative AI)技術を安全かつ効果的に社内外で活用し、Lumada事業によるお客さまへの価値提供の最大化と生産性向上の実現に取り組んでいます。研究活動にも積極的に生成AIを活用し、研究効率の向上のみならず、各技術領域に生成AIを掛け合わせることでイノベーションの創出から技術の高度化まで、幅広く対応しています。

日立製作所

研究開発グループ

お問い合わせ先

研究開発グループ
talent.acquisition_rdg.gv@hitachi.com



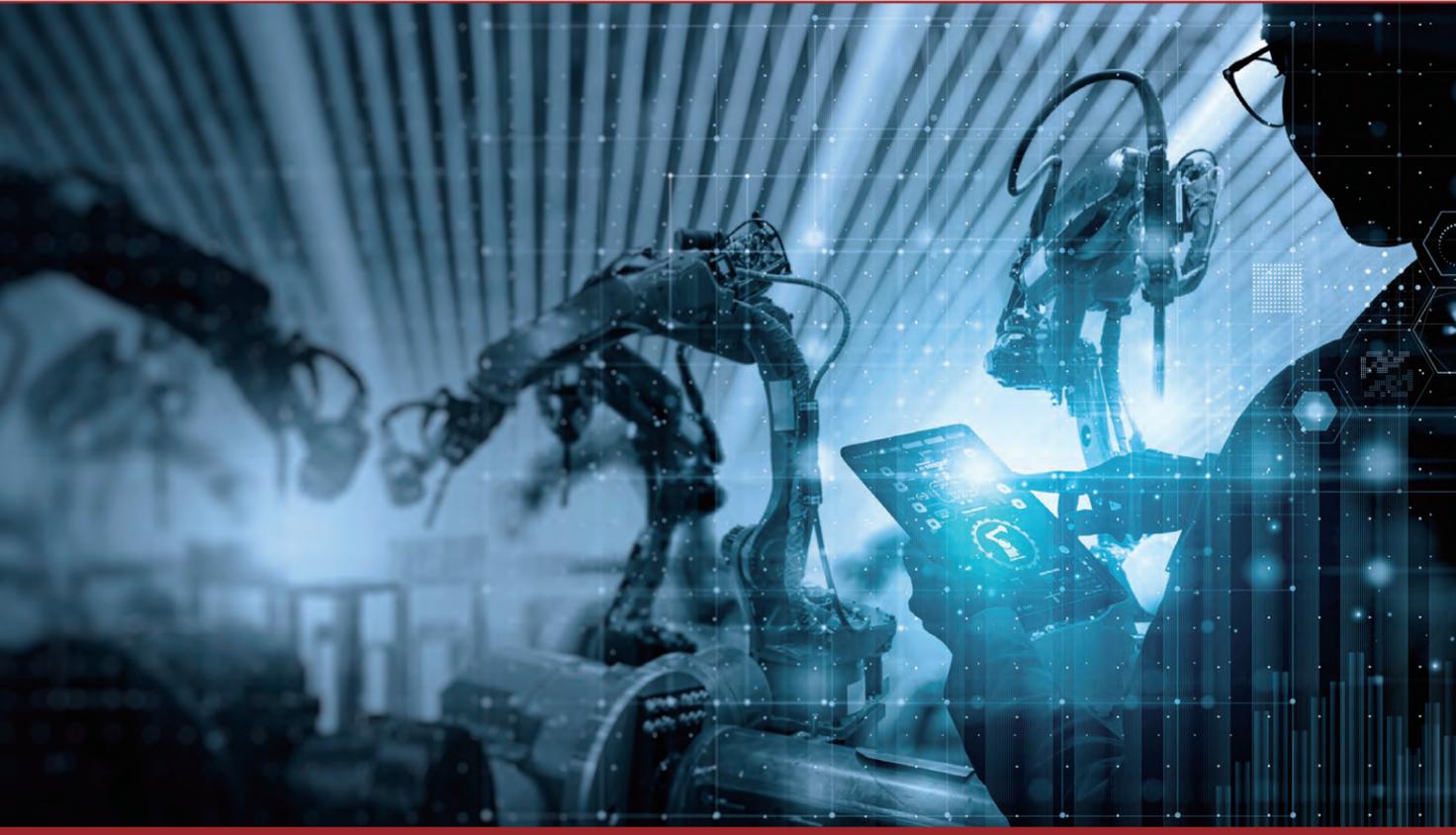
所在地

国分寺サイト
〒185-8601
東京都国分寺市東恋ヶ窪一丁目280番地

茨城サイト 大みか地区
〒319-1292
茨城県日立市大みか町七丁目1番1号

勝田地区
〒312-0034
茨城県ひたちなか市堀口832番地2号

横浜サイト
〒244-0817
神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地



未来創造へのチャレンジ

一次なる時代を切り拓く。

社会イノベーション事業を軸に、グローバル市場での成長をめざしています。

OTとITを組み合わせ、お客様や社会の複雑な課題に最適なソリューションを提供。

研究開発グループは、新領域の開拓や技術融合による革新的な製品・サービス創出に取り組み、

世界一の技術をめざして国内外の研究者と連携しています。チャレンジ精神に溢れた方を募集しています。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エネルギー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

職種紹介

研究開発

日立の研究者は「グローバルNo.1技術の創生」を目標に、社会イノベーション事業をリードする技術開発やプロダクト・サービスに直結した研究に取り組んでいます。基礎から応用まで幅広いテーマを扱い、クリエイティブとチャレンジ精神が求められます。活動拠点は国内3サイトを中心に、北米、欧州、中国、APACを含む世界5極でグローバルに研究を推進しています。

MATCHING FIELD

01 社会システムイノベーション分野

社会やユーザーの変化に対応して、システム思考、AI等のデジタル技術を活用して社会課題を解決、安心・安全・快適な社会を実現する新たなシステムやソリューションの創出に向けた研究開発に取り組んでいます。

【主な研究内容】

モビリティ/エネルギー/金融/産業/公共分野の社会インフラシステム、デジタルソリューション、および事業創生手法。具体的には、鉄道運行管理システム、エネルギー管理システム、水・環境システム、サイバーセキュリティ(リスク管理/脆弱性管理/インシデント対応、セキュリティテスト、AIセキュリティ、暗号、バイオメトリクス)、DXエンジニアリング(AI活用システム、組込みシステム、ソフトウェア工学、システム開発自動化AIエージェント、AIシステム品質検証、DevOps、プロセスモデリング/シミュレーション)、システムアーキテクチャ(自律分散、ブロックチェーン、マイクロサービス)、機械学習、数理最適化技術、制御クラウドプラットフォーム、デジタルサービスエンジニアリング



02 ヘルスケア分野

高齢化社会におけるヘルスケアをバイオ計測×デジタルの力で支えています。医療の質向上と医療費適正化に貢献する製品・サービス・ソリューションを創出するため、医療情報処理や体外診断などに関する研究開発に取り組んでいます。

【主な研究内容】

体外診断、血液検査、生体分子検出、遺伝子検査、DNAシーケンサ、細菌検査、細胞プロセッシング技術、質量分析技術、医療/健康データ処理・解析技術、バイオインフォマティクス



高精度の疾病リスク予測モデルを用いた保険設計支援AI



臨床化学自動分析装置



03 計測・インフォマティクス分野

産業分野や社会インフラの高度化と持続的な成長に向けて、革新的な計測・デジタル処理技術の研究開発を推進しています。計測技術によって現実世界から得た多様なデータを活用することで、半導体製造・検査、社会インフラ保守、製造現場支援、材料開発支援などの事業強化と新しいデジタルソリューションの創出に取り組んでいます。

【主な研究内容】

電子・光・X線/放射光・磁気計測、半導体プロセス・計測、電子顕微鏡、プラズマ制御・計測、マルチモーダルセンシング、3次元空間計測、人姿勢・動作計測、計測データアナリティクス、半導体センサ・コンポーネント、半導体回路設計・設計支援、エッジAI、新原理コンピューティング、プロセスインフォマティクス、マテリアルズインフォマティクス、インフラモニタリング・モデリング、ヒューマンインターフェース、AR/VR/MR



半導体製造・検査 | インフラ保守 | 製造現場支援 | 材料開発支援

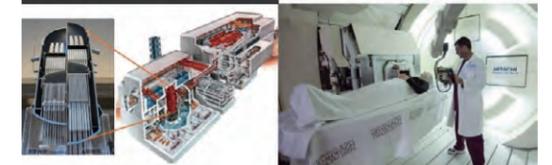
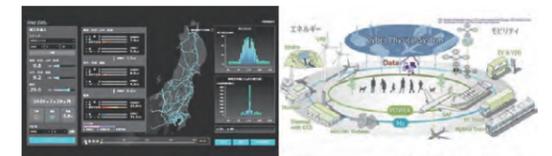


04 環境・エネルギー・電力分野

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、環境に配慮したエネルギー全体に関わる最先端技術の研究開発を通じ、持続可能で高信頼な電力システムや再生可能エネルギーとの協調メカニズム、次世代原子力発電システム、高エネルギーを応用した放射線治療システムや核融合や超電導システムまで、幅広いソリューションを創出し、快適で豊かな社会を実現します。

【主な研究内容】

エネルギーシステム(電力送配電システム、電力需給予測・取引システム、エネルギーマネジメント・ストレージ)、環境システム(プロセスオートメーション、電力システム保守、電池製造・ライフサイクルマネジメント、水処理)、エネルギー応用システム(放射線・粒子線治療、核融合・加速器・超電導、非破壊検査・計測、電磁場解析・制御)、原子力システム(革新炉、小型炉、プラントO&M、デジタルエンジニアリング、福島復興)



05 電化・電動化・冷熱利活用分野

脱炭素社会の実現に向け、パワーエレクトロニクス・メカトロニクス・デジタル技術を融合し、モビリティ(鉄道、商用車、電動航空機)やインダストリー分野(産業ドライブ/サーボ、医用分析装置)の電動システム、電力変換/受配電システム、圧縮機/空調機/データセンター冷却などの熱流体システムを通じて、ヒトと地球にやさしい社会の実現をめざしています。

【主な研究内容】

電動システム(モータに関する材料応用/電磁気/絶縁/強度/冷却/制御技術)、電力変換/受配電システム(インバータ、コンバータ、電源などの電力変換器に関連したパワーデバイス/回路トポロジー/実装/信頼性/モデリング技術、変圧器向け高電圧/電磁界解析技術)、熱流体システム(熱流体解析/冷凍サイクル/熱マネジメント/ロータダイナミクス、軸受/歯車などの機械要素技術)、デジタル応用(OT技術を活用する組込/エッジ処理、機械学習/AI分析技術)



06 制御・オートメーション・ロボティクス分野

製造・流通、医用、ビルディング分野等の現場の自動化、鉄道等のモビリティ機器の自動運転を実現する制御・オートメーション技術の開発に取り組んでいます。AI・データアナリティクスを駆使したオートメーション技術で複雑な社会課題を解決し、安全・安心でヒトにやさしい社会を実現します。

【主な研究内容】

システム制御技術(モデル予測制御、AI・知能制御他)、生産システム技術(製造ライン自動化、製造・配送等の計画最適化他)、ロボティクス技術(モーション制御、画像センシング・認識技術、ロボット基盤モデル、模倣学習他)、メカトロニクス、制御セキュリティ技術、デジタルツイン(知識モデル化、シミュレーション他)、フィジカルAI、OTナレッジデジタル化、OTナレッジ×AIなどを活用した現場システムソリューション(製造、物流、鉄道、ビル、プラント、半導体検査システム他)



07 生産・モノづくり・機械・エレクトロニクス分野

モノづくりの生産性向上、設計・製造の業務革新に加え、サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルの実現に向け、物質や知識などの資源を有効に活用する研究開発に挑戦しています。サイエンスとデジタルを融合し、材料・プロセス・計測に加え、機械・電気・物理の先進設計・製造技術を核とした生産・モノづくり技術を駆使して、鉄道、電力機器、産業機械、半導体製造装置、医用分析装置、家電など、社会を支える幅広い分野で新たな価値を創出しています。

【主な研究内容】

エコデザイン、設計工学、ライフサイクルアセスメント、知識マネジメント、デジタルエンジニアリング、マテリアルズインフォマティクス、プロセスインフォマティクス、環境材料、高機能材料(樹脂、金属)、製造・解体自動化、冷却/実装、外観検査、AI・画像処理、光学計測、構造強度信頼性、流体工学、振動/耐震、音響工学、故障リスクマネジメント、低ノイズ回路システム、アナログ・デジタル回路、電磁環境両立性(EMC)、高信頼ハードウェア分析、高速データ伝送



08 顧客協創・ビジネスデザイン分野

製造、金融、医療、交通、公共、エネルギーといった社会の基盤となる幅広い分野で、モノづくりの技術、現場を動かす知見(OT)、ITシステムの知見を磨き、社会課題の解決に挑んできました。今、これらの強みとデジタル技術を掛け合わせ、「人と技術、地球が調和する未来」の実現に取り組んでいます。デザイナーやエスノグラフィと共に、お客様や社内外ステークホルダーとの協創を通じて、現場の知恵を価値あるソリューションに変換、製造プロセスの革新、エネルギー効率化、交通最適化など、業種や地域の壁を超えた未来志向のビジネスをデザインしています。

【主な研究内容】

新事業創生、社会課題解決、ビジネスデザイン、イノベーションデザイン、モビリティ/社会公共/インダストリー/エネルギーに関連するソリューション、および、事業創生の手法・技術

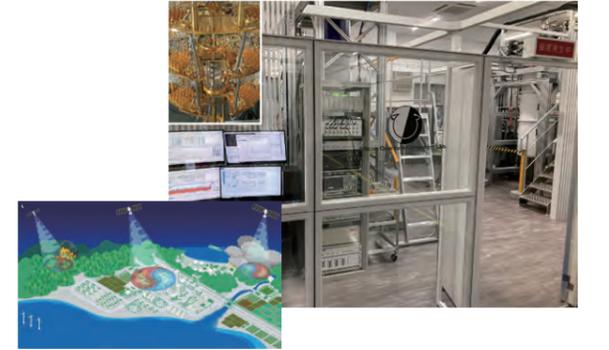


09 エマージングテクノロジー分野

産業構造に変化を引き起こす革新的なブレークスルー技術を生み出し、新たな事業の創生に取り組む分野です。量子超越性達成に挑む量子誤り耐性型量子コンピューティング、宇宙からの新たなセンシング技術によるビッグデータ活用に取り組む宇宙分野において、新たな社会イノベーションの創生に取り組んでいます。

【主な研究内容】

・量子コンピューティング
半導体量子ビットをつくる技術(設計・製造・集積)、量子ビットをうごかす技術(制御・読み出し・誤り訂正)、システム化技術(冷却・実装・アーキテクチャ・シミュレーション)、賢く運用する技術(AI・デジタルツイン・OS)、量子の力を最大限に引き出す技術(量子情報・アルゴリズム)、量子を社会につなげる試み(マネジメント、コミュニケーション)(関連HP:<https://ms6siliconquantum.jp/>)
・宇宙
衛星システム設計技術、衛星データ解析・AI技術、レーダ測定技術、電波観測技術、信号処理技術、軌道設計技術



拠点紹介

1 新たなイノベーションの創生をリードする研究で、日立の事業を支える国分寺サイト

国分寺サイトは1942年に中央研究所として設立され、10年・20年先を見据えた研究と現在の課題解決に取り組んでいます。2019年には「協創の森」を開設し、SDGsやSociety 5.0の実現をめざしたオープンな協創アプローチで、技術と知識の融合によるイノベーションを推進。お客様やパートナーと共にアイデアソンやハッカソンで新事業機会を探り、先端AI、デジタル技術、ヘルスケア、計測技術など幅広い分野で研究・事業創生に取り組んでいます。



2 イノベーションで環境問題解決と人々の豊かな暮らしを実現する茨城サイト

茨城サイトは1934年創立の最も歴史ある研究所で、地球規模の課題解決をめざしています。脱炭素社会に向けたエネルギーシステム、安心・安全な自動運転・モビリティ、生活を支える家電・空調、革新材料やモノづくり技術を開発。多様な専門分野の研究者が協力し、持続可能な社会を実現する新技術の創出に取り組んでいます。



3 デジタル技術を活用し新しい社会システムを研究開発する横浜サイト

横浜サイトでは、産業・流通分野のサプライチェーン革新や交通、金融、行政分野で新しい社会システムを創出する研究開発を進めています。DX実現に向けたシステム設計やソフトウェア開発、セキュリティ、サプライチェーン設計などのモノづくり技術に取り組む、構想力と実行力を持つ人材を求めています。



OTHERS

1 グローバル展開

日本を含む5種のグローバル研究体制を組んでおり、北米、欧州、中国、APAC(Asia-Pacific)の海外拠点と連携し、No.1技術、地域のニーズに根ざした現地主導型のグローバル研究を推進しています。日立の海外研究所とのコラボレーションや世界各地の大学・研究機関・企業との共同研究を通じ、グローバルに研究開発を進めています。各地域の特性を活かして研究の先鋭化を図るとともに、各市場におけるニーズをリアルタイムに把握し、研究開発にフィードバックすることにより、海外事業を支える研究開発に努めています。

2 研究開発グループの教育制度

社内外の教育機関と連携し、必要なスキルの取得・キャリアアップのための教育を実施しています。グローバル展開の基礎となる経験を積むことを目的に国際学会等への参加・発表なども積極的に進めています。また、学位取得や語学スキル向上をめざす社員をバックアップする制度があります。

日立製作所

鉄道ソリューション

お問い合わせ先

日立製作所
人財統括本部 タレントアキュイジション部
tetsudo.saiyo.db@hitachi.com



所在地

東京地区 〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目18番13号 (秋葉原ダイビル)
 笠戸地区 〒744-8601 山口県下松市大字東豊井794番地
 水戸地区 〒312-8506 茨城県ひたちなか市毛1070番地



優れた技術と確かな実績で鉄道事業を支える 総合鉄道システムインテグレーター。

鉄道は地球温暖化や都市への人口集中といった社会課題の解決手段として期待され、世界各地で新設やリニューアルが進んでいます。日立は、車両や駆動装置、運行管理システム、電力管理システム、情報サービスなどフルラインのサービスを提供する総合システムインテグレーターとして、鉄道を

支えています。近年はグローバルに展開するデジタルアセットマネジメントプラットフォームHMAX を活用し、鉄道事業者様の現場の課題解決を実現し、持続的な鉄道事業の確立に向けて取り組んでいます。日本だけでなく欧州・アジアなど海外の鉄道事業にも積極的に関わっています。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エナジー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES 職種紹介

設計開発(笠戸地区)

新幹線電車や特急電車などの高速車両、通勤電車、モノレール、空調・換気装置、台車などの設計・開発

品質保証(水戸地区)

VVVF インバーター制御装置、ハイブリッド駆動システム、ネットワーク信号制御システム、デジタルATC、ATI[®]、運行管理システム、旅客案内システム、受変電システムなどの品質保証

設計開発(水戸地区)

VVVF インバーター制御装置、ハイブリッド駆動システム、ネットワーク信号制御システム、デジタルATC、ATI[®]、運行管理システム、旅客案内システム、受変電システムなどの設計開発

システムエンジニア(SE) (水戸地区)

VVVF インバーター制御装置、ハイブリッド駆動システム、ネットワーク信号制御システム、デジタルATC、ATI[®]、運行管理システム、旅客案内システム、受変電システムなどのプロジェクトエンジニアリング

品質保証(笠戸地区)

新幹線電車や特急電車などの高速車両、通勤電車、モノレール、空調・換気装置、台車などの品質保証

社内IT・セキュリティ(笠戸地区)

・鉄道ソリューション内部向けのITサービスの企画・開発
・鉄道車両の設計～製造まで担っている事業所向けのITサービスの企画・開発・運用業務

※ATI:Autonomous Train Integration 車両情報制御装置

MATCHING FIELD マッチング分野

01 車両分野

新幹線電車や特急電車などの高速車両、通勤電車、モノレール、車両に搭載する空調・換気装置、台車などの開発・設計・製造・試験。



02 車両用制御/信号システム・運行管理/変電分野

VVVFインバーター制御装置、ハイブリッド駆動システム、ネットワーク信号制御システム、デジタルATC(Automatic Train Control 自動列車制御装置)、ATI、運行管理システム、旅客案内システム、鉄道用受変電システムなどの開発・設計・製造・試験。



03 社内ITシステム分野

鉄道ソリューションのさまざまな社内のニーズや課題に対してITを活用した解決策を企画・開発し、従業員が最大限の力を発揮できる環境を構築・運用しています。



特徴的な技術

1 車両関係

1 次世代新幹線電車技術

次世代新幹線電車技術では、高速化や高密度運行のニーズに応えつつ、「騒音抑制」「振動抑制」「省エネルギー」「軽量化」「保守性向上」をめざして新技術を開発しています。

2 A-train(日立が鉄道車両向けに開発した独自の新しい加工技術とモジュール式生産システム)

「A-train」は軽量アルミ素材を使い、リユース・リサイクルが容易な車体を提供。摩擦擦拌接合技術で美しい車体を実現し、モジュール構造で生産効率とフレキシビリティを向上。

3 環境適合技術(蓄電池電車)

蓄電池電車は、非電化区間を蓄電池の電力で走行可能であり、環境にやさしく、動力システムの電動化による騒音低減、乗り心地向上が期待できます。

3 保安装置・運行管理システム関係

1 デジタルATC

列車の位置情報を基に速度を自動的に制御する装置で、先行列車との間隔を保ちながら安全な運行を確保します。ブレーキ制御もデジタル化され、停止位置信号が地上から伝えられるため、列車の安定した走行が可能となり、乗り心地向上や列車間隔の短縮による輸送量の増加が期待されます。

2 CBTC(都市交通向け)とETCS(欧州の都市間交通向け)

国際標準規格の列車信号システムです。日立は、日本企業として初めてCBTCの最高安全レベルの認証を取得し、ETCSに準拠した車上信号装置を製品化しました。これにより、日本で培った技術を欧州規格に適合させ、国際的に安全な鉄道システムを提供しています。

OTHERS

1 グローバルな事業展開

世界の鉄道市場は今後も成長が見込まれており、日立の鉄道ビジネスユニットはこれをビジネスチャンスと捉え、積極的に海外市場へ進出しています。2015年にはイタリアのアンサルドブレダ社とアンサルドSTS社を買収し、欧州や米州、その他の地域に拠点を確保。さらに2024年にはタレス社のGTS部門を買収し、信号システムやデジタルソリューションの強化を図りました。現在、欧州だけでなく米州、アジア、新興国でも多くのプロジェクトが進行しており、鉄道システム事業のリーディングカンパニーをめざし、グローバルに活躍できる多様な人財を求めています。

2 ニュースリリース・関連情報

主要なトピックスについては、Web上にニュースリリースを掲載しています。また、YouTubeでも日立の鉄道関連情報をご紹介しますので、ぜひご覧ください。

【ニュースリリース総合:日立】



「カテゴリーで探す」で「鉄道・交通」を選ぶと関連するニュースリリースを見られます。

【日立グループ 鉄道関連YouTubeチャンネル】



Hitachi Brand Channel: Mobility / モビリティ



Hitachi Rail Ltd.

日立製作所

インダストリアルデジタル& オートメーション

お問い合わせ先

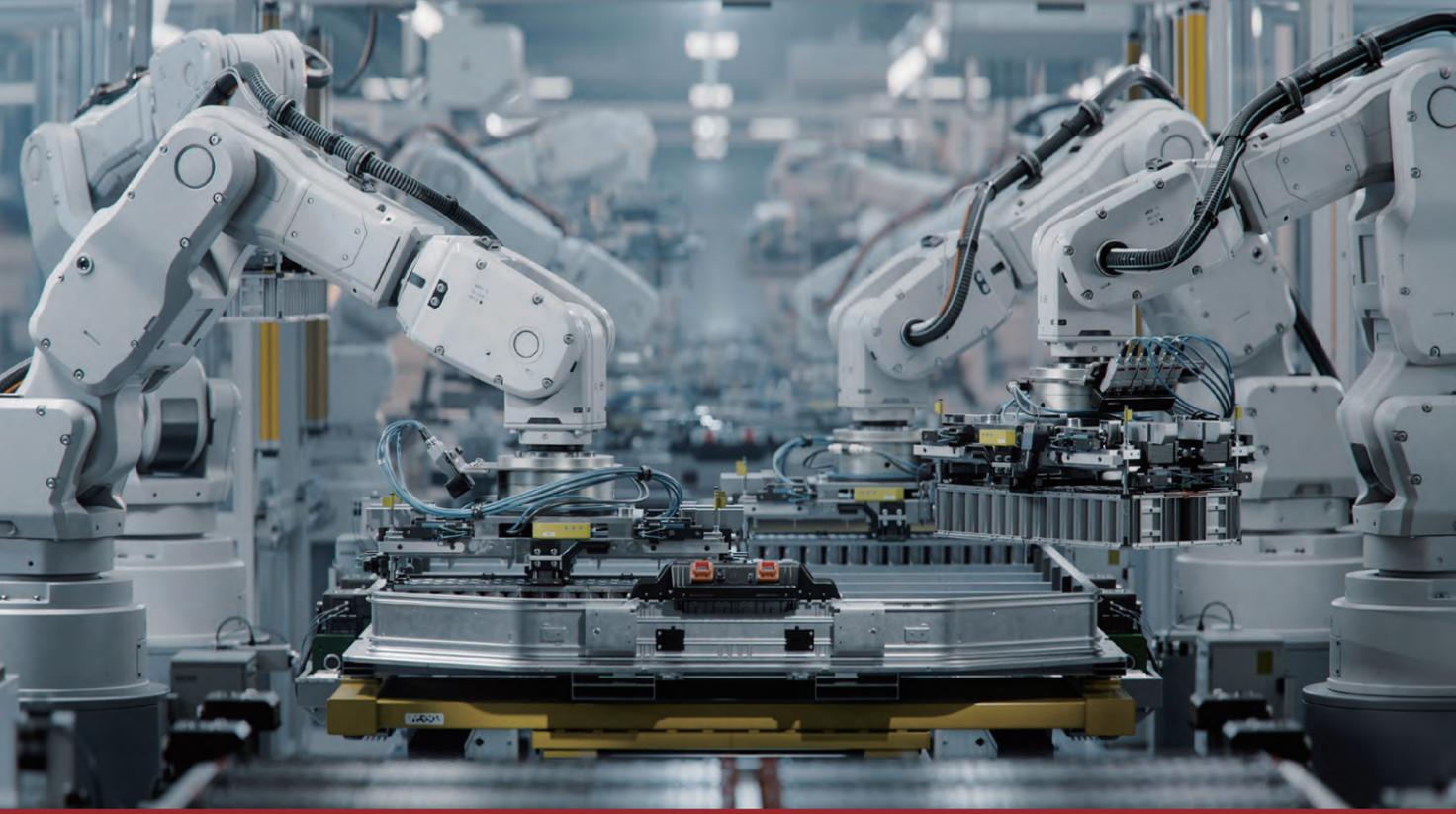
人財統括本部
人事勤労本部
タレントアキュイジション部
recruit.infra.kc@hitachi.com



所在地

秋葉原地区 〒101-0021
東京都千代田区外神田一丁目5番1号
住友不動産秋葉原ファーストビル

茨城地区(鉄鋼系) 〒319-1293
茨城県日立市大みか町五丁目2番1号



事業領域

私たちが描く、インダストリアルデジタル&オートメーションのめざす姿

私たちの強みであるIT×OT×ラインビルドをインテグレーションし、現場データを活用することで、製造現場におけるフレキシビリティ生産等を実現し、フロントラインワーカーの価値を最大化します。



デジタルとオートメーションで産業の未来を拓く

日立は「Lumada」を核とした高度なデジタル技術の適用とオートメーションにより、製造業におけるDXを主導。生産性とウェルビーイングの向上を両立した社会の実現をめざし、事業推進を行っています。

募集職種	研究開発 設計開発 システムエンジニア 生産技術 品質保証 営業技術 その他
卒業学部学科系統	機械工学 電気・電子・通信工学 情報工学 化学 物理学 数学 経営工学 土木工学・建築・環境工学 エネルギー・資源工学 その他
事業分野	デジタルシステム&サービス エナジー モビリティ コネクティブインダストリーズ 研究開発 コーポレート

JOB CATEGORIES 職種紹介

システムエンジニア

(職種名: システムエンジニア)
お客様の課題に対して、顧客業務の理解からシステム構築、運用フォロー・保守まで、ITソリューションやAI(人工知能)活用を含めたシステムインテグレーションを行い、お客様の課題を解決します。技術力、チームワーク、問題解決能力や創造力など、さまざまなスキルを身につけることができる魅力的な職種です。仕事内容は、お客様への提案活動やシステム構築プロジェクトへの参画などを中心に、お客様のビジネス/システム構築策定やアプリケーションの開発に携わることもあります。

OT・ロボティクスエンジニア

(職種名: システムエンジニア)
日立が持つ多様な現場ナレッジを活用し、生産ラインや物流センターにおけるロボティクス・搬送機による自動化、鉄鋼・化学プラントにおける制御システムの構築などを担当し、お客様現場の高度化を実現します。技術力、チームワーク、問題解決能力や創造力など、さまざまなスキルを身につけることができる魅力的な職種です。仕事内容は、お客様への提案活動やシステム構築プロジェクトへの参画などを中心に、お客様のビジネス/システム構築策定やアプリケーションの開発に携わることもあります。

ソリューション・サービス開発

(職種名: 設計開発)
「社会のニーズ」を先取り、関係部門と密接に連携しながら競争力のあるソリューションやサービスなどの設計・開発・アップデートを担い、お客様との協創を通じて新しい価値を創出します。生成AIのようなテクノロジーの進歩を常に意識すると共に、多様化するニーズを把握することが求められる、やりがいのある職種です。仕事内容は新たなソリューションやサービスを開発したり、お客様からの要望に応じたカスタマイズ設計を行うこともあります。

製造現場の改革を加速する、 製造DXソリューション

製造業は今、急速なデジタル変革の波に直面しています。私たちは、プラントや組立加工現場におけるソリューションの提供から、現場データのIoTデータ解析、AI・クラウド・画像認識技術の活用まで、製造現場のスマート化をトータルに支援しています。特に素材化学業界においては、プロセスの高度化や品質管理の精緻化が求められており、私たちはそのニーズに応えるべく、最適なデジタルソリューションを提案し、グローバル競争力のある未来のモノづくりを共に創出していきます。

新たな価値を創出する、 ファクトリー/ロジスティクスオートメーション

製造業や物流業界では、スマートファクトリー化やサプライチェーンの最適化を目的とした自動化・DX推進が加速しています。私たちは、製造ラインや物流センターにおいて、OT(制御・運用技術)とIT(情報技術)を融合し、現場課題を解決するデジタルソリューションの提供、高度な設備連携からラインビルドまで、トータルで提供します。これにより、業務効率の向上だけでなく、最適な現場環境の構築による持続可能な事業価値の創出を支援していきます。



特徴的な技術

1 製造現場の改革を加速する、製造DXソリューション

1 高品質な製造実行

お客様の現場から経営層まで情報をつなぎ、確実な製造実行を軸に、継続的な改善と持続的なビジネス成長を支援します。

- ・化学・鉄鋼プラント全体をデータに基づき高度に制御。安全かつ安定的な生産を実現を第一に、品質・生産性の向上を支援<DCS*1、鉄鋼制御>
- ・計画・実績・4M*2データを統合したMES*3を要とし、トレーサビリティと確実な実行支援による、高い製造品質の確保を実現。<FactRISM*4>



2 計画から運用・保全の業務高度化

プラント操業の自動化を目指し、OT技術を基盤にAIを効果的に活用することで、計画から運用・保全に至る業務全体の効率化と自動化を実現します。

- ・最先端のDataOps基盤*5で設備データを高度に管理し、保全業務を効率化。
- ・生成AIによりOTナレッジを最大限に活用し、故障時のラインワーカーの診断を支援。技能・生産性向上に寄与。<設備故障診断AIエージェント>
- ・日立独自の計画連携技術と最適化技術を組み合わせ、プラント全体最適を実現する生産計画を立案<MLCP & TSPlanner*6>



2 新たな価値を創出する、ファクトリー/ロジスティクスオートメーション

1 構内物流・製造ラインの自動化

構想策定から設備導入までをワンストップで実現。機器選定・設計は運用効率まで見据えて提案・実現します。

- ・指示の割当や製造ラインバランスの制御、トレーサビリティなども一体で策定・検討することで高効率な製造ライン運用やラインの全体最適を実現。<ラインビルド>



2 多様な搬送設備の高度連携・最適化

現場データを活用してサプライチェーンの最適化や輸送の高度化を実現。設備・運用・建屋の一体設計により物流センター全体を高度化します。

- ・高精度3Dビジョンセンサーとロボットコントローラーを活用したロボットの知能化
- ・様々な現場設備と搬送設備の統合管理・連携制御・最適化<統括型WCS*1、LogiLISM*2>



導入事例

1 【サントリー】モデル工場の自動化に貢献(サントリー天然水)

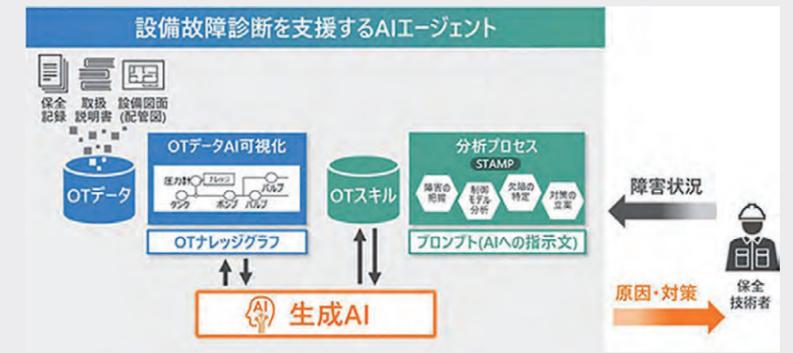
生産ラインから出てくる廃棄品や副資材、その他生産に関わる部品などの搬送は、従来人手で行っておりその重労働が課題になっていました。日立は、小型無人搬送ロボット「Racrew」を用いた搬送システムを提供することでこれらの課題を解決し、サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場の24時間稼働の自動化と効率化に貢献しています。

事例動画はこちら



2 【ダイキン】工場の設備故障診断を支援するAIエージェントの実用化に向けた試験運用を開始

各種のOTデータ(設備図面、保全記録)およびOTスキル(故障原因分析プロセス)を生成AIに学習させることで、一般的な保全技術者と同等以上の故障診断を実現します。タブレット端末などを手にした保全技術者が、生産設備の点検を行う過程でポンプやバルブなどの故障を発見したときに、設備故障診断AIエージェントは、その原因と対策を保全技術者に提示します。生成AIの活用により製造現場のフロントワーカーの負荷軽減、生産性向上に貢献しています。



詳細はこちら



3 【ダイキン】MESを起点とした製造データの収集・一元管理を実現

製造現場の記録のデジタル化の課題から、化学プラントへMES「FactRISM」を導入。製品視点の情報整理の上に、設備の稼働情報と人の作業とをひも付け、生産性分析の要となる情報基盤として活用。KPIを網羅的に常時監視することで製造現場の意思決定を迅速化し、プラント生産効率の向上を実現しています。

協創施設

製造・物流分野のロボティクスSIを中核とした自動化・最適化の協創施設「Automation Square HANEDA」「Automation Square KYOTO」を開設

自動化・最適化の協創施設「Automation Square^{®1} HANEDA」(オートメーションスクエア羽田)を羽田イノベーションシティ(東京都大田区)に、「Automation Square KYOTO」(オートメーションスクエア京都)を京都市サーチパーク(京都市京都市)に開設。自動化・最適化の実現に向けて、プロダクト・OT・ITを組み合わせ、現場と経営、サプライチェーン、異業種の間で発生する「際」^{®2}の課題をデジタル技術で解決する日立の「トータルシームレスソリューション」を、Lumadaの実例として実機展示や映像・プレゼンテーションで紹介し、お客さま・パートナーとの協創機会を創出します。

*1「Automation Square」は、株式会社日立製作所の日本における登録商標です。

*2「際(きわ)」は、株式会社日立製作所の日本における登録商標です。



Automation Square HANEDA



Automation Square KYOTO

めざせるキャリア

1 協創コンサルタント

お客様のビジネス戦略やビジョンの実現から、製造現場での課題解決、各種戦略策定へのコンサルティングを行うことで、最適なIoT技術やソリューションの構築・選定を実施します。



2 プロジェクトマネージャー

お客様に提案したプロジェクトの計画・実行・納入までのスケジュール/コスト/品質の管理を担い、お客様との折衝や社内取りまとめなどを通じて、プロジェクトを成功に導きます。



日立製作所

水・環境ソリューション

お問い合わせ先

人財統括本部
人事労働本部
タレントアクイジション部
recruit.infra.kc@hitachi.com



所在地

秋葉原地区 〒101-0021
東京都千代田区外神田一丁目5番1号
住友不動産秋葉原ファーストビル



人々の健康や環境を守り、 安心・安全な社会へ

約100年にわたり、先進技術と製品信頼性を基に水・環境ソリューションを提供してきました。
近年、空気・水・エネルギー利用の最適化を実現するため、空調設備・産業プラント設備・上下水道処理設備にIoT技術を活用することにより、お客様のさまざまなニーズに合わせて企画・提案から構築・運転管理サービスまでワンストップで提供しています。
また、近年多発する自然災害に対しても安全・安心な社会を実現するため、治水関連システム、道路交通システムや大気・放射線などの環境監視システム、港湾システム、セキュリティ関連システムといった社会情報システム事業も推進しており、レジリエンスを高める社会インフラの構築をめざしています。
さらに、人々のQoL向上に寄与するため、再生医療に関しIoTを活用した高度医療のサービス事業化、脱炭素社会実現に向け、CO2排出量削減に貢献する事業を推進しています。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エナジー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES

設計開発

技術を製品に反映し、世の中に新しい価値を提供していくことが設計開発の役割です。

システムエンジニア

顧客業務を分析の上、最適なソフトウェアやハードウェアの検討、システム設計を担います。

営業技術

技術的な観点から顧客の要望に応えます。多くの関係者とのハブ的役割を担います。

事業領域

1 上下水道分野

日本の上下水道は高度経済成長に伴い発展し、高い普及率と良好な水質を実現していますが、近年、気候変動による水質悪化や施設老朽化、人口減少に伴う予算縮小、熟練技術者の減少など多くの課題に直面しています。日立製作所は、水処理機械や制御システム、AIを活用したIT技術を駆使し、これらの課題に対応する製品・システムを開発・提案し、世界中の水・環境の改善に貢献しています。

2 治水・利水分野

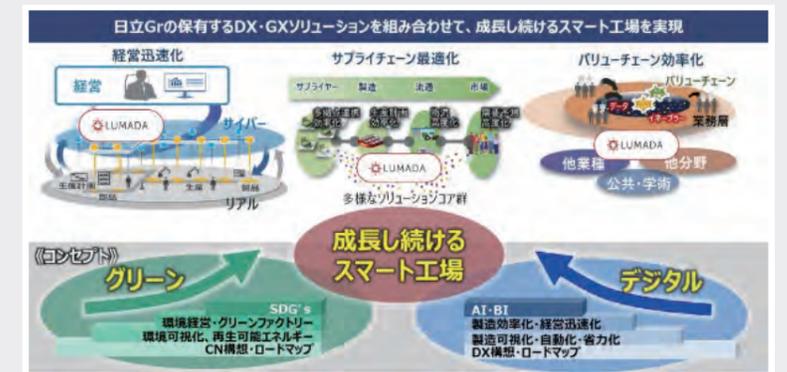
人々を洪水から守るための「治水」。社会を潤す「利水」。快適な暮らしを創造する「水辺環境」。河川はますます暮らしとの関わりを深めています。台風などによる大雨の災害から生活を守り、健全なる水循環を確保し、的確で効率的な河川管理を行えるよう、各種IT技術を活かして快適な生活環境の提供に寄与しています。

3 産業製造業分野

電子/半導体・医薬・化成品などの製造拠点における水・空気・電気などのユーティリティ設備エンジニアリングおよび工場設備の運用・保全分野において、グリーン・デジタル技術を駆使したトータルシームレスソリューションで、お客様の課題を解決し、工場のスマート化実現に貢献しています。

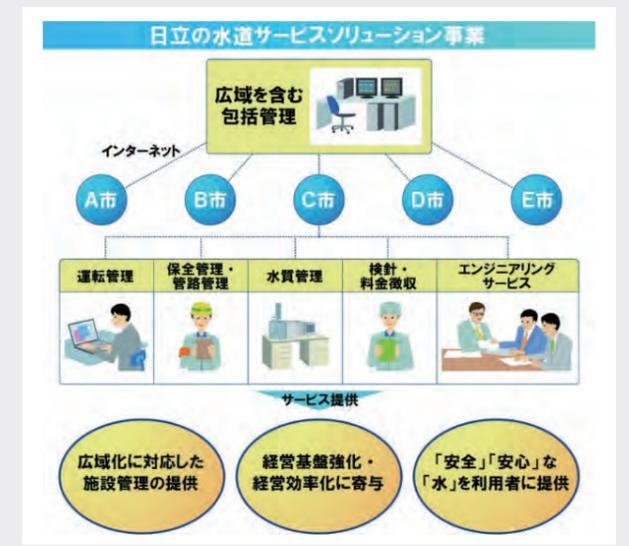
4 社会情報システム分野

道路交通管制や道路インフラ保安全管理などの道路情報ソリューション、フライトインフォーマーションシステムなどの空港情報ソリューション、環境放射線監視システムや地震情報システム、港湾監視、河川水位監視、水門制御などの環境防災ソリューションを展開しています。クラウドやAIを活用し、持続可能な社会の実現や生産性向上に貢献する次世代ソリューションの開発も進めています。



5 IoTサービスソリューション分野

製品やシステム提供に加え、顧客の事業運営に密接に関わる維持管理・運営・保守・ソリューション提供事業を展開しています。課題解決に貢献するIoTを活用したソリューションを、クラウドサービスとして提供し、さまざまな企業や上下水道事業者と連携して新しいビジネスの構築に取り組んでいます。



特徴的な技術

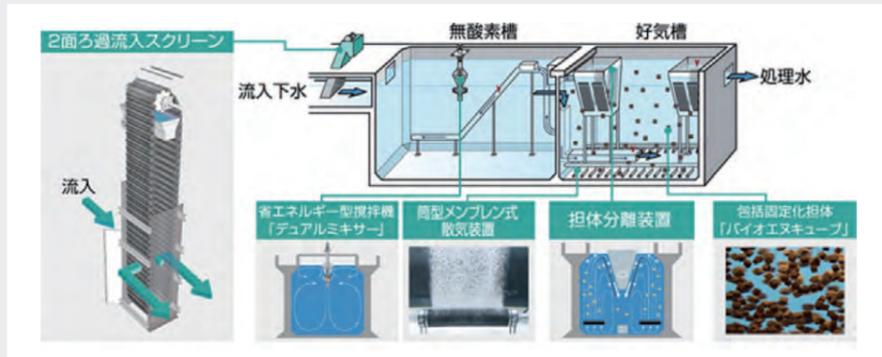
1 水処理設備全般

上水道施設・下水道施設向けに、除塵機や汚泥かき寄せ機、散気装置、ろ過設備、膜分離設備を中心とした機械設備の設計から施工まで一貫して行っています。膜分離設備の代表的な納入品は、MBR(Membrane Bio Reactor)や、膜型浄水、ユニット型の膜ろ過装置などです。



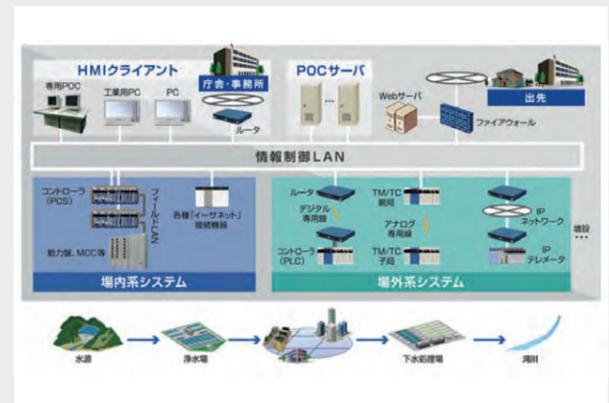
2 窒素処理プロセス「ベガサス」

ベガサスは、下水・排水の窒素処理を効率的に行うプロセスです。生物反応槽に、微生物を特殊なゲルに高濃度で固定化した担体を添加することで、アンモニアを硝化させる反応を促進し、高速かつ効果的な処理を実現します。



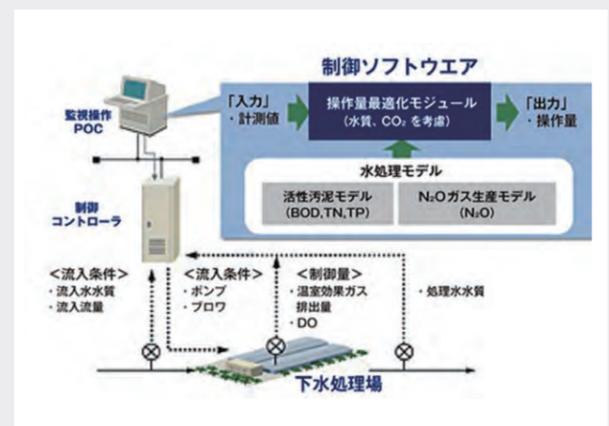
3 監視制御システム(AQUAMAX)

上下水道事業では、システム設計から試運転まで一貫して提供しています。AQUAMAXはその中核で、スケーラブルなアーキテクチャやシームレスな連携、業務支援型HMIを備え、段階的増設や部分更新が可能な監視制御システムです。



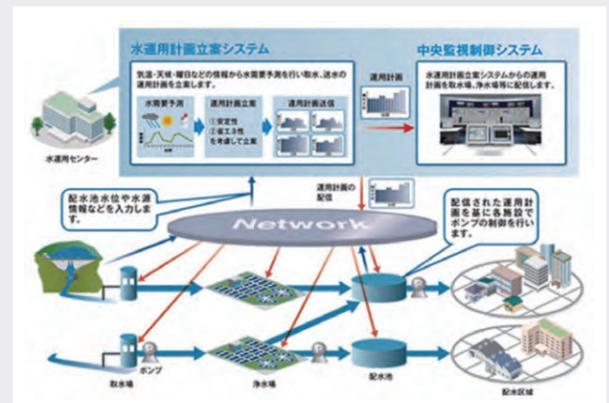
5 下水処理制御技術

下水処理場の硝化・脱窒反応をモデル化し、リアルタイム制御を行います。アンモニア濃度をモニタリングして硝化反応を制御することで、水質を維持しつつ過曝気や曝気不足を抑え、ブローの消費電力を削減します。



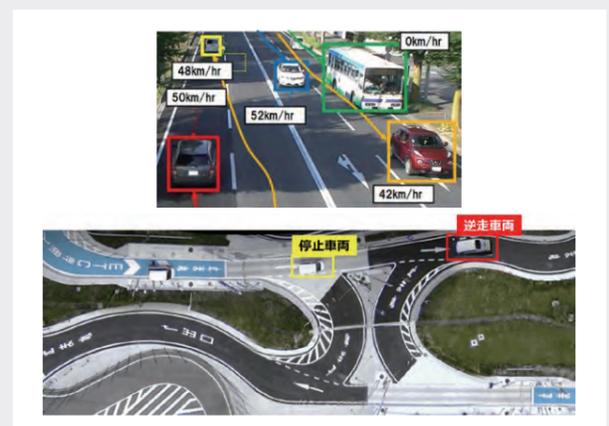
4 水運用計画技術

水を安定供給するために欠かせないのが水運用計画技術です。複数の浄水場の処理量バランスを適切に分散させる「安定供給」と、取水・送水ポンプの消費エネルギーを抑制する「省エネ」を両立させるソリューション提案を展開しています。



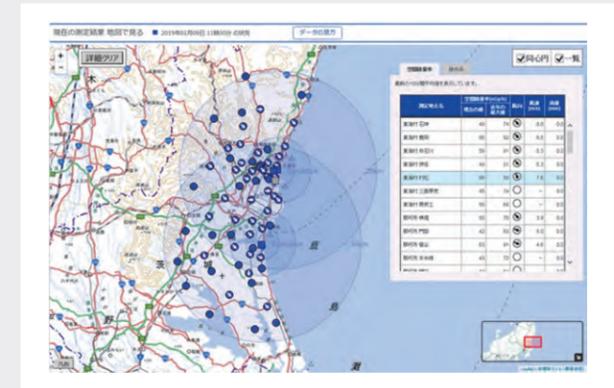
6 画像処理応用技術

カメラ映像を利用して、画像処理によって交通量や車両速度の計測および渋滞・故障車・逆走車などの異常事象検知を行います。渋滞長の計測や異常事象(停止車両、低速車両、避走車両、落下物)を自動的に検知して、ドライバーの安全支援や道路管理者の負担を軽減します。



7 環境防災ソリューション

大気中の放射線量、河川の水位や雨量をテレメータ設備でリアルタイムに収集し、広域ネットワークを通じて中央監視局で集中監視します。24時間365日、信頼性の高いシステムで監視し、一般にも公開することで安心・安全な社会の実現に貢献しています。



最新トピックス

グローバル水事業分野

日立は、水資源不足や水質汚染といった地球規模の課題解決に向け、下水の高度処理や処理水を原水とした再生水、さらに海水淡水化技術にデジタル技術を融合した水・環境ソリューションを海外で展開しています。これまでに40カ国以上でプロジェクトを実施し、持続可能な水利用に貢献してきました。今後もSDGsの達成と人々のQoL(生活の質)向上をめざし、社会イノベーション事業をグローバルに推進していきます。



IoTを活用した上下水道事業向けのクラウドサービス

近年、上下水道事業では、老朽化による追加投資や事業収入の減少、熟練技術者の減少によるノウハウ継承が課題となっています。日立は、設備や運転情報をIoTでクラウドに収集し、AIやXR技術などを活用して運用・保全業務の可視化・効率化を支援する「O&M支援デジタルソリューション」を提供。デジタルイノベーション「Lumada」を活用し、経営課題の解決を支援します。



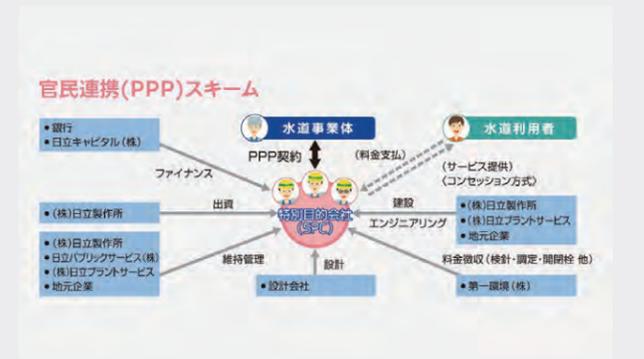
8 カーボンニュートラルソリューション

お客様の脱炭素目標達成に向け、省エネやカーボンニュートラル関連の製品・技術を提供し貢献しています。デンヨー(株)と共同開発した水素混焼発電機は、太陽光で製造した水素とバイオ燃料を混焼し、カーボンニュートラルな電力を供給します。



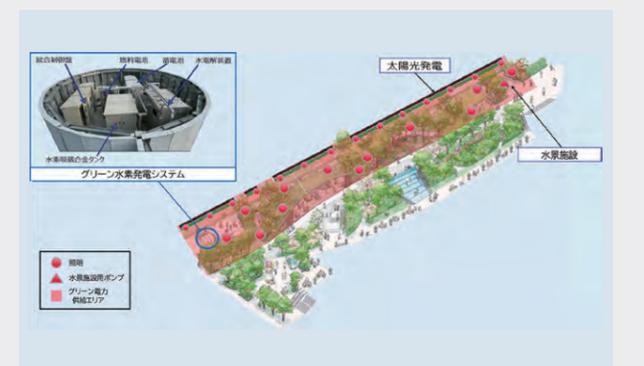
官民連携(PPP)で水の安全・強靭・持続をめざす

国内の上下水道は、老朽化施設の更新や広域化に対応するため、自治体のサービス業務が民間に委託されつつあります。今後は、維持管理だけでなく料金徴収やメーター検針を含む包括委託をはじめとした官民連携(PPP(Public Private Partnership))が推進されています。日立グループは、水・環境ソリューション事業を社会イノベーション事業の重点分野とし、設備提供に加え運営サービスも拡大し、水・環境の保全と改善に貢献していきます。



脱炭素社会をめざして

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、CO₂削減の切り札として注目されている「水素エネルギー」。私たちは都市の低炭素化とエネルギー利用の最適化をめざして、都市向け水素利活用・地産地消モデルを構築し、太陽光発電100%由来の電力で製造した「グリーン水素」を活用した発電システムを納入しました。この取り組みは、再生可能エネルギーと水素を組み合わせた次世代のエネルギーソリューションとなります。日立グループは、ITとOT、プロダクトの力を融合させ、脱炭素社会の実現に貢献しています。



日立製作所

エネルギーソリューション

お問い合わせ先

人財統括本部
人事労働本部
タレントアキュジション部
power.energy.mz@hitachi.com



所在地

日立事業所 海岸工場
〒317-8511
茨城県日立市幸町三丁目1番1号

日立事業所 国分工場
〒316-8501
茨城県日立市国分町一丁目1番1号

日立事業所 臨海工場
〒319-1221
茨城県日立市大みか町五丁目2番2号

東京地区
〒101-8608
東京都千代田区外神田一丁目18番13号
(秋葉原ダイビル)



MATCHING FIELD

01 原子力分野

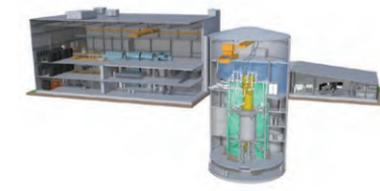
発電の過程でCO2を排出することがない原子力発電は、地球温暖化の防止をはじめとする日立グループの環境への取り組みの大きな柱となっています。カーボンニュートラルの達成とエネルギー安定供給の実現に向け、日本国内にある既存原子力発電所の安全性向上、世界的に需要が高まっている小型軽水炉SMRの海外展開、次世代炉や高速炉の開発、福島第一原子力発電所の廃止措置など、日立の原子力事業は、日立グループの総合力を発揮した信頼性の高いモノづくりとサービスで、地球の未来をひらくために優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献していきます。



原子力分野の事業領域

1 海外展開

将来のエネルギー問題を解決する小型軽水炉SMR (BWRX-300)を、パートナー会社である米国GE Hitachi Nuclear Energyをはじめとする国際協力により開発、推進しています。小型軽水炉SMRは次世代炉として注目されており、安全性を保ちながらの建設や発電コスト抑制を可能とし、市場競争力の強化にもつながります。BWRX-300はカナダ・オンタリオ州の州営電力公社Ontario Power Generation社の炉型に選定されており、2030年の建設完了をめざしてカナダでの建設許可を2025年5月に取得しました。また、すでに実績があるABWRについても、GE Hitachi Nuclear Energyと連携して拡張活動を展開しています。



2 国内新規建設

2011年3月の福島第一原子力発電所事故以来、国内のBWR原子力発電所は停止しており、再稼働のためには新規規制基準への適合が要求されています。日立は、新規規制基準審査支援、および安全対策設備の技術開発・改修工事によりBWRプラントの早期再稼働に貢献しています。また、日立は安全性、運転性、経済性の高いABWRを国際共同開発し、これまで初号機である東京電力HD(株)柏崎刈羽原子力発電所6・7号機をはじめ、中部電力(株)浜岡5号機、北陸電力(株)志賀2号機を建設してきました。設計の最適化、標準化と豊富な建設経験に基づく高度な建設技術を活用し、中国電力(株)島根3号機、電源開発(株)大間1号機、東京電力HD(株)東通1号機を建設中です。



3 原子力燃料サイクル

持続的な原子力エネルギーの活用のためには、使用済み燃料の貯蔵、再処理を行って原子力燃料サイクルを完遂させることが必要不可欠です。再処理では、青森県六ヶ所村の商用使用済み燃料再処理工場(日本原燃(株))の建設・試運転に取り組んでいます。また、使用済み燃料の中間貯蔵では、施設建設へ参画して搬送装置等を納入しているほか、輸送・貯蔵兼用金属キャスクの開発、製造を行っています。さらには、資源の有効利用や放射性廃棄物の減容・有害度低減等を実現する高速炉・次世代燃料サイクルの開発を進めています。



後世へ、持続可能な未来を残していくために。

私たちエネルギーソリューションは、エネルギー資源の有効活用と環境負荷低減を両立する発電システムを提供しています。各国の多様化する電力需要に対し、培った技術と知見を活かして対応し、持続可能な未来を築く

ことを使命としています。今後も先進エネルギー技術を通じ、地球社会の未来を創るグローバルリーディングカンパニーとして貢献していきます。

募集職種	研究開発 設計開発 システムエンジニア 生産技術 品質保証 営業技術 その他
卒業学部学科系統	機械工学 電気・電子・通信工学 情報工学 化学 物理学 数学 経営工学 土木工学・建築・環境工学 エネルギー・資源工学 その他
事業分野	デジタルシステム&サービス エナジー モビリティ コネクティブインダストリーズ 研究開発 コーポレート

JOB CATEGORIES

設計開発

日立の技術力を製品に反映し、新製品として結実させ世の中に新しい価値を提供していくことが、設計開発エンジニアの役割です。お客様のリクエストに基づく見積・製品設計を行い、製品完成までのマネジメントを行います。

営業技術

お客様のリクエストに対して、技術的知見を通じて最適なソリューションを提供します。設計・製造・生産技術・品質保証・スタッフ部門など、各分野のメンバーを巻き込みながら、お客様の対応を行う重要な役割を担います。

生産技術

生産技術エンジニアは、生産量の拡大・生産効率の向上を技術面から実現させていく役割を担っています。海外生産拠点計画(新設&能力増強)や最新設備導入、生産プロセス改革による効率的な生産体制を構築します。

社内IT・セキュリティ

原子力・エネルギー事業の社内ITシステム分野ではIT・デジタル技術を活用して事業に貢献していきます。

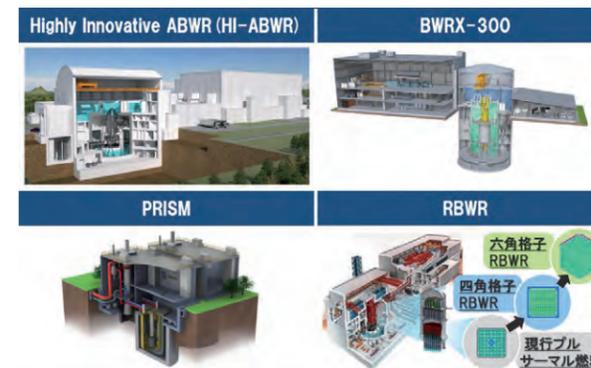
- ・IT戦略の企画・立案・実行
- ・ITインフラ・プラットフォーム構築・運用・保守
- ・ITガバナンス、セキュリティ管理・監査
- ・業務アプリケーションの構築・運用・保守
- ・ユーザーサポート、コンサルティング

品質保証

メーカーの最も重要なテーマの一つ、Quality Assuranceを担うのが品質保証エンジニアです。製品の信頼性の要として、納入された製品・システムが所定の機能・性能・耐久性などを確実にクリアしているかどうか、徹底的な技術検証を行います。

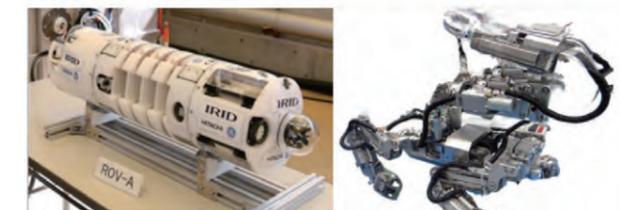
4 次世代BWRおよび高速炉の開発

原子力発電を増設・新規導入する国のニーズに応えるために、①ABWRをベースに新たな安全メカニズムを実装し、安全性、運転性、経済性をさらに高めた大型革新軽水炉HI-ABWRの実用化、②高い安全性と経済性を維持しつつ立地地域の特性に応じた柔軟な構成を提供する小型軽水炉BWRX-300、③金属燃料と空冷の受動的な安全系設備により高い安全性を実現する小型高速炉PRISM、④水冷炉でプルトニウムやマイナーアクチノイド(MA)などの超ウラン元素(TRU)を燃料として再利用することを可能とする軽水冷高速炉RBWRの開発を進めています。



5 福島第一原子力発電所の廃止措置

福島第一原子力発電所の廃止措置を完了させるための技術課題の一つは、原子炉建屋内に残存する核燃料の取り出しを実現することです。核燃料取り出しの実現に必要な、原子炉建屋内の調査、除染、補修、環境整備等の作業を推進するために、さまざまな手法を検討しています。人が容易に近づけない放射線環境下での作業については遠隔操作ロボットの活用が有効であり、核燃料取り出しの作業に向けて、今後も遠隔操作ロボットや取り出し工法の開発を着実に進め、一日も早い福島第一原子力発電所の廃止措置完了(福島復興)に貢献していきます。



資源エネルギー庁の廃炉・汚染水対策事業費補助金にて国際廃炉研究開発機構の業務として製作したものの

原子力分野の特徴的な技術

1 機械設計

原子力、火力等の発電所は、いずれも熱交換器、ポンプ、圧縮機、ディーゼル機関、配管、弁等、機械設備・部品で構成されています。原子力発電所特有の原子炉圧力容器は、中に蒸気を生じ、乾燥する機器や核反応を制御する制御棒を出し入れする機構を付けています。これらは、機械4力学(機械、材料、流体、熱)や振動、機械要素、工作・加工、計測制御等、幅広い技術分野で成り立っています。

3 水化学・材料

国内外の基礎技術・最新の知見を踏まえ、原子力発電所全体の設計・課題に対し、最適な材料構成・水化学管理を提案し、高信頼性・高経済性プラントの実現に寄与します。また、データの拡充や理論的裏づけ等について、原子力材料・水化学技術を持つ研究機関と積極的に連携を行っています。近年では国内初となる運転中の原子炉一次冷却水への貴金属注入の導入検討を行い、プラント健全性の維持に取り組んでいます。

TOPICS

原子力分野に進むかどうか、悩んでいるあなたに伝えたいこと

「原子力工学専攻の人だけの世界」と思われがちですが、実際には機械・電気・情報・土木・建築・材料・化学など、幅広い系分野の知識と技術が結集して成り立っています。特に原子力事業の醍醐味として、自分の設計が実際の発電所に反映され、社会インフラとして何十年も稼働するという、他では味わえない達成感と責任感を得ることもできます。さらに、グローバル展開や新型炉開発など、未来を切り拓くプロジェクトにも関わられる可能性があります。実際に、原子力工学専攻以外の学生が放射線遮蔽設計や配管設計などで専門性を発揮し、活躍されている事例も多数あります。たとえ専攻が違っていても、エネルギー問題に関心がある方、社会に貢献したいという想いを持つ方には、原子力のフィールドで活躍するチャンスがあります。あなたの専門性、ぜひこの世界で活かしてみませんか？

技能向上への取り組み

我々は高い安全性とカーボンニュートラルに貢献する原子力発電用製品の製作のため、技術者の技能向上を継続的に推進しています。2022年の技能五輪国際大会では我々の技術者が溶接職種において金メダルを獲得しました。

02 核融合・加速器分野

私たちは、未来のエネルギーを切り拓く核融合や加速器の分野で、1950年代から半世紀以上にわたり、研究を支える装置の設計・製作に取り組んできました。長年培った技術力と経験を活かし、研究者の挑戦を確かな形にすることで、科学の進歩に貢献しています。私たちの使命は、持続可能な社会の実現です。革新的なアイデアを形にし、次世代のエネルギー技術を社会に届けることで、より豊かな未来を創造します。「あなたの挑戦が、世界を前進させる力になる——その舞台がここにあります。」科学とモノづくりの力で、未来を共に切り拓きましょう。

核融合・加速器分野の事業領域

1 核融合実験用機器

核融合は、カーボンニュートラルをめざした新エネルギー源の有力な候補の一つとして研究開発が進められており、内閣府のフュージョンエネルギー・イノベーション戦略改訂により注目を集めている技術領域です。日立は、国際協力の実験炉「ITER」や「JT-60SA」(量子科学技術研究開発機構(GST))、「LHD」(核融合科学研究所(NIFS))などの実験装置の中核機器を設計・製作し、運転・保守をサポートすることで最先端研究の推進に貢献しています。また現在オールジャパン体制で検討が進む「原型炉」にも設計チームの一員として技術検討に参画するとともに、民間資金により早期発電をめざすスタートアップとの連携も検討を進めています。



核融合実験装置 (左:LHDプラズマ真空容器の内部(写真提供:NIFS) / 右:ITER向け中性粒子ビーム入射装置用電源試験設備)

核融合・加速器分野の特徴的な技術

モノづくりを通じた 科学技術発展への貢献

発電機や変圧器の製作によって培った電気機器製作の技術をベースに、多数の核融合・加速器の研究開発用実験装置を設計・製作しています。これらの技術は、超伝導・極低温技術、超高電圧技術、超高真空技術、大型構造物の製作技術等に展開され、さらにシステム技術を組み合わせることで、総合電機メーカーとして、この分野の発展に貢献してきました。また、研究開発部門と連携して、任意形状・高精度磁場の設計・製作技術、大電流イオン源・ビーム輸送技術、高温超伝導線材等の特徴的な技術の自社開発も進めています。これらの技術は、磁気共鳴画像診断装置(MRI)や粒子線治療装置(PBT)等のヘルスケア事業分野にも適用され、さらなる発展を遂げています(※)。※民生用超伝導応用製品に興味がある方は、日立ハイテックのページもご覧ください。

2 メカトロニクス

原子力発電所では、定期検査時の省力化、原子炉本体やその周辺機器の検査や補修、そして作業者の被ばく低減を目的として、自動や遠隔で動くメカトロ製品が多数使われています。燃料取扱装置、制御棒駆動機構交換装置や福島第一原子力発電所内部の調査ロボットなどの開発・設計に、機械工学、電気、電子工学や材料工学等の知識が活かされており、製作した製品が原子力発電所の中で活躍しています。

4 計装制御・電気

計装制御技術は発電所の脳神経系統に相当します。センサや伝送路、制御系を適切に構成することで、発電所の安全性を維持するとともに、高効率運転に寄与しています。また、発電所の多種多様な機器の動作には電力が必要であり、発電所内の電源系構築も重要な設計業務です。このような「つなぐ」技術として、原子力分野だけでなく、情報や制御、電気、人間工学といった幅広い分野からの人材が連携して活躍しています。

■以下専攻別の活躍分野一例■

- 機械系 原子炉を支える構造や配管、安全系機器の設計・メンテナンスなどで活躍。安全性・耐久性を高める技術が求められます。
- 電気・電子系 制御システムや発電・送電システムの設計に不可欠。正確な制御や安定した電力供給を支えています。
- 情報・制御系 原子力プラントの運転監視、AIを使った故障予測など、デジタル化・自動化の推進役として注目されています。
- 材料・化学系 高温・高圧環境に耐える材料の研究や、放射性廃棄物の処理方法などで重要な役割を果たしています。
- 土木・建築系 発電所の建設・耐震設計など、安全かつ堅牢なインフラ整備に関わります。 等

03 水力発電・揚水発電/水車(水カタービン)・水力発電機分野

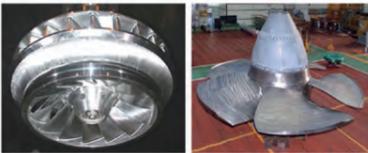
水力発電は、水の持つ位置エネルギーを運動エネルギーに変えて水車を回し、水車と連結している発電機で発電します。河川の水を利用するため、石炭、石油、天然ガスといった化石燃料を使用せず、二酸化炭素を排出しないことから、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。日立製作所は1912年に峰ノ沢鉱山で横軸ベルトン水車、発電機の運転を開始して以来、100年以上の水力事業の歴史を有しています。2011年には三菱電機株式会社、三菱重工業株式会社と水力事業を統合し、日立三菱水力株式会社を設立しました。今後も日立三菱水力株式会社を中心に、水力発電ソリューションの提供を通じて、電力の安定供給に寄与します。



水力発電・揚水発電/水車(水カタービン)・水力発電機分野の事業領域

1 水力発電

水力発電の原動機である水車。経験に裏打ちされた高信頼性のもとで、水車の計画・開発・設計・製作・据付・試運転を行っています。新規発電所の計画時点から参画することにより、地点に最適な水力発電所の実現に寄与しています。日立が取り組んでいる水力発電所は水資源を有効活用するために発電所ごとの個別最適設計。技術者の英知の塊が環境に貢献しています。



4 特性改善

既存水力発電所のリハビリ。既存のダム設備を有効活用し発電効率を向上させるために、運転開始後30年以上経過の発電所では新しい機器への更新が行われています。自社納入機のみならず、他社機の特性改善にも果敢に取り組んでいます。既設設備と最新技術で開発した機器の融合により、世界各地で新たな水力エネルギーが生み出されています。

6 水車制御装置

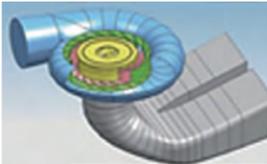
水車の運転を制御する調速機。油圧式、電動式、油圧と電動のハイブリッド制御装置により水車が最適な運転となるよう制御します。ほかの制御機器と連携し、安定的な電力供給の一翼を担っています。



水力発電・揚水発電/水車(水カタービン)・水力発電機分野の特徴的な技術

1 水車の高効率化

水資源の有効利用のために、流体シミュレーションおよび実験計測技術を駆使し、水車の高効率化を図っています。また、電力系統運用の効率化・安定化に寄与する揚水発電ポンプ水車の高効率化に加え、可変速揚水発電ポンプ水車ランナの開発にも取り組んでいます。



3 高速大容量発電電動機

揚水用発電電動機は、電力需要の少ない夜間などに電動機として水を汲み上げて大量の位置エネルギーとして上ダムに貯蔵し、電力需要の多い時間帯に発電機として電力を系統に供給することができる可逆的なエネルギー変換装置です。昨今の高速大容量化により、容量増加に伴う発電電動機の冷却特性の改善、高速心力に対応した回転部強度、信頼性の高い高速高面圧軸受などの設計が求められます。高度な電磁界、応力、熱、流体解析技術を用いた開発・設計を行っています。

2 高落差揚水発電

発電と揚水により電力の発生と貯蔵に寄与する揚水発電。経済メリット追求のために高落差化・高速化が進められています。揚水発電技術の着実な積み重ねとそれらの効果的な組み合わせにより、高落差揚水発電機器の信頼性、安定性を確保しています。



5 流体シミュレーション・水力実験所

地点ごとに最適設計が行われる水力発電所。流体シミュレーション技術、流体計測技術を駆使し最適形状を探索するとともに、高信頼性運転の確立のための検証実験を行っています。発電所ごとの課題を発電所オーナーと共有し、解析と実験で解決を図っています。



7 水力発電機、発電電動機

水車と直結して駆動され電力を発生する発電機。単機出力数千kWから数十万kWの発電機の開発・設計・製作・据付・試運転を行っています。また水車駆動による発電機と水車を逆転させてポンプとして駆動する電動機の機能をあわせ持つ発電電動機や、回転速度を変化させて運転可能な可変速発電電動機の開発・設計も行っており、これらを揚水発電所に納入しています。容量の増大・効率の向上などの市場の要求に応え、また競争の激しいグローバル市場で養われた技術力を活かし、日立の発電機は進化を続けています。



8 産業用大型同期電動機および関連機器

日立では、各種産業に用いられるポンプ、コンプレッサ、ファンを駆動する高圧大容量同期電動機を顧客ニーズに合わせて供給し続けています。また水力用大容量縦軸同期発電電動機や産業用大容量同期電動機の技術を応用した、事業用同期調相機や、核融合電源用の電動発電機(M-Gセット)の供給やメンテナンスにも力を注いでいます。

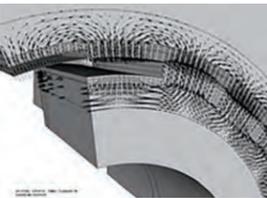
2 特性改善ランナ

水車の心臓部はランナ。特異な立地条件、広範囲の運用条件でも適用できるように新形状ランナを提供し続けています。複雑な3次元曲面で構成される新形状ランナの開発には、3次元CAD/CAMのデジタルエンジニアリング技術を活用しています。



4 可変速発電電動機

可変速揚水発電システムは、発電電動機の回転速度が変化しても、電力系統と電力を授受できる新しい揚水発電システムです。昼夜間の電力を平準化するだけでなく、回転部の持っている慣性エネルギーを利用して高速に系統と電力授受ができることから、運転中の系統周波数制御などの優れた機能を有し、系統安定度向上に寄与します。これは発電機技術とパワーエレクトロニクス技術を高度に融合したシステム製品であり、このシステムに適用される可変速発電電動機には、従来の発電電動機と異なる新しい材料、構造そして製造方法が開発、適用されています。



主な事例紹介

1 グローバル展開

世界各国における新規案件はもとより、米国をはじめとする水力先進導入国におけるリワーリングにも積極的に取り組み、水力エネルギーの有効活用に貢献しています。また、部品の調達、製造においても、海外パートナーと協調し信頼性の高い製品を提供しています。

3 東京電力株式会社 神流川発電所向け525MVA発電電動機【単機容量世界最大級の発電電動機】

日立製作所は、空冷の発電電動機として単機容量世界最大級となる525MVA/464MW発電電動機および最新鋭のデジタル制御を駆使した30MWサイリスタ始動装置を納入しています。近年、二酸化炭素を発生しないグリーンエネルギーとして水力発電を見直す機運が高まっており、神流川発電所で培った発電電動機の大容量化技術およびサイリスタ始動装置のデジタル制御技術は地球環境に貢献するものとして注目されています。

参考文献：2007年2月

日立評論「東京電力株式会社神流川発電所向け 525MVA発電電動機・サイリスタ始動装置の運転開始」



参考文献：2013年1月

日立評論「東京電力株式会社神流川発電所向け 525MVA/464MW2号機発電電動機の営業運転開始」



2 開発技術・製品

水力発電機器、高落差揚水発電機器、水車制御装置、流体シミュレーション、水力実験所、事業用発電機、可変速発電電動機、産業用大型同期電動機、核融合電源用発電電動機、電磁界解析

4 電力供給の安定化に貢献する小丸川発電所の変速揚水発電システム

電力需要の負荷平準化や電力系統の周波数安定化に寄与する可変速揚水発電システムは、電力需要の急増時や非常時に対応するエネルギー貯蔵装置としての役割も期待されています。大容量・高速の可変速揚水発電システムを実現した小丸川発電所では、停止状態からわずか2分半で原子力発電所に匹敵する電力を供給できます。二酸化炭素排出量抑制を背景とした太陽光、風力などの再生可能エネルギーの普及により、ますます重要性を増しています。

参考文献：日立評論2013年1月「電力供給の安定化に貢献する小丸川発電所の変速揚水発電システム」



5 エジプト国内の砂漠の緑化に貢献するかんがい用水事業

エジプト国内の砂漠の緑化事業の中心プロジェクトであるトンカ開発は、22.5万ha(東京都の面積と同一規模)の砂漠を農地に変えて300万人を定住させるというもので、ここに総延長240kmのかんがい水路と巨大ポンプ場が建設されました。日立製作所は、ポンプ場の機械・電気システム設計と機器納入を担当し、巨大ポンプ場建設計画の中心的役割を担いました。当部門はこの中のポンプ駆動用12MW同期電動機21台を製作、納入しています。

参考文献：2003年2月日立評論「エジプト国内の砂漠の緑化に貢献するかんがい用水事業」



04 社内ITシステム分野

原子力・エネルギー事業に携わるさまざまな社内のニーズや課題に対してITを活用した解決策をデザインし、従業員が最大限の力を発揮できる環境を構築・運用しています。例えば、ITを活用した経営基盤強化や業務合理化活動、セキュリティリスク対策による安心・安全な職場環境づくり、働き方改革による従業員のエンゲージメント向上活動などを行っています。



社内ITシステム分野の事業領域

1 デジタルトランスフォーメーションの推進

企業が競争力を上げるには急速に変化する事業環境に対して適した業務プロセスを構築することが重要です。この業務領域でエナジーセクターのデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進します。例えば、営業支援ツールを導入し国内外含めた顧客の一元管理をすることで、提案力・収益力を上げる活動を行っています。ほかにもコロナ禍によって勤務形態の変化も求められてきており、コミュニケーションツールや活用ガイドラインを展開し、快適な在宅勤務環境を提供することで、従業員のモチベーションアップひいては生産性向上に寄与しています。

社内ITシステム分野の仕事内容

社内ITシステム分野では、以下3つの業務領域を中心に活動しています。

1 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

この業務領域では、今後の原子力・エネルギー事業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進します。例えば、基幹業務システム(ERP※1)、プロジェクト管理やエンジニアリング支援のデジタル基盤の計画・設計・構築・導入、デジタルツインや顧客連携システムなどの構築・設計などを推進しています。さらに、生成AIやメタバースなどの最新技術の利活用についても社内外の各部門と連携して推進しています。

3 情報セキュリティガバナンスの推進

この業務領域で原子力・エネルギー事業における各BUおよびグループ会社全体の規則や情報セキュリティ対策を統制しています。社内の情報セキュリティ規則に準拠した運営がされているかの情報セキュリティ監査の実施や、IoT(※2)やSaaS(※3)を使ったこれからの業務の仕組みに沿ったルールづくりを行います。また、BCP(※4)訓練を企画し社内の情報セキュリティインシデントに対する対応力を鍛える役割も担っています。このような活動によって、原子力・エネルギー事業の事業継続に寄与しています。

※1 ERP:Enterprise Resource Planning ※2 Internet of Things※3 Software as a Service ※4 Business Continuity Planning

社内ITシステム分野の活かせるスキル

社内ITシステム分野では、以下のようなスキルを活かすことができます。

これらは業務を通してスキルアップしていきますので、今は身に付いていなくても問題ありません。一緒にスキルアップしていきましょう。

1 コミュニケーション能力

プロジェクト活動では打ち合わせが頻繁に発生し、いろいろな部署の人と関わりを持ちます。関係者の意見を聞き、相手の意図(ニーズ)に合った提案を発信することで、円滑に業務を進めることができます。

3 プロジェクトマネジメントスキル

仕事はチームで行うため全員が同じ目標を持ち、期限を守って活動しなければなりません。リスクマネジメントやスケジュール管理などを通して、チームのパフォーマンスを維持し、計画通りの成果を上げることができます。

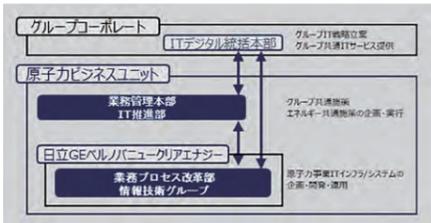
2 論理的思考

社内のニーズや課題に対して適切な解決策を出さないと望む効果は生まれません。フレームワークを活用し、因果関係の整理や課題の分類・細分化などを行うことで、効果的な施策を計画することができます。

4 ITに関する基礎知識(Web開発、サーバ操作、データベース操作(SQL)など)

ITシステムのアップデートなどではバックグラウンドとなるIT知識を理解することで、より早く問題点や解決策を見つけることができます。

組織概要



社内ITシステム分野の特徴的な技術

1 Lumada事例

デジタル化推進による業務の効率化・高度化

モノづくり業務において、計画より作業が遅延する課題に対して、IoTプラットフォーム「Lumada」のデータ分析環境を利用して製作業務分析を行いました。具体的には①IoTセンサの配置、②機械学習による作業分類、③統計データ分析によるクリティカルデータの抽出によって、毎週の加工状況をダッシュボードで可視化しました。これによって機械が稼働していない無駄時間を削減し、生産リードタイムの短縮に寄与しました。



他にも、図書、図面・CADデータやさまざまな属性情報などの設計データ、原子力発電プラントの構造物を3次元レーザースキャナーで計測した点群データなど多様な形式のデジタルデータを統合・集約し、設計業務に活用するN-DAC(Nuclear Digitalized Asset Center)活動を推進しています。設計～現場まで一気通貫でデータを見える化・活用できるようにすることで設計業務の生産性向上、働き方改革の推進を図ります。さらに予防保全や廃炉までを視野に入れてデジタル化を推進し、原子力業務全体の高度化を目指しています。

さらに、空間デジタル化技術の応用として、メタバース技術を活用した「原子力メタバースプラットフォーム」の構築を進めています。これは、電力事業者から現場エンジニアまで、ステークホルダーがリアルタイムでつながる仮想空間を提供するものです。高精度な点群データや3D-CAD情報を重ね合わせて現場環境を詳細に再現し、拠点を問わず複数ユーザが現場状況を共有・対話できるコラボレーション機能を搭載しています。また、AIを活用した自然文による設計図書の全文・類義語検索や、設備情報との連携による高精度な検索機能、空間へのメモ追加、追加機器の干渉確認など、エンジニアリングや工事を多面的に支援する機能を備えています。このように、Lumadaプラットフォームでの各種デジタルツールやメタバースシステムの連携によって、知見や多様なデータをシームレスに活用できるデータドリブン発電所を実現し、これにより業務高度化、安全性/生産性向上と、原子力業界の次世代の働き方を実現していきます。

2 SaaS活用事例

Microsoft365を活用したDX推進・セキュリティ強化、柔軟な働き方の実現

日立グループ全社で利用しているMicrosoft365のアプリケーション開発環境を活用して、工認図書や工事案件の進捗状況を可視化する動態管理ツールを開発し、プロジェクト管理業務の効率化に寄与しています。また、Microsoft365のプロファイル写真を活用したメール宛先確認ツールを開発し、メール誤送信事故を大幅に低減することで、情報セキュ

リティ事故防止に寄与しています。さらに、日立グループ全体施策であるパスワード付きZIPファイル添付メール(通称PPAP※2)の利用廃止に向けたツール機能拡張も推進しています。加えて、出社が必要な紙ベースでの押印・署名業務に対して、クラウドサービスおよび社内回覧システムを活用することでペーパーレスによるコスト削減および在宅で承認作業を可能にし、柔軟な働き方の実現に寄与しています。

※2 PPAP:Password付きZIPファイルを送ります、Passwordを送ります、Angoka(暗号化) Protocol(プロトコル)

05 生産技術・工場設備開発分野

生産技術・工場設備開発分野では原子力分野を中心に生産技術と拠点強化により、環境価値と競争力の高い持続的な生産基盤・次世代を担う高品質・低コストな「モノづくり」を構築し、原子力事業に貢献することをミッションとしています。私たちは最先端の生産技術や製造技術を積極的に取り入れ、生産工場の製造設備の最先端化、工場全体のデジタル化・省エネ化、CO2削減、廃棄物ゼロをめざしています。汎用設備にない、非汎用設備の技術開発や設備の設計を行い、高品質な生産技術および生産設備の導入を行っています。さらに生産業務プロセスのデジタル化を促進し、生産基盤のレジリエンス向上と安定供給により、生産効率向上に努めています。



生産技術・工場設備開発分野の事業領域

1 高度な「モノづくり」を支える生産技術および生産設備の開発

高品質の製品を迅速かつ低コストで製作するための生産設備導入や生成AIを活用した技術開発を行っています。IoT技術を活用した生産設備の自家開発(メカトロ、電気・制御設計)、生成AIを活用した技術の現場適用をめざした対応、CAD/CAM技術を取り入れた、生産業務の効率向上を図っています。更に既存設備のレトロフィット化対応も大切な業務の一つです。また、「モノづくり」には継続的な生産性向上と低コスト化が必要です。現状の作業を分析し、効率的なプロセスにするIE(Industry Engineering)を活用し、生産業務プロセスの改革にも取り組んでいます。グローバル環境で競える工場構築のため、最先端の技術を用いた設備導入や開発技術の工場への導入実現に向けた活動を行っています。

2 生産基盤設備のグリーン化およびデジタル化による環境価値・レジリエンスの向上

高い信頼性が要求される社会基盤である電力設備の生産には、生産工場の基盤設備(電気、水、通信など)や加工・運搬設備(工作機械、プレス、クレーンなど)が常に高精度かつ正常に稼働することが不可欠です。私たちは、それら生産工場の基幹設備の開発・導入、管理・保全を万全な体制で実施しつつ、時代の潮流に合わせたグリーン化・デジタル化への対応により、環境価値とレジリエンスの向上をめざし活動しています。

仕事内容

1 生産技術の開発および生産設備の設計・導入

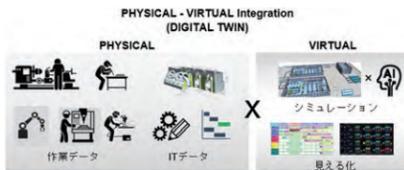
この業務領域では汎用設備の導入から非汎用設備の設計を行い、高効率化等を図った設備の導入を行っています。例えば、製作する製品によっては汎用設備では製作できない製品もあり、製作製品の仕様を確認の上、設備の構成検討・設計、予算、工程管理、手配、据付、調整など一貫して対応し、オンタイムで要求ニーズを満たした設備導入を行っています。さらに、生成AIを製造現場への適用など、生産技術の開発も積極的に推進しています。事例のないことに対しても積極的に取り組み、社内外と密に連携を取り、互いの強みを活かして、推進していきます。生産技術の開発、生産設備の導入により、原子力事業の継続に寄与しています。

2 工場のデジタル化

工場のデジタル化を行っている部署は多々ありますが、私たちは設備面からデジタル化対応を行うことで貢献しています。設備の保守・メンテナンスのデータ収集から、各機器で製作する製品のエビデンスとなる情報の収集までどのように取得し、どのように見えるようにするのが良いかを検討し、関係部署と連携し、構築することを推進しています。新規設備に対してだけでなく、既設設備に対してもどのように対応すれば情報を得られるかなど行います。

3 加工・運搬設備の安定稼働および生産工場の基盤設備の安定供給

工作機械、クレーンなどの加工・運搬設備の安定稼働と電気、水、通信など生産工場の基盤設備の安定供給は生産工場には必要不可欠なものとなります。滞りなく生産ラインを稼働させるためには日頃より設備の保守・メンテナンスは欠かせません。関係部署と連携を取り合い、ルールに則り対応し、予防保全や予兆保全などを行い、未然に生産ラインの停止を防止することは重要な業務となります。また、電気、水など当たり前にあるモノを当たり前に供給することは簡単なことのように難しいことです。そのため、常にモニタリングおよび管理を行っています。



3 生産工場の環境価値向上

工場では生産により発生するCO2削減に向けて、省エネルギー設備・再生可能エネルギー設備の導入やエネルギーマネジメントシステムの活用等のグリーン化を計画し、2030年のカーボンニュートラルの実現をめざして推進しています。また、生産で発生するプラスチック等の廃棄物は、原材料や燃料として有効利用することで、埋立ゼロをめざすことや、水資源の使用削減等、持続可能な資源循環および脱炭素社会の実現に向けて活動しています。

ITデジタルソリューション

お問い合わせ先

人財統括本部
人事労働本部
タレントアキュイジション部
saiyou.job.bt@hitachi.com



所在地

配属部署により勤務地が異なります。
東京都、神奈川県、および支社
※顧客先常駐の場合あり。

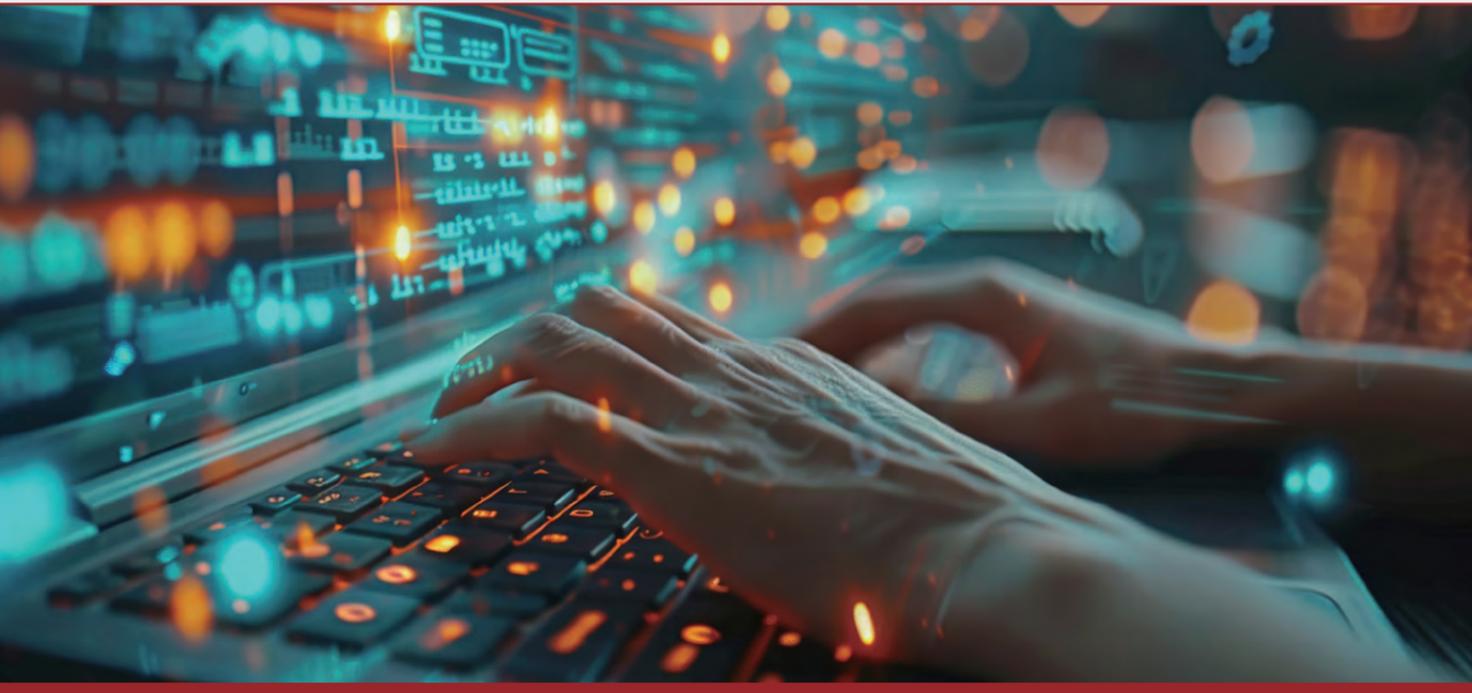
事例紹介

ITデジタルソリューションの
社員インタビューはこちら



社員紹介

キャリアパスややりがい、
働きやすさに関する
現場社員のリアルな声をご紹介します



SE(フロントエンジニア:金融)の事業領域

金融システム

顧客との協創で培った技術やノウハウと、
デジタルソリューションの活用で社会課題の解決に取り組む

気候変動リスクや脱炭素化への対応が急務となる中、金融機関には新たな社会的役割が求められています。また、DXや最新のデジタル技術を活用したビジネス変革のため、モダナイゼーションが加速しています。日立の金融システム部門は、金融業界にとどまらずさまざまな業界と連携し、「One Hitachi」として社会が抱える課題解決をめざしています。

【金融ビジネスユニット専用 採用サイト】
キャリア採用サイトとありますが、事業の事例・働く環境など、金融ビジネスユニットの理解を深められる情報がまとまっていますので、学生の皆さまもぜひご参照ください。



02 SE(フロントエンジニア:公共) システムエンジニア

官公庁、自治体、研究・教育機関、道路や消防分野など、公共分野のお客さまに向けたミッションクリティカルなシステム開発やITサービスの提供を幅広く行っています。現代において、少子高齢化や環境問題、国際情勢の変化など、社会課題はますます複雑化しています。私たちは、公共分野における大型プロジェクトのマネジメントなど、これまで培ったノウハウを生かし、お客さまと協創しながら、データとデジタル技術による社会インフラの革新をめざしています。



SE(フロントエンジニア:公共)の事業領域

公共システム

公共情報システムを担うことに誇りと責任を持ち、
ICTを通じて豊かな社会の実現に貢献し続けるために、個人と事業の継続的な成長をめざす

官公庁、自治体、社会保障分野、研究・教育機関など公共分野のお客さま課題を、「大規模プロジェクトのマネジメントをはじめとしたノウハウ」と「AIやIoT等の新たなデジタルソリューション・モノづくり(設計・開発)」を組み合わせることで、人々の安心・安全で住み良い暮らしの実現に貢献しています。

Digital for all. デジタルの力を、すべての人たちのために。

デジタルを通じて生み出すその価値をすべての人たちに届け、サステナブルな社会の実現に寄与したい。今後も、世界中のお客さまと未来を描

く「DXパートナー」として、デジタルイノベーションの源泉となる「人」と「テクノロジー」で、お客さまの抱えるさまざまな課題に取り組んでいきます。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エネルギー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES

職種紹介

システムエンジニア

お客様のニーズに対し、コンサルティングからシステム構築、運用フォロー・保守まで技術的な面から総合的なソリューションを提供します。社会や人々の暮らしに不可欠なITシステムやソリューションをお客様とともに提供していきます。SEの中でもフロントエンジニアは、業界ごとに分かれて大規模なソリューションを提供します。お客様の経営・ビジネス課題に対応し、システムのコンサルティング、要件定義、仕様設計、構築、テスト、運用・保守までの全工程を一貫してマネジメントします。業界特有の課題を深く理解したSEとして、お客様との協創を通じ、新しいビジネスやソリューションの創出をリードします。フロントエンジニア以外のSE職種の説明は、「マッチング分野」の記載をご確認ください。

設計開発

社会のニーズを先取りし、世界中の開発拠点と連携してIT製品を設計・開発します。これにより、競争力のあるサービスとプロダクトを提供し、日立グループと業界の協創を加速し、デジタルソリューションを拡大します。

品質保証

顧客向けソリューションや製品の開発プロジェクトで第三者視点から品質検証を行います。品質状況の分析、レポート、モニタリングを行い、出荷判定やトラブルデータの収集・分析を通じて規格化・標準化を推進し、品質リスクの識別と対応策の検討も行います。

MATCHING FIELD

マッチング分野

01 SE(フロントエンジニア:金融) システムエンジニア

銀行・保険・証券などの金融機関向けシステム開発を通じて、社会インフラ基盤を支える仕事に携われます。大規模・ミッションクリティカル案件や顧客DXへ寄与でき、更には生成AI・デジタル技術の最大活用における顧客業務改革に関わることができます。最先端の技術に触れつつ、社会貢献を感じられ、あなたの「やりたいこと」がきっと見つかると思います。



03 SE(フロントエンジニア:社会) システムエンジニア

エネルギー、交通、通信分野のお客さま向けに高品質/大規模システムの開発、ITサービスの提供を幅広く行い、ITとOTの融合を通じて、国内外で日立の社会イノベーション事業を推進しています。さらに、お客さまとの「社会インフラDX/GX」の推進を通して社会課題の解決に取り組み、誰もが豊かに生き生きと暮らすことができる社会の実現をめざします。



SE(フロントエンジニア:社会)の事業領域

社会システム

エネルギー・交通・通信などの社会インフラ分野でのソリューション提供を通じて、
安全・安心な暮らしの実現と社会インフラの発展に貢献

社会システム事業部は、国内の全国各地に拠点を持ち、エネルギー、交通、通信事業者向けに日立の社会イノベーション事業を展開しています。エネルギー分野では、電力自由化に対応し、電力会社や市場を支える高品質なシステムを提供。交通分野では、座席予約やICカードシステムを含む大規模システムを開発し、鉄道インフラを支えています。通信分野では、回線申込みからAIを活用したソリューションまで幅広いサービスを展開しています。

04 SE(フロントエンジニア:防衛・社会インフラ安全保障) システムエンジニア

防衛省や安全保障関連の省庁を中心としたお客様に対し、統合運用、サイバーセキュリティ、インテリジェンス、衛星画像に関するデジタルソリューションを提供しています。上流提案・要件定義・設計・開発・運用・保守まで一連のシステム開発の取り纏め、顧客ニーズ把握やソリューション調査等による事業戦略策定や新規事業の提案業務を担当します。防衛・社会インフラ安全保障に関するその他のソリューションや、SE以外の職種(設計開発・品質保証)は、「防衛・社会インフラ安全保障ソリューション」フィールドで紹介・募集しております。こちらのページでご紹介されている事業領域の設計開発・品質保証の職種に興味をお持ちの方は、「防衛・社会インフラ安全保障ソリューション」フィールドからご応募募願います。



SE(フロントエンジニア:防衛・社会インフラ安全保障)の事業領域

防衛・社会インフラ安全保障システム

防衛・航空宇宙・セキュリティ分野を支える技術を軸に、社会インフラ安全保障事業を推進し、安心して暮らせる社会の実現に貢献

防衛・社会インフラ安全保障システム事業は、防衛事業で培った技術や経験を活かし、サイバー空間を含む社会インフラ全体の安全保障を推進しています。サイバー攻撃や自然災害など地球規模の課題に挑み、海底から航空宇宙、サイバー空間に至るまで、安全・安心を支える製品やソリューションを提供しています。

05 SE(フロントエンジニア・コンサルタント:産業) システムエンジニア

電機、自動車、食品、医薬、小売、運輸業など幅広い業種のお客様に対し、先進事例やノウハウを活用したコンサルティング、ITソリューションを提供しています。システムインテグレーションやクラウド型サービスを通じて企業価値を最大化し、私たちの暮らしを支えます。フロントエンジニアは、特定の業界やお客様特有の課題を深く理解したシステムエンジニアとして、プロジェクトマネジメントなどを行います。提案・立ち上げ・計画・実行・監視コントロール・クローニングを実施します。コンサルタントは、複雑化するお客様の課題解決に向けて、お客様と一緒に、将来ビジョンを描きます。さらに課題の具体化、解決の方向性と実現までのロードマップを作り、日立の優れたナレッジやITソリューション・サービスを活用して具体化、実現に導きます。



SE(フロントエンジニア・コンサルタント:産業)の事業領域

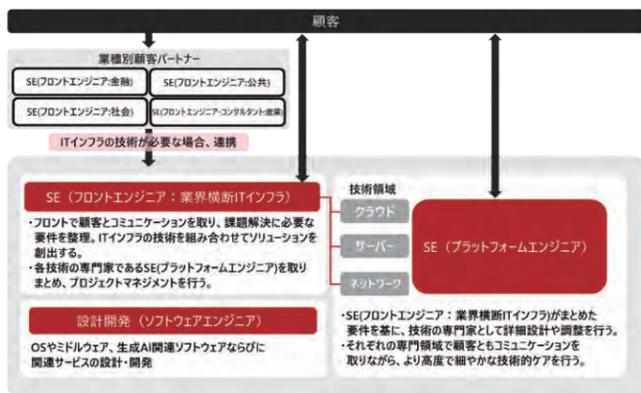
産業・流通システム

私たちの暮らしを支える産業・流通分野のお客様に日立グループの先進事例や製造業としてのノウハウを活用したコンサルティング、ITソリューション・サービスを提供

主に、普段の生活の中でもなじみの深い、電機、自動車、化学、医薬、食品、化粧品から精密、鉄・鉄鋼などの製造業のお客様や、各種小売業、卸売業、商社などの流通業のお客様、新聞・出版・印刷・メディアサービスなどのサービス業のお客様、鉄道、空港、陸運、海運業などの運輸業のお客様に対して、日立グループの先進事例や製造業としてのノウハウを活用したITソリューション・サービスを提供しています。コンサルティング・システムインテグレーションサービスやパッケージソリューション、クラウド型のソリューション・サービスを通して生活密着企業であるお客様の企業価値を最大化することで、私たち自身の暮らしを支えています。また、市場、社会情勢の不確実性の急増に伴い、事業を取り巻く環境が複雑かつ複合的に変化する状況下で組織・企業間、さらには分野を越えたトータルな課題解決を推進しています。

06 SE(フロントエンジニア:業界横断ITインフラ) システムエンジニア

クラウドやITインフラストラクチャ、セキュリティなどの高度な専門技術を有する組織として、金融・公共・社会・産業など幅広い業界で活動します。専門技術を強みに、顧客や各業種のフロントエンジニアと協力し、大規模なソリューションを提供します。仕事内容は顧客とのコミュニケーションを通じ、上流工程(コンサルティング、要件定義など)から、設計・構築、運用・保守まで一連のシステム開発と、そのプロジェクトマネジメントを行います。専門知識を強みに、業界や顧客特有の課題を深く理解したシステムエンジニアとして、大規模なプロジェクトを推進します。



関連性の深い3つのマッチング分野について
技術領域が近く関連性の深い3つのマッチング分野【SE(フロントエンジニア:業界横断ITインフラ)／SE(プラットフォームエンジニア)／設計開発(ソフトウェアエンジニア)】について、それぞれの役割と、他のフロントエンジニアとの連携について右図で示します。

07 SE(アプリケーションエンジニア) システムエンジニア

金融、産業・流通、鉄道、公共などの各業界で、お客様のビジネスを実現するために大規模で高難易度な業務アプリケーションやシステムの設計・構築を行います。要件設計の場面等では、お客様とも深くコミュニケーションをとり、最適なご提案につなげるよう仕事を進めています。システム構築、アプリケーション開発など技術面に軸足を置いて、お客様と関わりたい方や大規模プロジェクトのシステム開発・構築等に関わりたい方におすすめです。

SE(アプリケーションエンジニア)の事業領域

アプリケーションサービス

社会インフラを支える大規模で先進的な業務アプリケーション設計・開発および先進技術・ソリューションの提供

アプリケーション専門部門として、金融や鉄道、公共等、各業界に大規模で先進的な「業務アプリケーション(※1)」の設計・開発・保守を提供し、社会に不可欠な重要なシステムを支えています。また、長年のアプリケーション開発で蓄えたノウハウと最新のIT動向に対応したナレッジを組み合わせることで「Lumada(※2)」事業を推進しています。近年のIT動向に対応したナレッジについては、GlobalLogic社のデジタル技術を活用したDX(デジタルトランスフォーメーション)やCX(カスタマーエクスペリエンス)を実現するサービス提供等を中心に展開しています。

※1 お客様の業務活動の改革や、効率的な運用を実現するためのソフトウェアのこと。
※2 お客様のデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するための、日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション/サービス/テクノロジーの総称。



08 SE(プラットフォームエンジニア) システムエンジニア

データ利活用、クラウド、セキュリティ、ミドルウェアなどの技術を活用し、顧客のDX推進を支えるプラットフォームサービス・ソリューションを提供します。技術的なコンサルティングやクラウド環境の構築・移行支援、IT運用の最適化、コストガバナンスの計画から運用まで、顧客やSE(フロントエンジニア)と密にコミュニケーションをとり対応します。共通技術の開発に携わりつつ、特定顧客のプロジェクト推進も行います。クラウドやセキュリティ技術やデータ分析に関心があり、さまざまな業種のシステムに興味がある方におすすめです。

SE(プラットフォームエンジニア)の事業領域

フロント事業支援

プラットフォームからクラウド・デジタル領域まで提案、マーケティングで案件を創出し事業拡大に貢献

マネージド&プラットフォームサービス事業部は、高い技術力とパートナー商材を活用し、最適なプラットフォームソリューションを提供して顧客課題を解決しています。また、顧客提案や新規領域開拓、マーケティングリサーチを通じて日立のフロント事業を支援。クラウド、デジタル、ミドルウェア、サーバ、ストレージに精通した知識で市場ニーズに応え、IT事業拡大に貢献しています。



09 SE(社内IT統制・DX推進) システムエンジニア

デジタルシステム&サービス(DSS)の社内IT部門でSEとして、業種を問わず、DSS事業に適した従業員向けのITインフラや業務システムの企画・サポート、社内ITガバナンス、社内DXの推進を担当します。ユーザーの声を直接聞きたい方や、最新のIT技術を現場で実践的に活用したい方におすすめのポジションです。

SE(社内IT統制・DX推進)の業務領域

社内ITイノベーション

日立のデジタルシステム&サービスセクターのデジタルトランスフォーメーションを牽引し、経営・事業およびグループ全体に貢献

デジタルシステム&サービスセクターの社内ITとして、従業員向けITインフラや業務システムの企画・サポートを行い、IT戦略の実行やデジタルソリューション(BI、AI、RPAなど)の活用を支援しています。また、同セクターの国内外グループ会社を含めたITガバナンスを統括し、IT投資の最適化やセキュリティの強化を推進しています。



10 SE(社内セキュリティ企画・統制・技術支援) システムエンジニア

デジタルシステム&サービス(DSS)の社内セキュリティまとめとして、セキュリティ共通施策・目標の策定、セキュリティプロセスや標準の策定・展開、実施状況のモニタリングとフォローアップを行います。また、セキュリティ技術のセンターオブエクセレンス(CoE)として、最新のセキュリティ動向やノウハウを蓄積し、社内への情報展開、事業部門の技術支援、セキュリティ人材の育成等も実施しています。セキュリティに興味があり、セキュリティ施策の策定や新技術、攻撃手法の知識を得る意欲がある方におすすめです。

SE(社内セキュリティ企画・統制・技術支援)の業務領域

セキュリティリスクマネジメント

日立のデジタルシステム&サービスセクターにおいて、各事業領域のセキュリティを強化し事業拡大に貢献

組織・システム・運用の面でセキュリティ強化と課題解決に貢献することをめざしています。セキュリティ企画・統制・技術支援を行い、トータルでセキュリティリスクを軽減、セキュリティ強化を図ります。デジタルシステム&サービスセクターにおけるセキュリティ共通施策・目標の策定、セキュリティプロセスや標準の策定、展開、実施状況のモニタリングとフォローアップを行います。また、最新のセキュリティ動向やノウハウを蓄積し、社内への情報展開、事業部門の技術支援、セキュリティ人材の育成等も実施しています。



11 SE(プロジェクトITエンジニア) システムエンジニア

国内外のプロジェクトの技術リスクによる失敗防止のため、過去事例から蓄積した定石・ナレッジを活用した見積・設計アセスメント、各プロジェクトでの実践支援により、開発技術面からプロジェクトの安定的な推進に貢献します。生成AI技術などの先端技術活用やグローバル企業とのコラボレーションにより、プロジェクト状況をデータで可視化するプロジェクト情報基盤やナレッジ共有基盤を開発・運営し、日立の技術力を結集してプロジェクトの成功を支えます。

【こんな方におすすめ】
先端技術や新技術を積極的に習得したい。システム開発に興味がある。DSSのビジネス全体に貢献できる技術・施策に取り組みたい。



SE(プロジェクトITエンジニア)の業務領域

プロジェクトマネジメント統括・推進

ITデジタルソリューションの各プロジェクトをマネジメント制度・技術・人材・ナレッジの面で支えて、成功に導く

ITデジタルソリューションのプロジェクトでは、システムインテグレーションに必要な知識やノウハウが共通することが多く、成功のためにマネジメント技術の最新動向を反映したプロジェクトマネジメント制度を策定・改善しています。また、第三者チェックでガバナンス強化を図り、成功プロジェクトのナレッジを横展開する基盤やプロフェッショナル人材認定制度も整備。さらに、DXや協創型ビジネスのプロジェクト成功に向け、ナレッジの横展開や生成AI活用の新施策も検討しています。

12 SE(プロジェクトマネジメント統括)

システムエンジニア

デジタルシステム&サービス(DSS)のPMO(プロジェクトマネジメントオフィス)部門として、フロント事業部門が推進する国内外の大規模な社会インフラ開発プロジェクトに対して、アセスメントや監査、プロジェクトマネジメント支援を行います。コンサルティングファームとは異なり、DSSで蓄積されたナレッジや教訓を活用し、各種マネジメントルールの整備、運営を図ることで、プロジェクトの成功率を高めます。

【こんな方におすすめ】

ミッションクリティカルなシステム開発のプロジェクトマネジメントの知見を得て、プロジェクトを成功に導くスキルを身に付けたい。第一線のPMや経営者の声を聞き、プロジェクト推進に貢献することを実感できる仕事です。



SE(プロジェクトマネジメント統括)の業務領域

プロジェクトマネジメント統括・推進

ITデジタルソリューションの各プロジェクトを

マネジメント制度・技術・人財・ナレッジの面で支えて、成功に導く

ITデジタルソリューションのプロジェクトでは、システムインテグレーションに必要な知識やノウハウが共通することが多く、成功のためにマネジメント技術の最新動向を反映したプロジェクトマネジメント制度を策定・改善しています。

また、第三者チェックでガバナンス強化を図り、成功プロジェクトのナレッジを横展開する基盤やプロフェッショナル人財認定制度も整備。さらに、DXや協創型ビジネスのプロジェクト成功に向け、ナレッジの横展開や生成AI活用の新施策も検討しています。

13 設計開発(ソフトウェアエンジニア)

設計開発

日立のIT事業の基盤となるOSやミドルウェア、生成AI関連ソフトウェアの企画・開発を担当し、グローバル競争力のあるサービスを提供します。具体的には、データベース、アプリケーションサーバ、ストレージ管理ソフトウェア、生成AIプラットフォーム等の設計開発、OSS(オープンソースソフトウェア)のサポート、クラウド環境構築等を行い、IoTプラットフォーム「Lumada(ルマダ)」を通じてお客様との協創を実現します。IT分野でのモノづくりや高度な技術力を磨きたい方に適した仕事です。



設計開発(ソフトウェアエンジニア)の事業領域

フロント事業支援

プラットフォームからクラウド・デジタル領域まで提案、マーケティングで案件を創出し事業拡大に貢献

マネージド&プラットフォームサービス事業部は、高い技術力とパートナー商材を活用し、最適なプラットフォームソリューションを提供して顧客課題を解決しています。

また、顧客提案や新規領域開拓、マーケットリサーチを通じて日立のフロント事業を支援。クラウド、デジタル、ミドルウェア、サーバ、ストレージに精通した知識で市場ニーズに応え、IT事業拡大に貢献しています。

14 品質保証(SI・デジタル分野)

品質保証

金融、公共、社会インフラ、産業・流通、防衛などのフロント事業で、情報システムやサービスの品質保証業務を担当し、開発プロジェクトでは品質マネジメントの専門家としてSEを稼働までサポートします。IT分野の品質管理や生産工学に興味があり、信頼性の高いシステムを通じて社会の安心・安全に貢献したい方に適しています。品質のプロフェッショナルとして、社会にとって重要なシステムの提供に関わりたい方におすすめです。



品質保証(SI・デジタル分野)の業務領域

品質保証

「品質の日立」を支える品質ソリューション

日立の品質保証部門のミッションは、「Quality First:品質第一」をモットーに、お客様満足度の向上を推進し、社会インフラを支える製品の品質を守ることです。

金融、公共、産業などの分野やITプロダクツに対応し、開発から運用保守まで品質改善を推進。

さらに、デジタルソリューションやAIなど最新技術を積極的に取り入れ、事業部門と連携しながら品質関連ソリューションを提供しています。

15 品質保証(ソフト・ハードウェア分野)

品質保証

クラウドサービスなどに導入されるソフトウェア製品の品質保証業務を担当し、品質マネジメントの専門家として、要件定義から設計・実装・テスト・検査、お客様サポートまで開発部門と伴走します。ソフトウェア品質保証やソフトウェア工学に興味があり、信頼性の高いソフトウェアを通じて社会の安心・安全に貢献したい方に適しています。品質のプロフェッショナルとして事業に関わり方におすすめです。



品質保証(ソフト・ハードウェア分野)の業務領域

品質保証

「品質の日立」を支える品質ソリューション

日立の品質保証部門のミッションは、「Quality First:品質第一」をモットーに、お客様満足度の向上を推進し、社会インフラを支える製品の品質を守ることです。

金融、公共、産業などの分野やITプロダクツに対応し、開発から運用保守まで品質改善を推進。

さらに、デジタルソリューションやAIなど最新技術を積極的に取り入れ、事業部門と連携しながら品質関連ソリューションを提供しています。

ITデジタルソリューションでめざせるキャリア

1 ビジネスアナリスト

顧客へのヒアリングを通して業務分析を行い、事業戦略の実現に向けて開発部門と連携しながら、業務フローの構築と要件定義を行った上でシステム設計を推進します。

3 プロジェクトマネージャー

プロジェクト全体の進行を管理します。提案から顧客や関係部署との調整、実行および監視コントロールを行い、予算や品質、納期といった面で完成までの責任を負います。

5 アプリケーションスペシャリスト

業種固有業務や汎用業務において、専門技術を活用して業務上の課題解決に係わるアプリケーションの設計、開発、構築、導入、テストおよび保守を実施します。

7 情報セキュリティスペシャリスト

システムの企画から運用まで、情報セキュリティ対策を実施し、機能維持と改善を行います。また、情報マネジメントが適切に実現できるよう、組織体制やルール整備を支援します。さらに、セキュリティソリューションの顧客提案・設計・構築およびセキュリティ運用としてインシデント対応・分析・顧客報告なども担当します。

9 サービスプロフェッショナル

システムの完成後も安定運用や最適化、また新規提案などサービスとして継続的に改善していくことにより、顧客に価値を提供し続ける役割を担います。

11 ビジネスエンジニアリング

組織の内部と外部の両方のコミュニケーションを担当します。経営者を補佐し、ビジネスの運営や情報システムの変革をリードする役割を果たします。

13 ソフトウェアエンジニア

ソフトウェアシステムの設計、開発、実装および更新を担当します。具体的には、ユーザーのニーズを調査し、コンピュータプログラムの作成、テスト、および維持とシステムのドキュメンテーションを準備などを実施します。

15 プロダクトマネージャー

製品の企画から運用まで一貫して管理し、製品そのものの方向性や戦略を決定・実行することで、価値を最大化します。業務は市場調査や顧客ニーズの分析、製品開発等、多岐にわたります。

各マッチング分野でめざせるキャリア

★・・・最も割合の多いキャリア ●・・・その他、可能性のあるキャリア

マッチング分野	めざせるキャリア														
	ビジネスアナリスト	ITコンサルタント	プロジェクトマネージャー	ITアーキテクト	アプリケーションスペシャリスト	データサイエンティスト	情報セキュリティスペシャリスト	品質管理エキスパート	サービスプロフェッショナル	ITスペシャリスト	ビジネスエンジニアリング	社内IT・サービス開発	ソフトウェアエンジニア	プロジェクトガバナンススペシャリスト	プロダクトマネージャー
SE(フロントエンジニア:金融)	●	●	★	●	●	●	●			●	●				
SE(フロントエンジニア:公共)	●	●	★	●	●	●	●			●	●				
SE(フロントエンジニア:社会)	●	●	★	●	●	●	●			●	●				
SE(フロントエンジニア:防衛社会インフラ安全保障)	●		★	●	●		●			●			●		
SE(フロントエンジニア:コンサルタント:産業)	●	●	★	●	●	●	●			●					
SE(フロントエンジニア:業界横断ITインフラ)	●	●	★	●	●	●	●								
SE(アプリケーションエンジニア)		●	●	●	★					●					
SE(プラットフォームエンジニア)		●	★	●	●	●	●			●					●
SE(社内IT統制・DX推進)	●	●	★			●				●		●			
SE(社内セキュリティ企画・統制・技術支援)		●	●	●			★			●					
SE(プロジェクトITエンジニア)				●	●	●				★	●	●			
SE(プロジェクトマネジメント統括)											●	●		★	
設計開発(ソフトウェアエンジニア)			●	●	●	●	●	●	●	●				★	●
品質保証(SI・デジタル分野)							●	●	★			●			
品質保証(ソフト・ハードウェア分野)							●	●	★						

※各BU/事業部に入社した場合、中長期でめざせるキャリアを選択しています。

防衛・社会インフラ 安全保障ソリューション

お問い合わせ先

人財統括本部
人事勤務本部
タレントアキュジション部
080-9862-7075
saiyou.job.bt@hitachi.com



所在地



横浜地区
〒244-0817
神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地

土浦地区
〒300-0013
茨城県土浦市神立町603番地

特徴的な技術

防衛・航空宇宙・セキュリティ分野を支える技術を核に、安全・安心な社会の実現に貢献します。

ディフェンスシステム事業部は、防衛事業を通じて培った技術や経験を活かし、社会インフラ全体に安全保障を広げる取り組みを進めています。サイバー攻撃やテロ、大規模自然災害などの地球規模の課題に挑戦し、日立グループ各社と連携して海底から航空宇宙、サイバー空間にわたる安全・安心を支える製品やソリューションを提供しています。

1 NCW(Network Centric Warfare)関連ソリューション

1 データリンク(防衛向け無線通信・情報共有システム)

音声・データ・映像等、作戦を遂行する上で必要な情報を、地上と航空機の間で共有し、作戦能力向上に寄与します。



2 ドローン検知システム

国内外で多発するドローン関連事案を踏まえ、重要施設警備向けソリューションとして電波探知等の各種センサーによるドローン検知システムを提供しています。



3 マルチネットワーク接続装置

有線・無線を問わず異種通信ネットワークをシームレスに接続し、音声・映像・データなどの情報共有を実現します。電話や業務用無線、トランシーバなど多様な端末間での通信が可能で、表示端末やカメラも連携可能です。また、無線伝送装置により災害時の公衆網寸断時にも、自営網で組織間の情報共有手段を確保します。

2 艦船搭載ソリューション

1 潜水艦・護衛艦用情報処理システム/シミュレータ

ソーナーをはじめとする艦船に搭載された各種センサ情報を統合処理し、水上・水中目標の位置推定や運動解析、武器システムの管理、制御などを行う艦船の頭脳と言えるシステムやその訓練装置を提供しています。

2 無人潜水艇(UUV)自律航行支援システム(AI(人工知能))

無人潜水艇(UUV)の分野では、AI(人工知能)を用いた自律航行システムや、シミュレーション空間での海洋環境・音場模擬によりUUV・音響センサの性能検証を可能とするシステムを提供しています。

3 ソナーシステム

機雷捜索用のセンサであるソーナーと、機雷を捜索・処分するための作戦の計画/評価・状況監視・各種装置の管制を行う情報処理装置で構成する統合型ソーナーシステムを提供しています。センサは艦船からケーブルで牽引する可変深度式や船底固定式のものが、海中の物体などを捜索可能であるため、東日本大震災等の災害時の海中救難捜索にも貢献しているシステムです。

画像上/護衛艦もがみ型(出典:海上自衛隊ホームページより)多目的護衛艦のもがみ型に対し、従来の護衛艦と一線を画す対機雷戦ソーナーシステムを製造しています。
画像下/掃海艦あわじ型(出典:海上自衛隊ホームページより)掃海艦の主装備品である機雷捜索用のソーナーとして、可変深度ソーナーシステムを製造しています。



3 メカトロニクスソリューション

メカトロニクスソリューション

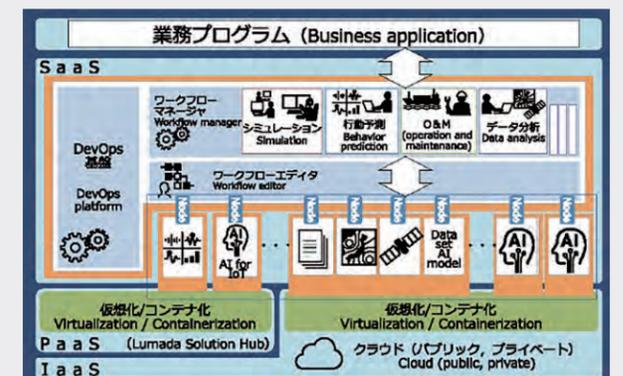
車両や橋梁のメカトロニクス技術、特殊材料の加工技術、エレクトロニクス技術を融合し、防衛任務や災害復旧を支援する信頼性の高い製品を提供しています。また、ビークルの電動化、遠隔制御、IoTを活用した機能・整備性の向上によるデジタルソリューションも推進しています。



4 その他のソリューション

統合型AI基盤

各事業分野においてAI(人工知能)を活用したソリューションを開発・運用する際の共通基盤を提供し、AI(人工知能)の導入・育成を支援します。



日立グループが長年培ってきた総合力と最先端テクノロジーで、
安全保障を取り巻く急速な変化に対応し、
安全・安心な社会の実現に貢献しています。

ディフェンスシステム事業部では、防衛・航空宇宙・セキュリティ分野を支える技術を核に、日立グループのデジタルソリューション技術を掛け合わせ、さまざまな事態から私たちの生活を守り、安心・安全な社会の実現に貢献しています。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他					
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他		
事業分野	デジタルシステム&サービス							エネルギー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート

JOB CATEGORIES 職種紹介

設計開発

お客様のニーズや環境を考慮し、最先端技術で高品質なシステムや製品を開発します。試験や定期検査を通じて信頼性を高めるとともに、納入後のサポート、市場・技術動向調査に基づき新規事業戦略及び計画の策定も行います。

品質保証

防衛事業に関わる製品・システムには高い信頼性、品質が求められます。開発初期段階から製品の納入、納入後の問題解決まで、お客様の視点に立って品質向上活動・評価・保証を行います。「ITデジタルソリューション」で紹介されている事業領域における品質保証の職種に興味がある方も、こちらのページからご応募願います。

社会インフラ コントロールシステム

お問い合わせ先

人財統括本部
人事勤務本部
タレントアキュージョン部
recruit.jousei.ko@hitachi.com



所在地



大みか事業所
〒319-1293
茨城県日立市大みか町五丁目2番1号

東京地区
〒135-0062
東京都江東区東雲一丁目7番12号

〒140-8574
東京都品川区南大井六丁目26番1号



社会インフラを支える「コントロールシステム（情報制御システム）」を グローバルに提供し、より快適で便利な生活の実現と社会課題の 解決に貢献します。

社会の情勢が目まぐるしく変化する今、社会インフラシステムは、安定稼働や効率化、利便性向上だけでなく、世の中の変化を速やかに捕捉・分析し、柔軟に対応できることが求められます。私たち社会インフラコントロールシステムでは、日々の生活に欠かせない電力・エネルギー、交通、水環境、産業といった24時間365時間止めてはならない社会インフラを支えるミッション

クリティカルな「情報制御システム」をグローバルに提供しています。情報技術(IT)と制御・運用技術(OT)をソフトウェアやデジタルでつなぎ、情報制御システムのDXを推進することにより、社会課題・経営課題に素早く適応できる社会インフラを実現します。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エナジー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES 職種紹介

設計開発

国内外のマーケット動向や社会的ニーズ、お客様のリクエストに応え、日立の技術力を製品に反映し、世の中に新しい価値を提供します。

生産技術・ITシステム

設計から生産に至るプロセスのDX化をはじめ、生産量の拡大・生産効率の向上を技術面とITシステムの面から実現します。

システムエンジニア

お客様のニーズを調査・分析し、最適なソフトウェアやハードウェアの検討、システム設計を通じてお客様と一緒に課題解決まで導きます。

品質保証

製品・システムが所定の機能・性能・耐久性などをクリアしているかどうかを上流工程から確認して問題の発生を未然に防ぎ、日立品質の確保に貢献します。

MATCHING FIELD マッチング分野

01 電力系統制御・GXシステム分野

環境問題をはじめ、制度改革や市場原理の導入、自然災害リスクの顕在化など、目まぐるしく変化をしている電力・エネルギー業界。この不確実な環境下で、我々は世界トップクラスのIT(情報技術)とOT(制御技術)の融合によって、地球環境に優しく持続可能なエネルギーインフラを様々なステークホルダーとの協創を通じて構築し、安全・安心・快適なカーボンニュートラル社会の実現に向けて貢献しています。

我々は、グリーン・エネルギー分野において社会インフラのGX/DXをリードするトップメーカーをめざします。

電力系統制御・GXシステム分野の事業領域

電力流通ソリューション

電気は原子力・火力などの大規模で集中された発電所や風力・太陽光のような再生可能エネルギーの発電所で産み出され、ビルや工場、一般家庭などの消費者に届けられます。この電気を送り届けることを電力流通といいます。発電から送電、電圧を変換する変電所を介し、市街地に電気を送る配電に至るまでの電気を24時間365日、安全かつ安定に、そして効率よく届

けるための電力流通ソリューションを提供します。我々は、自身の強みである高度なOTと先進のIT、高信頼のプロダクトを掛け合わせることで、電力の広域運用や高度な系統安定化技術を実装する監視制御システムや最新の電力ソリューションを国内外へ展開し、次世代のエネルギー社会へ大きく貢献しています。



電力系統制御・GXシステム分野の特徴的な技術

1 次期中央給電指令所システム

高品質な電力供給を維持するためには、電気の生産と消費のバランス(需給バランス)を保たなければなりません。そのために何百台もの発電機をコントロールして電気を制御し、需給バランスを維持する中央給電指令所システム(中給システム)が必要不可欠です。これまで中給システムは一般送配電事業者のエリアごとに開発されてきました。今後は、全国大でのメリットオーダーの推進、レジリエンス向上と社会コスト低減の両立、制度変更に対応した拡張性・柔軟性・透明性がある各事業者(沖繩を除く)で共通利用可能なプラットフォームが求められることとなります。そこで中給システムを共有化することが決定し、これを日立が開発していきます。

2 電力給電指令・系統制御システム/系統安定化ソリューション

電力系統は階層ごとに分かれており、電力流通設備に関する様々な情報を収集して、遠方より集中監視制御を行うシステムを開発しています。数十箇所以上の発電所、変電所における電力流通設備について、電圧や潮流が適正な値を維持するための計画立案から遠方制御の実施、万が一の事故発生時の対応までを一貫して行います。また、電力自由化や再生可能エネルギーの大量導入に対応するために、周波数維持や電圧最適化など、電力品質維持に貢献する系統安定化技術の高度化に取り組んでおり、国内外の各種実証実験にも参画しています。

3 電力系統混雑管理ソリューション

電気を発電所から消費者まで送る送電設備の容量は限界があり、再生可能エネルギーの大量導入により一層不足を生じることになります。送電設備を増強することはコストや時間がかかるため、既存の送電設備の空き容量を有効に活用する仕組み(コネクト&マネージ)が欧州を中心に導入されています。日立は日本版コネクト&マネージとして、系統の混雑状況を管理し、系統が空いている時間帯に接続するノンファーム型接続のシステムを開発しています。

4 配電自動化システム/高度化ソリューション

配電系統の停電復旧や電圧安定化制御などを行う配電自動化システムに加え、配電業務全体を捉えたソリューションビジネスの確立に取り組んでいます。電力自由化に伴い、設備投資の抑制や作業の効率化が求められている一方、出力変動する再生可能エネルギーの大量導入等により、電力供給業務の運用は一層複雑になりつつあります。これに対応するために、電力流通の効率化に寄与する配電系統の電圧解析システムや系統(設備)計画支援システム等、最新のIoT/AI/ビッグデータの技術を活用した次世代のソリューションも開発しています。

OTHERS

電力システムの海外展開

新興国の経済発展に伴う電力インフラの開発ニーズが増大しています。一方で近年の地球温暖化の抑制機運の高まりを受け、世界中で環境負荷低減・クリーンエネルギーへの取り組みが加速しています。こうした世界状況の中、日立の電力制御システム部門は、効率的な電力エネルギー運用を実現するために再生可能エネルギー大量導入にも耐えうる電力系統の安定化プロジェクト、スマートコミュニティプロジェクトに参画し実績を上げています。また、日立グループに加わった日立エナジー社とも連携して系統・送配電・発電の一貫した電力制御システムのビジネスを社会に提供し、電力エネルギーに関する社会課題の解決に向けたグローバル展開を加速していきます。



02 発電・送変電・カーボンニュートラルシステム分野

時代によって様々に変化する電力需要に対し、我々が持っている発電・変電・蓄電制御技術は電力安定供給の核となります。発電所や変電所等に設置されるプロダクトやそれらの運用者に対する豊富な経験・知識を持って、システム高度化やカーボンニュートラルといった社会課題解決のために最適な監視制御・保護システムを提案・提供できる分野となっています。また、取り込んだデジタルデータを元にデータアナリティクスを用いたDX事業や設備の安定・安全運用を実現するためのサイバー・フィジカルセキュリティ製品等の開発もおこなっています。



発電・送変電・カーボンニュートラルシステム分野の事業領域

発電・送変電制御ソリューション

CCS(二酸化炭素回収・貯蔵)技術や水素・アンモニア混焼/専焼技術の導入により環境負荷を低減した火力発電や、運転中にCO2を排出しない原子力発電の推進を通して、地球温暖化につながるCO2を削減しカーボンニュートラルな社会の実現に貢献します。また、夜間等の余剰電力を有効活用した揚水発電などとの組み合わせにより、電力の効率的な運用を可能にし

ています。電力の広域運用や高度な系統安定化を実現する監視制御・保護制御システム、パワーエレクトロニクスを応用した直流送電設備、系統用蓄電池システムなど、最新のソリューションを国内外へ展開し、次世代のエネルギー社会へ大きく貢献しています。

発電・送変電・カーボンニュートラルシステム分野の特徴的な技術

1 電力系統安定化ソリューション

電気は蓄えることができない性質のもので、高品質な電力供給を維持するためには、常に電気の生産と消費のバランス(需給バランス)を保たなければなりません。また、電力自由化や自然エネルギーの大量導入に対応するために、周波数維持や電圧最適化など、電力品質維持に貢献する系統安定化技術の高度化にも積極的に取り組んでおり、国内外の各種実証実験にも参加しています。

3 電気鉄道向け変電所保護制御システム

重要な公共交通インフラの一つである電気鉄道への電力供給を担う変電所に保護制御システムや変電機器を提供しています。本システムは、変電所のリアルタイム情報を基にしたシーケンス制御技術により安定した電力供給を行い、上位の電力指令システムと連携し鉄道車両の安定運行を支えるとともに、変電所機器の監視制御や異常時の機器保護により異常波及防止に貢献します。また、デジタル技術および直流遮断器関連の設計開発にも取り組んでいます。

5 火力/水力/原子力発電制御システム

大規模火力/水力発電所における超々臨界圧ボイラ・蒸気タービン・ガスタービン・発電機・揚水発電等の主要設備や原子力発電所における原子炉・タービン・発電機等に対して、リアルタイム自律分散型制御システムによる協調制御/高速制御/調整制御や保護システム等を提供し社会インフラを支えています。また、人間工学に基づくヒューマンマシンシステムに加え、知識工学応用運転支援やデータアナリティクスを活用した設備異常の予兆検出技術などで高度運転監視を実現します。さらに、DXソリューションの事業化や、発電所の安定・安全運用を実現するためのサイバー・フィジカルセキュリティ製品の開発にも取り組んでいます。

OTHERS

電力系統・送配電・発電の一貫した電力制御システムの海外連携

近年の地球温暖化の抑制機運の高まりを受け、世界中で環境負荷低減・クリーンエネルギーへの取り組みが加速しています。こうした世界状況の中、日立グループに加わった日立エナジー社とも連携して系統・送配電・発電の一貫した電力制御システムを社会に提供し、電力エネルギーに関する社会課題の解決に向けたグローバル展開を加速していきます。発電制御システムにおいても、世界各地の発電所の設備更新プロジェクトや性能強化に向けた取り組みに参画するとともに、粒子線治療装置のグローバル展開など原子力技術に基づく制御ソリューションも海外へ展開しています。

03 鉄道システム分野

日立は国内No.1の鉄道ソリューションベンダとして幅広いトータルソリューションを提供しています。私たち鉄道システム分野では、新幹線や在来線の列車運行管理システム、車上情報表示システムや電力管理システムなどを開発・提供し、国内外の安全かつ効率的な鉄道運行を支えています。また、IoTやAI技術を活用した運行状況のリアルタイム監視や保守効率化にも取り組み、輸送の安定性と快適性を向上させる次世代鉄道システムの構築に貢献。確かな技術とソリューションで交通インフラの未来を支えていきます。

鉄道システム分野の事業領域

1 列車運行管理システム

「時刻表通りに電車が来る」という「当たり前」を支え、実現しているのが列車運行管理システムです。日本の全ての新幹線のみならず台湾高速鉄道のほか、首都圏・中京地区・京阪神地区をはじめとする日本の大多数の在来線をカバーする列車運行管理システムの開発・改良を通して、世界に誇る鉄道システムを支え続けています。安全かつ快適で利便性の高い列車運行を実現するために、鉄道信号設備や列車間隔の自動制御を実行し、かつ旅客向けに駅に設置している案内表示器や音声案内装置に対しリアルタイムに列車情報を配信するなど、24時間365日稼働する高度で信頼性の高いシステムを提供しています。

2 車上情報表示システム

「列車内を情報ステーションに!」さまざまな利用者が列車を安心して利用できるように映像による車内の情報サービスを提供しています。高齢者や色弱者にも配慮したユニバーサルデザインで利用者にわかりやすい案内表示を実現しています。さらに、複数の画面を連動させたり独立させたりと、多様な映像広告に対応したデジタルサイネージを提供しています。首都圏では手線ほかで日々活躍しており、関西圏や九州圏にも順次拡大中です。

3 鉄道電力管理システム

鉄道電力管理システムは、列車の安定運行に必要な電力を安定供給するために不可欠です。電車だけでなく、信号や駅設備にも確実に電力を供給するため、鉄道会社の電力設備を24時間365日監視・制御し、列車の運行状況や保守点検の計画に応じた休送電制御、停電などの異常からの復旧支援・自動復旧、消費電力量の計測・予測を行います。また、鉄道と電力の運用に精通した技術者のノウハウを結集し、カーボンニュートラルの実現に向けた次世代システムの研究・開発にも取り組んでいます。電力使用状況を分析し、ダイヤ、列車、蓄電池充放電などを統合制御し、エネルギーを最適化することで、持続可能な鉄道システムの実現をめざしています。

鉄道システム分野の特徴的な技術

列車運行管理システムの海外展開

日本の鉄道における最大の特徴である「定時運行」は、列車運行管理システムを抜きには語れません。多くの鉄道技術を有する日立は、オーストラリア、台湾など海外でのビジネス展開を始めています。高速鉄道の市場では、日立の車両、信号システム、列車運行管理システムで「新幹線」の輸出をめざしています。在来線の分野では、車両ビジネスで構築したビジネスチャネルを利用し、さらなるシェア拡大に向けて活動中です。また、日本政府は新興国の経済発展を支援すべくODAを通じて各国の鉄道システム整備を支援しています。日立は優れた鉄道技術によって協力していますが、その中でも私たちの提供する列車運行管理システムは高度な鉄道運営のために欠かせません。私たちは地域ごとのニーズに合った列車運行管理システムの展開を今後も継続していきます。



04 水環境システム分野

水環境システム分野では、上下水道事業を中心に水に関連する広い分野に取り組んでいます。現在、少子高齢化に伴う財源不足や技術継承、インフラ設備の老朽化が社会課題となっています。日立は、過去の納入実績から得られた経験と新しい技術を組み合わせ、これらの課題を解決するために新製品の開発や提案を行っています。また、地域ごとの特徴とニーズに合わせた水環境システムを提供することで、安全・安心で持続可能な水環境の実現に取り組んでいます。

水環境システム分野の事業領域

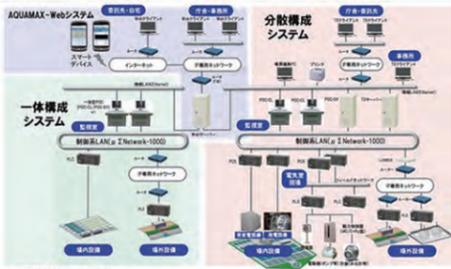
水環境システム・サービス

日立の水事業への取り組みは、100年以上の歴史を持ち、水源保全・上下水道・雨水排水・水再生など幅広い分野に貢献してきました。創業以来の「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という企業理念を掲げ、ライフラインを支えるために信頼性・安定性・安全性を重視した製品やシステムを開発・納入しています。今日までに全国2100以上の浄水場、下水

水環境システム分野の特徴的な技術

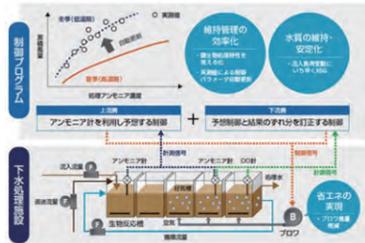
1 監視制御システム (AQUAMAX)

日立ではお客様のニーズに合わせたシステムを提案、設計、製作し、出荷後の現地試運転まで一貫して取り組んでいます。AQUAMAXは、その中核となる監視制御システムで、上下水道施設の監視と制御を行っています。スケラブルアーキテクチャ、シームレス化(場内/場外、情報系連携)、業務支援型HMIを基本コンセプトとしており、段階的増設、部分的更新が可能な、高い信頼性と柔軟性を持ったシステムです。セキュリティを強化しながら、インターネットやスマートデバイスを通じていつでもどこでも監視情報の共有ができます。AQUAMAXは、上下水道事業運営基盤の強化と安心・安全な水環境の創出に貢献します。



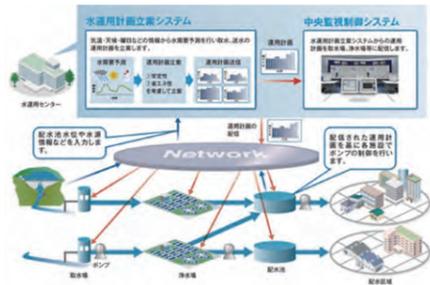
3 下水処理制御技術

ICTを活用して、下水処理施設における硝化プロセスを効率的に制御する技術です。硝化プロセスは下水中のアンモニア性窒素を亜硝酸性窒素や硝酸性窒素に変えるプロセスで、過去データの学習によりこれを最適化します。具体的には、アンモニア計を用いて下水中のアンモニア性窒素濃度をリアルタイムに計測し、硝化の進行度合いを制御することで、処理の安定化と水質の維持を図ります。さらに、過去データを基にした処理特性モデルを活用し、必要な風量を予測することで、過剰な送風を抑制し、省エネを実現します。この技術により、環境負荷を低減しながら運転コストを削減可能な下水処理が可能となります。



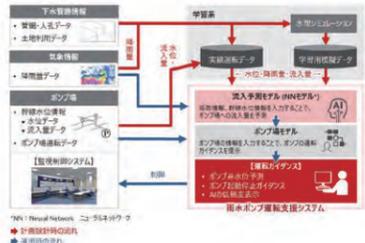
2 水運用計画技術

水道事業では、時間で変動する水需要に対応し、安定して過不足なく水道水を供給することが重要です。日立の水運用計画技術は、気温や天候などの予報データと、曜日からその日の水需要を予測し、予測した水需要を満足させつつ、配水池の運用条件や取水ポンプや送水ポンプなどの水道施設を安定して動かすことを条件とした運用計画を立案します。また、安定供給に加えて、消費電力効率の良いポンプを優先的に使うなどの省エネを踏まえた計画を立案することで水事業に貢献しています。



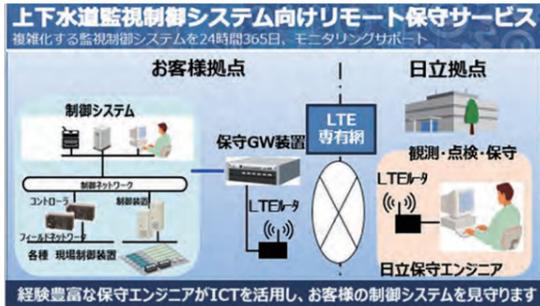
4 雨水ポンプ運転支援システム

気候変動による局所的豪雨や人手不足に対応するため、AIを活用して雨水ポンプの運転を支援します。過去の運転データと水理モデルによるシミュレーションを組み合わせ、降雨やポンプ場のリアルタイム情報から、AIにより流入量を予測。これに基づき、ポンプの起動・停止タイミングをガイド。雨水ポンプ場の迅速な運転判断を支援します。省エネや水質保全など選択した方針に沿った運転を支援し、オペレーターとAIが協働できる直感的な画面も搭載。社会課題解決に貢献する、次世代の社会インフラ技術です。



1 リモート保守サービス

「上下水道監視制御システム向けリモート保守サービス」は、24時間365日のモニタリングサポートを提供し、複雑化する監視制御システムを常時監視して障害情報を分析します。これにより迅速な障害対応が可能となり、システムの安定稼働を支援します。また、リモート環境での定期的な点検・診断を行い、障害発生時には迅速な復旧作業を支援します。さらに、過去の障害履歴や対応履歴をデータとして集約・管理することで、ノウハウの蓄積と技術継承にも貢献します。リモート保守により現地への保守員派遣の頻度を減らし、コスト削減も実現します。これにより、効率的かつ安全な水環境システムの運用が可能となります。



05 産業制御システム分野

産業の基幹材料としてなくてはならない鉄や銅、アルミなどの非鉄金属をつくりだす製鉄所を軸に、最新最適な制御にIT×OT技術を融合させた各種ソリューションを提供しています。プロセスデータと現場ナレッジの循環的な活用による、人とAIが共進化するモノづくりを実現し、工場全体のソリューションを検討しています。グローバルな鉄鋼メーカーに対し、システムを納入し続けて数々の実績を積み重ねており、システム計画や企画立案プレゼン・要件仕様決定打ち合わせ・システム開発・オンサイト実証テストの各フェーズで、日常的にグローバルな場面での活躍機会があります。

産業制御システム分野の事業領域

1 電機制御応用システム～鉄鋼システム～

高度な情報と制御の融合システム、地球環境に優しい省エネルギー化技術を活かした、最適鉄鋼プラント制御システム開発により、グローバルな産業発展に貢献しています。日立では、産業の基幹材料としてなくてはならない鉄や銅、アルミなどの非鉄金属をつくりだす製鉄所に、制御システムや電機品を提供しています。鉄は常に新しい素材特性、品質が求められる、鉄鉱原料が最終製品になるまでには数多くの製造プロセスが必要です。各製造プロセスに最適な情報、制御、ドライブ技術を開発＆融合させて、常に最先端の品質を求めるお客様のニーズに応えています。パワーエレクトロニクス技術を駆使した交流可変速モータドライブシステム、高速・大容量のシステム制御装置、ネットワーク装置と最新の制御技術を駆使して、1設備で300～400台あるモータを同期制御するシステムを構築することで、高品質な鉄鋼製品の生産に貢献しています。

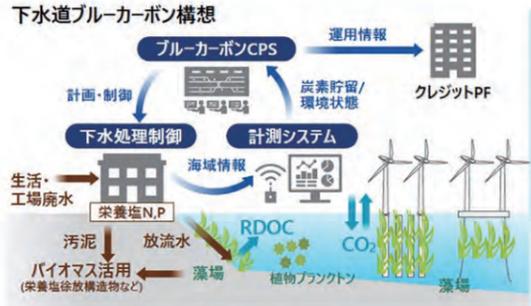
産業制御システム分野の特徴的な技術

1 鉄鋼圧延設備向け電機制御システム

鉄鋼プラントの中でも重要な鋼板製造の工程において、最新の制御技術を組み込んだ制御システムを提供しています。熱間圧延制御では、鋼板の品質を左右する、圧延や冷却などによる鋼板の特性変化を最適化するための冶金機械特性予測システム、冷間圧延制御においては、鋼板の板厚・形状を高精度で補正する各種の自動制御技術を持っています。また、鋼板に付加価値を持たせるプロセスライン制御においては、焼鈍炉内の高精度張力制御やめっき着量制御など、数々の制御技術を開発し、お客様に提供しています。さらに、膨大な圧延実績をビッグデータとして活用し、数々の操業高度化を実現する情報システムの提案も行っています。これら情報と制御の融合、かつ、高性能・高精度のモータドライブシステムを自主開発して、一つのシステムとして取り纏め、お客様のニーズにマッチしたソリューションを実現しています。

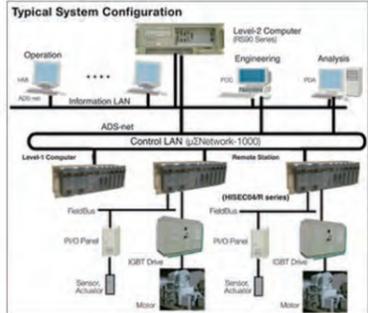
2 下水道ブルーカーボン構想

「下水道ブルーカーボン構想」は、下水道を活用して海洋生態系のCO₂吸収・貯留を促進する取り組みです。この構想では、下水処理場から海に必要な栄養塩類を適切に供給し、海藻や海藻などの藻場を育成します。これにより、海洋生態系がCO₂を吸収し、長期間にわたり貯留する「ブルーカーボン」を増やすことをめざしています。具体的には、下水処理制御技術を用いて栄養塩類の供給管理を行い、海洋生態系の維持・拡大を図ります。この取り組みは、持続可能な社会の実現と脱炭素化に貢献することを目的としており、さまざまな分野のステークホルダーと連携しながら推進しています。



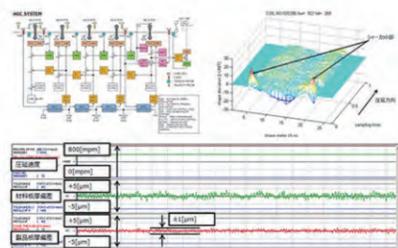
2 パワーエレクトロニクス応用システム～モータドライブシステム～

鉄鋼システムでは、パワーエレクトロニクスを応用したモータドライブシステム（インバータードライブシステム）が圧延機を駆動しています。モータドライブシステムの開発には、パワーエレクトロニクス技術はもちろんのこと、制御工学、電磁気学、伝熱工学、力学、機械工学などの技術に加え、エッジデバイスDXのためのデータ統計・分析技術、ネットワーク構築技術など、さまざまな技術力を駆使する必要があります。



2 高精度自動板厚制御システム、自動形状制御システム

圧延設備において、製造される鋼板に対する板厚、形状（平坦度）といった品質要求はますます高くなってきており、特に板厚精度は厚さ±1μmもの高精度を要求されます。品質制御として、従来型の制御に加え、非干渉制御、ニューラルネットワーク、ディープラーニングなどを適用した制御システムの設計と開発を行っています。持続可能な社会の実現のため、鋼板においても日々開発が進む中、その圧延の難易度が上がることで製品品質の低下を招くなど顧客課題が生じます。このような課題を乗り越えるための技術開発を日々進め、顧客にとって価値の高い制御システムの提供を行うことで、社会への貢献を実現しています。



3 鉄鋼システム用モータドライブシステム

日立は、1982年に世界初の全デジタル交流可変速モータドライブシステムをリリースし、鉄鋼プラントのデジタル化に早くから貢献してきました。10,000kWクラスの主機用モータから10kW未満の補機用モータまで駆動可能なラインナップをそろえており、ベクトル制御をコアとし、状態フィードバック制御（軸ねじり振動抑制制御）・フィードフォワード制御（描速性制御）・負荷トルク推定制御（インパクトドロップ補償制御）等、圧延機用モータドライブシステムに要求される性能を実現しています。さらに近年は、モータドライブシステムにフォーカスしたDXソリューションの実現に注力しています。

OTHERS

鉄鋼・産業システムの海外納入事例

世界トップクラスの高性能かつ省資源・省エネルギーの鉄鋼プラント制御システム・ドライブシステムを世界中に提供しています。グローバルな鉄鋼メーカーに対し、システムを納入し続けて数々の実績を積み重ねており、現在の海外プロジェクト売上高比率は約50%です。システム計画や企画立案プレゼン・要件仕様決定打ち合わせ・システム開発・オンサイト実証テスト

4 鉄鋼・産業向け最先端デジタルソリューション

鉄鋼・産業プラントでは、時代と社会が求める高付加価値製品の開発や生産プロセスの最適化に向け、今もお進化し続けています。日立は、ミリ秒オーダーでリアルタイムにセンシングされる膨大なデータを駆使し、操業トラブルが発生した場合に自動で分析し改善立案までを行う知的操業支援システムや、最適な品質状態を機械学習させ制御にフィードバックする最先端制御手法等の開発を進めています。また、日本から世界各国のお客様をネットワークでつなぎ、映像とデータの双方から、リモートによる新設プラントの立上げや日々の安定稼働・品質改善をサポートするサービスの提供など、お客様との新しい鉄鋼・産業向けデジタルソリューションの創生に力を注いでいます。

の各フェーズで、日常的にグローバルな場面での活躍機会があります。入社数年目には、お客様と決定した仕様を実現するためのシステム開発を行い、最終的にサイトでお客様と一緒に、開発したシステムのパフォーマンス実証テストを経て、プロジェクトをまとめ上げるキーパーソンとなることが期待されています。

06 デジタルソリューション・制御プラットフォーム分野

環境情報管理、制御システムのセキュリティ、情報制御ソリューションの3つの事業領域で活動しています。環境情報管理では、企業の環境経営を可視化し、分析や改善を支援する環境情報管理ソリューションを提供します。制御システムのセキュリティ支援では、DX活動を促進し、制御システムの安定稼働とセキュリティを両立させます。情報制御ソリューションでは、社会インフラの情報システムに使用されるコンポーネントの設計開発やエンジニアリング・保守サービスの提供を行い、制御システムの安定稼働や高品質なモノづくりに貢献しています。また、生成AI活用によるAXなど最新テクノロジーを取り入れ、事業化を進めています。当分野では、これら事業活動を通して社会課題の解決に貢献しています。



デジタルソリューション・制御プラットフォーム分野の事業領域

1 情報制御ソリューション

電力・鉄道などの社会インフラに核として使用されるコンポーネント（ハード・基本ソフト群）およびソリューションシステムを設計開発しています。社会インフラシステムには24時間365日稼働できる高信頼性・タフネス性が要求されますが、日立では、CAD/CAMを用いた設計・製造・品質保証だけでなく、3D設計情報を活用したデジタルデータによる生産改革システムを工場内に構築することで、高品質・高効率なモノづくりを実現、世界経済フォーラムから世界の先進工場「Lighthouse」に日本企業で初めて選出されています。先端技術を駆使し、コンポーネントから、フォールトトレラント（※）システム、および無線応用システムなどのエンジニアリングまで手がけています。

※フォールトトレラント：仮にシステムの一部が故障しても、全体の機能が停止しないような仕組み

3 お客様の環境経営を「見える化」し、分析・改善を支援する環境情報管理ソリューション

SDGsやESG投資への対応など、企業は環境に対する社会的責任が求められる、解決に向けて積極的に取り組むことが期待されています。日立では、製品・生産活動を環境視点で「見える化」することにより、お客様にて分析・対策・公開を容易に行える環境情報管理ソリューションを提供します。

デジタルソリューション・制御プラットフォーム分野の特徴的な技術

1 制御サーバ装置/OSの開発

電力・鉄道などの社会インフラを支えるプラットフォームとして、24時間365日の連続稼働、リアルタイム性が求められる制御サーバの開発を行っています。CPUボードやLANボード、筐体などのハードウェア開発に加え、オープンソースのLinuxをベースに、信頼性、可用性、保守性を高めた制御サーバ向けOSや、自律分散システムをサポートするネットワークミドルウェアを開発しています。

3 制御用ネットワーク装置の開発

国際標準であるイーサネット（※）をベースとし、独自の信頼化技術を搭載することで、オープン性、高信頼性を確保した制御ネットワーク「μNETWORK-1000」を開発しています。高い信頼性・リアルタイム性が求められる制御系通信と、汎用のTCP/IPによる情報系通信を共存させることができます。※イーサネットは富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。

5 インフラシステム向け制御用コントローラ/PLC装置の開発

各種発電所や上下水道など、社会インフラを守るミッションクリティカルなシステムに最適な制御を実現する高信頼コントローラを開発しています。フィードバック制御やシーケンス制御を用い、24時間365日止まらないシステムを支えています。さらに、現場機器とつながる多様な入力装置の開発も担当。社会の安全・安心を守る最前線を私たちの技術力が支えています。

2 組み込み用計算機/エッジ製品の開発

現場のインテリジェンス化やDXの実現に向けては、環境性、省メンテナンスに対応した電子・情報機器を長期にわたって安定稼働させる必要があります。組み込み用計算機では、ファンレス、スピンドルレスによって省メンテナンス化および耐震性や防塵性の強化で対応し、現場から収集したデータを活用したエッジコンピューティング、ネットワーク監視やフィジカルセキュリティ、車上の情報表示システムなど幅広く活用されています。

4 無線ネットワークの新規事業創出、高信頼無線商材開発

ミッションクリティカル用途への無線活用を実現する高信頼無線エンジニアリング（コンサルティング、SI、運用支援）事業を実施しています。ミッションクリティカル用途への無線適用は拡大傾向であり、顧客ニーズに合った新規ビジネス創出や高信頼無線商材（ハードウェア、ソフトウェア）を開発しています。

6 統合監視制御ソフトウェア開発

プラントの運転監視制御には、プラント全体の稼働状態の容易な把握、24時間365日休むことのない安定運転、拡張や増設、保守など生産状況に応じた対応が容易であることが求められています。これらを実現するためのプラント総合監視制御ソフトウェアの開発・設計をしています。

7 制御システム向け

次世代プラットフォーム開発

電力・鉄道など社会インフラを支えてきたソフトウェア資産のマイクロサービス化とAIに代表される最新技術の融合を可能とするコンテナ技術を採用したミドルウェアの開発。さらに、監視・保守業務の向上をめざし、最新のWEB技術の導入とOSSを活用した画面を実現するミドルウェアを開発しています。

9 環境情報管理ソリューションをサポートするEcoAssistの開発

多様化する環境活動の取り組みには、一元化された環境情報システムが不可欠です。EcoAssistは温室効果ガスの排出量、エコマーク製品仕様比率、総物質投入量など、さまざまな環境情報を海外含む多拠点から収集し、環境情報データベースで一元管理するクラウド型ソリューションです。柔軟性、汎用性、グローバル対応を備え環境情報の迅速な分析・改善、情報開示を支援するシステムの開発と拡販を進めています。

10 AI技術を活用する社会インフラ向けソリューション開発

道路や産業機器などの社会インフラを守る設備は、年々複雑になり、修理が難しくなっています。そこで日立は、AIを使って「どの部品を交換すればいいか」を自動で提案したり、故障の原因を探る技術を開発してきました。さらに、その機械学習や生成AIを活用する技術を進展させ、高速道路の設備保守効率化や管制システムでの車両異常事象検知など、新しい分野に挑戦中。社会を支える仕組みを、もっと安全で効率的にする——そんな未来と一緒に創りませんか？

07 モノづくり(生産技術・生産システム)・情報システム分野

社会インフラの安定稼働を支える制御盤や電子機器は、顧客や製品によって仕様が異なり、非常に高い品質が要求されるといった特徴があります。モノづくり部門では、これらの製品を高品質で効率よく生産しながらも環境負荷を低減することをめざし、生産管理、ハード設計、生産現場まで一体となった技術開発、業務をおこなっています。一方で、情報システム部門では、生成AIやDXなどの先進技術のプラットフォーム提供、サイバー攻撃に備えた情報セキュリティ対策など、モノづくりの進化には欠かせない業務を担っています。このように、モノづくり部門、情報システム部門が一体となって経営を支え、事業の成長に貢献しています。

モノづくり(生産技術・生産システム)・情報システム分野の事業領域

1 多様化する製品ニーズに応えるハード設計とモノづくり技術

重要な社会インフラを支える制御盤や電子機器は、さまざまな製品分野と多様化する製品ニーズによって、多品種少量生産となっています。これらの製品に対して分野を横断し信頼されるハード設計からモノづくり技術開発を行い、変化に強いモノづくりの実現をめざして日々改革を進めています。一方で、DX(デジタルイゼーション)技術・コア技術の開発にも注力

2 エコデザインの促進と製品含有化学物質規制への対応

カーボンニュートラル達成に向けた取り組みが本格化してきた昨今、製品の環境への影響を最小限に抑えるため、エコデザインが重要な要素となっています。エコデザインとは、製品の寿命全体を通じてリソースの効率的な使用と廃棄物の削減を推進することです。さらに、その効果を見える化する施策として、ライフサイクル全体で排出される二酸化炭素(CO2)排出量に着

3 安心・安全な情報システムの提供

事業の生産活動を支えるため、安心・安全なIT環境を提供し、情報システムの開発や設備導入、安定運用に取り組んでいます。業務システム開発では、生成AIやDX対応など技術革新に合わせ、変化に強いプラットフォームへの刷新をめざし、日々改革を進めています。一方で、サイバー攻撃は巧妙化・増大しており、セキュリティ強化は急務となっています。

モノづくり(生産技術・生産システム)・情報システム分野の特徴的な技術

1 先進技術の融合による高度DX生産システムの構築

生産ラインは制御盤を構成するプリント基板、筐体やユニットの板金加工および塗装、これらを実装する組立・配線のライン構成となっています。生産システム構築では単なる設備導入やライン構築にとどまらず、RFIDタグ・カメラ・電力ロガーなどのセンシング技術を活用し、作業実績や検査結果、設備状態といった生産データを常時収集・モニタリングする環境

2 デジタルエンジニアリングによる設計支援と設計データのダイレクト活用

高品質の製品を高いコストパフォーマンスで設計・生産するためには、それらを支えるデジタルエンジニアリングが欠かせません。例えば、熱やノイズ、構造・強度などあらゆるシミュレーション技術を活用し、設計段階で品質をチェックするフロントローディングを行うことで、手戻りの発生を最小化することができます。さらに、このような先端技術を活用した設

3 ECMを支える社内システム開発とDX・AI技術の融合

社内業務の効率化と品質向上をめざし、設計部や製造部、品質保証部が利用する業務システム(電気系2DCAD、CAM、自動化システム等)の開発・運用・保守を行っています。社内開発システムの強みを活かして、ユーザー要望への迅速な対応や、中・長期的な業務改革を見据

8 制御システム向けセキュリティソリューションの開発とコンサル・訓練サービス

システムや業務DX化が進む一方、サイバー攻撃の高度化も進んでいます。攻撃対象がプラントやインフラの制御に用いられる制御システムにも及んでおり、セキュリティ対策は、制御システムの運用の基本活動となりつつあります。制御システムの運用は、お客様ごとにノウハウがあり、特性を活かした適切なセキュリティ対策が求められています。柔軟に対応すべく、現状把握から対策立案までセキュリティ強化に向けたソリューションをワンストップで提供しています。また、制御セキュリティのコンサルティングやサイバー防衛訓練サービスなど、包括的なサービス展開をしています。

モノづくり(生産技術・生産システム)・情報システム分野の事業領域

モノづくり(生産技術・生産システム)・情報システム分野の事業領域

モノづくり(生産技術・生産システム)・情報システム分野



し、製品のQuality(品質)、Cost(コスト)、Delivery(納期)、の向上を追求しています。この中で培った知見・ノウハウを自社の革新のみならず、サービスとしてお客様に提供することにより、社会全体の課題解決をめざしています。

目した「カーボンフットプリント」を活用しています。また、製品に含まれる有害化学物質に関する環境法規制も強化されてきています。法を遵守するために、サプライチェーンを通じて製品を構成するすべての部品の化学成分を調査/把握するとともに、有害物質削減を推進しています。

のため、業務システムにはゼロトラストセキュリティ技術を活用した安全なインターネット接続や通信ログの24時間自動監視などの仕組みを構築して、高いレベルでセキュリティを確保しています。

モノづくり(生産技術・生産システム)・情報システム分野の特徴的な技術

1 先進技術の融合による高度DX生産システムの構築

も構築しています。これらのデータを活用することで品質や生産性を向上する改善に取り組んだり、設備のアラーム履歴を使った故障予知、AIを使った生産計画の立案に役立てています。

計によって得られた設計データはデジタルデータとして、生産ラインにダイレクトに活用される仕組みとなっています。このように、設計段階から生産まで先端技術によるDX化に取り組み、進化を続けています。

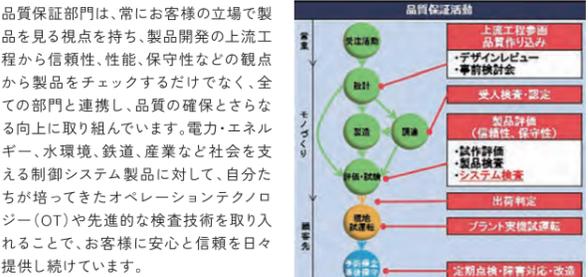
えたシステム改修を実施しております。また、社内システムに蓄積された過去データを活用して、部品使用予測シミュレーションや顧客毎の納入品情報可視化による分析などデータに基づいた意思決定支援にも取り組んでおり、業務の更なるDX・AI活用も推進中です。

08 制御システム品質保証分野

品質保証部門は、「日立ブランドの信頼」を守る品質の番人であり、製品の開発から検査、現地調整、運用後の保守まで、製品のライフサイクルすべてにかかり幅広く活動しています。社会インフラを支える制御システム製品は高品質、高信頼性が求められます。それらは365日・24時間の使用を想定したハードウェア・ソフトウェア、維持保守サービスで構成されます。個々の品質はもちろんですが「トータルの品質保証」を行うことで高品質な製品を社会へ送り出しています。その活躍の場は国内にとどまらず、海外へも広がっています。

制御システム品質保証分野の事業領域

1 各分野における制御システムの品質保証活動



3 ハードウェアの製品評価

購入部品の品質評価から、サーバやコントローラなどのハードウェアコンポーネントの品質評価、さらにそれらで構成される制御システム全体の品質評価までを担当しています。品質保証部門は製品製作の上流段階からプロジェクトに参画し、OTの知見を活かして品質を作り込む活動を行います。社内試験ではシミュレーション環境を構築し、お客様の仕様を満たしていること、そして高い信頼性が確保されていることを確認したうえで、厳格な出荷判定を実施します。

5 現地試運転

工場から出荷した製品をお客様へ納入した後、プラントの実機と組み合わせて試運転を行います。試運転では、お客様の運用に合わせた調整を実施し、最適な状態に仕上げます。さらに、このプロセスを通じて、私たちはお客様の期待を超える品質と信頼性を提供し、長期的なパートナーシップを築いています。私たちの活躍の場は国内にとどまらず、アジア、欧米など世界各国に広がっており、グローバルな視点で技術力を発揮できることが私たちの誇りです。

制御システム品質保証分野の特徴的な技術

1 社会インフラをトータルで支え、お客様の多様なニーズに応える「世界一のモノづくり」安定して連続稼働する社会インフラシステムは、高い信頼性を確保する技術で支えられています。

品質保証体制

各設計部で製作された製品について、品質保証部門は製品毎の品質だけではなくお客様視点でシステム全体の品質を総合的に見極めます。常にお客様の立場に立って、システムの運用に則した機能、信頼性、性能、保守性などの観点から製品をチェックし、品質の確保と向上に取り組んでいます。現地試運転を経験し、お客様と密な関係を構築することでシステムの運用を理解することが可能となり、お客様目線に立った品質確保を担保できる技術を持っています。

2 社内外が注目！生成AI活用で業界に新潮流を創出

当部門では、生成AIを業務プロセスに組み込む「インプロセス化」を積極的に推進し、圧倒的なスピードで生成AIシステムを開発。実業務への導入をいち早く実現しました。この取り組みは高く評価され、日立社内の栄誉ある 2025年度MVT賞(Most Valuable Team) を受賞。さらに社外からも注目を集め、ビジネス誌の取材を受けるなど情報発信を強化しています。生成AI活用の最前線を切り拓き、業界に新たな潮流を生み出す——それが私たちの挑戦です。

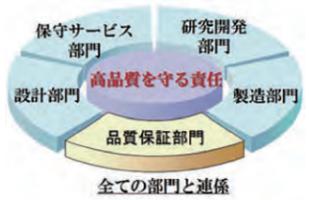
OTHERS

1 世界で活躍する品質保証部

企業の社会的責任を果たすとともに、若手エンジニアリーダーの育成を目的として、国・極地研究所が推進する南極地域観測に協力しています。私たちはメンバーを派遣し、越冬隊員として昭和基地の電気設備の維持・保守活動を通じて南極観測隊の活動に貢献しています。さらに、南極観測船「しらせ」にも当部門の製品が搭載されており、極地という過酷な環境での信頼性を支えています。

2 モノづくりに関わる各部門と連携した品質保証活動

社会インフラを支える制御システム製品は高品質、高信頼性が要求されています。それらは、365日・24時間の使用を想定したハードウェア・ソフトウェア、維持保守サービスを含めた全てのライフサイクルを考慮したシステム設計により実現されています。研究開発から設計、製造、保守サービスに至る全ての部門と連携し、制御システム製品の高品質を支えるため品質保証活動に取り組んでいます。



4 ソフトウェアの品質評価

列車運行管理システムや電力監視制御システムなどの社会インフラを支える大規模システムからシステムを支えるオペレーティングシステムまで幅広い分野のシステム品質保証活動をしています。開発の上流段階からプロジェクトに参画し、最終出荷試験まで一貫して品質を積上げる活動をしします。

6 新事業に向けた品質保証活動

IoT、DX時代の到来により、データ利活用による新しいサービスの創出に向けた製品提供が求められています。AIやデジタルソリューションなどを活用し、お客様との協創による新しい品質保証に挑戦しています。

品質の維持・向上とアフターサービス

品質の維持・向上の取り組みとして、国際規格である「ISO」の認証を受けており、品質マネジメントシステム「ISO9001:2015」の認証を全生産品目で取得しています。また、アフターサービスとして、お客様からのお問い合わせや迅速なサポートを目的に24時間稼働の日立制御システムサービスセンタ(HCSSC)を設置しています。

2 社外発表にも積極的に参加

日本科学技術連盟主催のソフトウェア品質シンポジウム(SQIPシンポジウム)などの社外発表を積極的にを行っています。2019年、2022年には品質保証部のメンバーが「『SQIP Best Paper/Report Effective Award』(実践的で、現場で品質向上にすぐに役立つもの)」を受賞しました。

日立製作所

コーポレートITデジタル部門

お問い合わせ先

人財統括本部
人事勤務本部
タレントアクイジション部
recruit.iba.gu@hitachi.com



所在地

東京地区 〒101-8608
東京都千代田区外神田一丁目18番13号
(秋葉原タイビル)

川崎地区 〒212-0058
神奈川県川崎市幸区鹿島田一丁目1番2号
(新川崎ツインタワー)



ITとデジタルの活用で日立の成長力と収益力を高め 社会イノベーションの実現に貢献する。

コーポレートITデジタル部門は、日立グループ全体の成長を支えるため全世界28万人以上のユーザーにITソリューションを提供しています。日立グループがグローバルレベルの社会イノベーションを実現するために、私たちは①日立が抱える経営・事業・業務の課題やニーズを発見し、テクノロジーとデータを駆使して課題解決や価値創造へ導くこと、②ITの高度化と

DXを推進し全体最適共通プラットフォームを提供することをミッションとしています。そのため各課題を個別に把握しながらITソリューションを提供するアカウント対応がメインの部門と、ITソリューション・サービスの開発と運用がメインの部門に分かれ、相互に連携しながらITとデジタルの活用推進に取り組んでいます。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エナジー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES 職種紹介

社内IT・セキュリティ（システムエンジニア）

コーポレートITデジタル部門※には、大別して以下5つの領域があります。選考参加前に希望領域をお聞きし入社後配属時の参考情報とさせていただきます。

- ・デジタルトランスフォーメーション推進
- ・経営アプリケーションの設計、開発、運用
- ・基盤プラットフォームサービスの企画、運用、提供
- ・グローバルITインフラの設計、構築、運用
- ・ITソリューション提案、導入支援

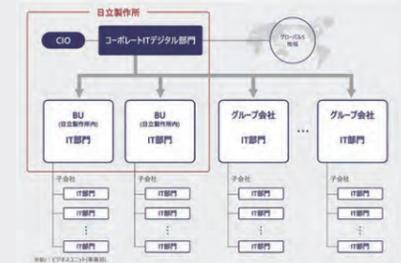
※配属部門正式名称「ITデジタル統括本部」

コーポレートITデジタル部門と日立グループ

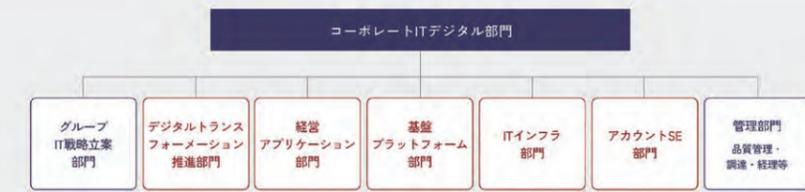
社内IT部門の組織構造

コーポレートITデジタル部門は、各ビジネスユニット・グループ会社のIT部門と連携しながら日立グループ全体のITを統制しており、ITデジタル技術による事業成長への貢献やITコスト削減、セキュリティリスク対策への対応を推進すべく、共通施策を展開しています。

また、ヨーロッパ・アメリカ・中国・インド・シンガポールにIT統括責任者を設置し、グローバルなIT共通施策の実現を進めています。



主要6分野 事業領域



1 デジタルトランスフォーメーション推進

日立グループのデジタルトランスフォーメーションを推進し、事業競争力強化への貢献をめざしています。
 <主な領域・サービス>
 ・データアナリティクス支援
 ・RPAサービスの提供
 ・IoT化支援
 ・Lumadaの社内環境整備
 ・AI Agentを活用した業務改革

2 経営アプリケーションの設計・開発・運用

経営戦略上の意思決定に必要な高度な経営基幹システム・アプリケーションの提供等を通じて、高付加価値・高効率なコーポレート業務に貢献すべく、各コーポレート部門の業務改革を支援しています。グループ共通の基幹システム・ERPを設計・提供することで、日立グループの経営情報の見える化を推進し、経営・事業運営の支援を行っています。
 <主な領域・サービス>
 ・経営基幹システム（財務、調達、営業、人財システム等）
 ・間接業務の人員不足及び高度化のニーズに応えるAIの導入

3 基盤プラットフォームサービスの企画、運用、提供

日立グループ共通プラットフォームに関するサービスの企画・運用・提供を通じて、日立グループの経営情報の見える化を推進し、経営・事業運営の支援を行っています。
 <主な領域・サービス>
 ・日立グループ共通プラットフォーム（ERP・財務会計システム）
 ・AI Agentによる運用保守の自動化・効率化の推進

4 グローバルITインフラの設計・構築・運用

日立グループのグローバルITインフラを、戦略から展開まで横断的にマネジメントしています。グローバルコミュニケーションを促進し、社員の多様な働き方を支えるITインフラを提供しています。
 <主な領域・サービス>
 ・ネットワーク ・セキュリティ ・コラボレーションツール（メール、チャット、Web会議システム等）
 ・クライアントデバイス（PC、スマートデバイス、仮想環境等）

5 ITソリューション提案・導入支援

ここでは、日立製作所の各ビジネスユニットやグループ各社の特徴やそれぞれの課題に合わせ、ビジネス貢献・UX起点のさまざまなソリューションを提案・導入支援していきます。コーポレートITデジタル部門の顔としてフロントに立ち、ユーザーと最も近い立場で業務を行うため、「アカウントSE」と呼ばれる部門です。

特徴的な取り組み

1 デジタル経営基盤

全社のビジネスデータを集約し、AIを活用することで、リアルタイムの経営判断を可能にするデータドリブン経営を実現します。BUやグループ会社の経営意思決定をサポートするための業績予測ソリューションやダッシュボードを提供します。

2 Lean IT / Smarter operation

IT資産のクラウド移行、共通化、断捨離を推進し、オペレーションの集約化を実施することで、カーボンニュートラル、適切なITコスト比率、迅速なサービス提供、さらなる堅ろう化を実現します。

3 Employee Empowerment

生成AIをはじめとした最新テクノロジーを最大限活用して、従業員の生産性とエンバウメントを最大化します。テクノロジーにより言語の壁を取り除くことで、グローバルでの働き方のトランスフォーメーションを推進します。

4 ガバナンス/リソース

迅速な意思決定を実現し、高度な専門性と効率性を達成するために、各事業や部門に分散しているIT関連の権限やリソースをCIOのもとに集約し、グローバルなIT機能の協力と連携をさらに強化します。

最新情報

生成AIの活用

日立は業務の品質と生産性の向上をめざし、最新ITテクノロジーである生成AIの活用を推進しています。

生成AIの活用は業務を劇的に変える可能性がある一方で、情報流出・漏えいなどのリスクが想定されます。そのため、日立では生成AIの仕様を理解し、社内規程の下に申請・承認の手続きを経たうえで利用するように周知徹底しています。さらに、生成AIの専門家とビジネス部門が集結し活用を推進するCoE活動に参画し、生成AI活用による社内業務の品質と生産性の向上に貢献していきます。

日立製作所

モノづくり戦略部門

お問い合わせ先

人財統括本部
人事動労本部
タレントアキュイジション部
recruit.corporate.qv@hitachi.com



所在地

秋葉原事業所 〒101-8608
東京都千代田区外神田一丁目18番13号
(秋葉原ダイビル)



日立グループ全体のグローバルなモノづくり力強化を推進

日立グループが社会イノベーション事業をワールドワイドに展開していく、また環境負荷低減等の新たな事業課題に対応する上で、グローバルなモノづくり力強化(設計・開発技術、製造技術力、サプライチェーンマネジメント等)がますます重要となっています。

モノづくり戦略本部は、コーポレート部門として日立グループ横断的なモノづくり戦略の策定・展開等を担うプロフェッショナルなグローバルエンジニア集団として、主に以下の活動を行っています。

- 1 モノづくり拠点共通の重要課題(デジタル活用、グリーン対応、現場力強化)に対応する戦略の策定と展開による、事業部門のモノづくり改革の牽引
- 2 日立が保有する溶接、鋳造、加工をはじめとするモノづくり基盤技術の高度化
- 3 将来のモノづくりを担う人材(エンジニア)の育成
- 4 日立グループ内のアセット(資産)の有効活用

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エナジー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES 職種紹介

製造・生産技術

・日立グループのモノづくり戦略策定 ・事業部門におけるモノづくり改革の支援 ・モノづくり人材育成施策の推進

事業領域

1 デジタルによるモノづくりの高度化(DX: Digital Transformation)

日立グループの強みは、ITとOT、多岐にわたるプロダクツを保有していることです。社内の研究所やIT部門と連携し、IoT、AI等の世界最先端のデジタル技術を駆使し、モノづくりDXに取り組んでいます。

1 設計・開発の高度化

販売から保守までの製品ライフサイクルのデジタル情報を活用し、高度なシミュレーションで設計段階から生産性・品質の向上と環境負荷低減を図ります。

2 サプライチェーンマネジメントの高度化

世界の需要変動やリスクに対応するため、部品・材料の調達から製造、検査、販売、保守サービスまで、E2E(End to End)でデジタルデータを用い高効率化を図ります。

3 製造の高度化

製造に関わる人(huMan)、設備(Machine)、材料(Material)、方法(Method)の4Mデータをデジタル化します。さらに、見える化や分析を行うことで、製造現場の改善活動を効率的に行い、飛躍的な生産性向上と製造品質の安定、向上を図ります。



2 モノづくりによる環境負荷軽減(GX: Green Transformation)



脱炭素社会の実現、高度循環社会の実現はワールドワイドでの社会課題となっています。日立グループでも重要課題と位置付けて取り組んでおり、モノづくり分野としては以下の取り組みを行っています。

1 カーボンニュートラルの実現に向けたCO2排出量削減

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、製品・サービスが発生するCO2や工場・オフィスで発生するCO2の削減が必要です。そのため、デジタル技術によるCO2排出量やエネルギー使用量の見える化を図るとともに代替エネルギーへの転換等のCO2低減施策を促進しています。

2 サーキュラーエコノミーの実現に向けた廃棄物ゼロ化

サーキュラーエコノミーの実現には、3R(Reduce, Reuse, Recycle)の取り組みが不可欠です。そのため、環境に優しい製品づくりのためのエコデザインの適用、廃プラスチックの再利用化などに取り組んでいます。

3 現場力の強化

モノづくりの高度化には、これまで日立が培ってきた、溶接、鋳造、加工をはじめとする、モノづくり基盤技術やノウハウの活用が不可欠です。熟練技術者が保有していた優れた技術やノウハウを次世代へ継承、発展させるには、デジタルの融合と将来を担う人材育成が重要となっています。

1 モノづくり基盤技術の強化

社内の研究所と連携し、AI(人工知能)等の先進技術を用いて基盤技術のデジタル化を進め、高度化を図っています。また、近年はグリーンにも注目し、環境負荷低減技術の開発も進めています。

2 モノづくり人材の育成

将来のモノづくりを担う人材の育成も大きな課題で、例えばIE(Industrial Engineering)スキルレベルに応じた認定制度の導入による、生産改革を牽引する上級技能者の育成や、日立グループ内の多様な生産技術を身に付けるための社内ローテーション制度による若手・中堅エンジニアの育成を推進しています。



教育計画

コーポレートの立場でモノづくり戦略立案・実行の役割を果たすためには、日立グループ事業部門の理解が不可欠であり、入社後2~3年程度は日立グループ内の事業所で実習をしていただく予定です。その上で、コーポレートとしての業務を開始し、OJTを通じて日立グループのモノづくりリーダーへと育成していきます。

日立インダストリアル プロダクツ

お問い合わせ先

人事企画部 人事教育グループ 採用担当
03-6271-7100 (代表)
ipu-saiyou.gyoumu.hv@hitachi.com



グループ会社に直接応募する場合(自由応募)

募集要項や選考に関する情報は、「マイナビ2027」および当社HPの「採用情報」ページにてご案内。

★採用関連イベント等のご案内を希望される方はマイページ登録をお願いいたします。
マイページ登録方法: 当社HP「採用情報」→「新卒採用」→「ENTRY」ボタンをクリック

【募集職種】営業技術、設計開発、生産技術、品質保証、施工管理

◆エントリーシートおよび適性検査による書類選考後、合格者は面接(2回予定)を実施。

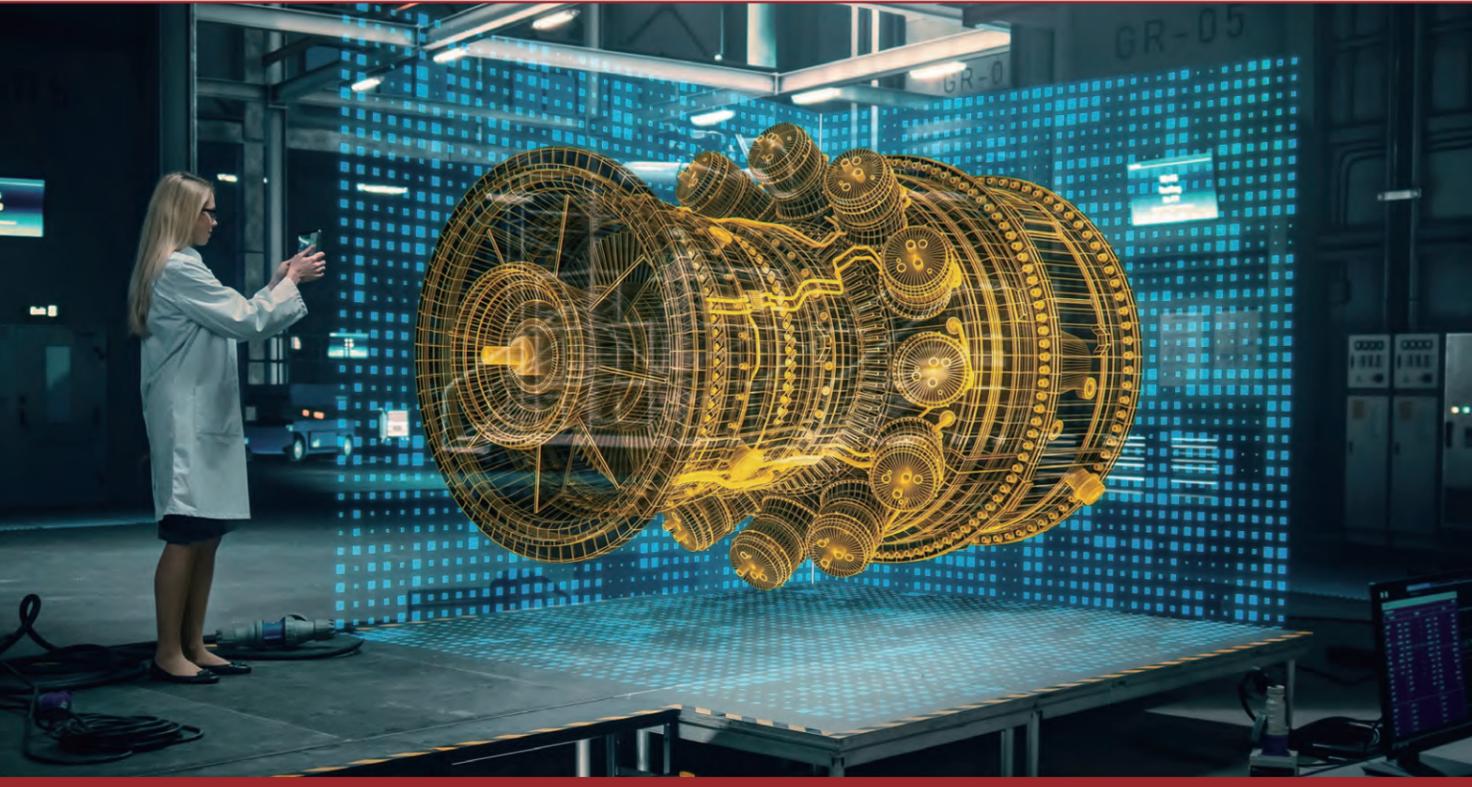
所在地

本社
〒101-0021 東京都千代田区外神田一丁目5番1号
(住友不動産秋葉原ファーストビル)

大みか事業所
〒319-1293 茨城県日立市大みか町五丁目2番1号

日立事業所
〒317-0056 茨城県日立市白銀町一丁目1番1号

土浦事業所
〒300-0013 茨城県土浦市神立町603番地



MATCHING FIELD マッチング分野

01 ドライブシステム分野

ドライブシステム分野の主力製品は、日立の創業製品である電動機(モーター)や発電機です。工場やプラントのポンプ、ファン、圧縮機、さらには新幹線をはじめとする鉄道など、あらゆる産業を動かす力として、世界中で活躍しています。日立地区では産業用や鉄道用をはじめとしたさまざまなモーターや、風力発電機などの各種発電機的设计・開発・生産を、また東京地区ではこれらモーター、発電機の事業計画および営業支援のための技術検討を行い、時代とともに変化する顧客のニーズに応えながら、より高効率で環境にやさしい製品を供給しています。



ドライブシステム分野の事業領域

1 一般産業電動機・電力・風力発電分野

日立の創業製品である電動機は、100年以上の技術伝統に支えられ、発電、産業、交通など多岐にわたる分野で活用されています。近年は、IoT (Internet of Things) やデジタル技術を取り入れた診断技術を開発し、機器の交換時期を予測するなど、製品のライフサイクル全体にわたる価値を提供。日立のLumadaソリューションを活用し、設計から運用・保守までのプロセスをデジタルインベションで強化しています。



2 モビリティ分野

新幹線などの高速鉄道車両用電動機は、高効率、小型・軽量、省保守化に対応し、最先端技術で製品化されています。鉄道事業は環境意識の高まりから成長分野と位置付けられ、次世代電動機の開発も進行中です。また、産業用や鉄道車両用の技術は、マイニングダンプトラック用発電機や走行モーターにも応用され、厳しい環境下でも安定稼働を実現。今後もモビリティ分野での電動化に積極的に取り組んでいきます。



3 分散電源・自家発電分野

電気の重要性が増す中、当社の自家発電設備は、停電や自然災害時に信頼性の高い電源を供給し、社会インフラを支えています。非常用発電設備だけでなく、工場や施設の省エネ・CO2削減を目的としたコージェネレーション発電システムも提供しています。これらの設備の開発・管理には電気・機械・制御、プロジェクト管理系のエンジニアが活躍しており、今後も人材を募集しています。



社会イノベーション事業を支えるキープロダクツをグローバルに提供。

2019年4月に日立製作所から分社独立し、日立グループの大型産業機器事業を担う企業です。モーター、UPS、インバーター、圧縮機、ポンプなどをグローバルに展開し、「デジタル・グリーン・イノベーション」を軸に社会イノベーション事業を推進しています。私たちのパーパスである「モノづくりの

力で、ステキな未来をつくる」という思いのもと、環境負荷を軽減しながら新たな解決策を提供し、革新的な挑戦を続けています。世界にまだない解決策をつくる、不可能を可能にしていって、そんなワクワクするような挑戦と一緒にしませんか。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エネルギー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES 職種紹介

設計開発

進化する技術を製品に反映し、世の中に新しい価値を提供していくことが設計開発を担当するエンジニアの役割です。それぞれの分野ごとにモーターやインバーター、圧縮機、ポンプなど産業機器の開発から製品化までを担います。

生産技術

生産量の拡大、生産効率の向上を技術面から実現させていく役割を担っています。高度なモノづくり技術により、最適生産・製品開発を具現化します。

品質管理

納入された製品・システムが所定の機能、性能、耐久性などを確実にクリアしているか、徹底的な技術検証を行い、事業リスクレビューによるロスコスト低減の先手管理を担います。

保守管理

既納設備に関して、各種診断技術を適用し、劣化状態の早期検知や機能維持、予防保全、長寿命化、および省エネ、省力化に向けた機能アップ、メンテナンス業務の役割を担います。

営業技術

顧客の要望に対して、技術的知見を通じてソリューションを提案し、設計、製造、生産技術、品質保証、スタッフ部門など、各分野の方と協力しながら、顧客への対応を行う重要な役割を担います。

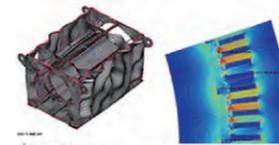
施工管理

設計・計画に基づいて機器を現地に搬入・据え付けするうえで、工事の計画、材料の調達、工事業者との調整、顧客との折衝、スケジュール管理、作業の監督などプロジェクトの取りまとめを行います。

ドライブシステム分野の特徴的な技術

1 一般産業用モーター・車両用モーター

モーターは、鉄道をはじめ、巨大なポンプやファン、工場設備機器など、あらゆる産業にとって欠かせない動力です。日立は1910年に国産初の5馬力誘導モーターを開発して以来、時代をリードする数々の先進技術で、日本のモーターの歴史を切り拓いてきました。モーターは産業の要所を担う製品として、高効率で信頼性の高い設計が求められ、開発項目は、温度、振動、騒音、新素材の採用など多岐にわたります。当社は最新のシミュレーション技術も駆使しながらチームワークを結集し、世界に向けて付加価値の高い製品を供給しています。



2 鉄鋼用交流可変速モーター

交流可変速モーターは、パワーエレクトロニクスおよび制御技術の進歩・発展により性能が飛躍的に向上し、鉄鋼プラントへの適用も定着しています。交流可変速による高応答化・高効率化・界磁制御範囲の拡大によって、生産性・品質の飛躍的な向上、省保守化、省エネルギー化などの成果が多くのプラントで達成されています。当社は圧延機駆動用としての豊富な経験と実績を基に、高度な解析技術と最新の生産設備、品質管理のもと、高性能・高品質・高信頼性の交流可変速モーターを製作し供給しています。



3 超大型ダンプトラック駆動用発電機、モーター

鉱山で掘削される鉱石運搬用の300-500t級(車両総質量)の超大型ダンプトラックは制御性、高効率化のため電気駆動になっています。車体搭載のエンジンで発電した電力を使用し、インバータ制御モーターによりダンプトラックを駆動します。当社はその発電機、モーターを開発および製品化しています。



02 パワーエレクトロニクス分野

パワーエレクトロニクスは、用途や設備に合わせて、電気を交流から直流、あるいは直流から交流へと変換するための技術です。当社は高品質なモーターと、負荷に応じた適切な運転制御を行うインバーターを組み合わせることで、工場やプラントなどの省エネ化や、発電所や鉄道といった社会インフラのCO2削減など、あらゆる産業分野に貢献しています。さらに、風力発電・太陽光発電などの新エネルギー向けインバーターや、鉱山向け超大型ダンプトラックの電気駆動用のモータードライブインバーター、安定した電力を供給するための無停電電源装置(UPS:Uninterruptible Power System)など、高電圧・大電力を扱うもの、高度な制御技術が必要とするものを中心に、幅広い分野で最先端技術を活用した製品を供給し、持続可能な社会づくりを支えています。



パワーエレクトロニクス分野の特徴的な技術

1 大容量・超急速充電マルチポートEVチャージャー

カーボンニュートラル実現に向けて、EV(電気自動車)への転換が進む中、充電インフラの増設が急務です。特に大型商業EVの急速充電需要が高まる中、当社の大容量・超急速充電マルチポートEVチャージャーはこれに対応。次世代規格CHAdeMO3.1(ChaoJi 2)準拠で、1台の電源に最大20ポートの接続が可能で、V2X(※)にも対応し、電力安定化に貢献します。

※ V2X(Vehicle to Everything): EVからさまざまなモノへの電力供給



3 超大型ダンプトラック駆動用モータードライブインバーター



鉱山などで使用される大型ダンプトラックでは、省エネ・省力化を目的に、電気駆動化が進められています。当社はモーター・発電機とあわせて、高電圧大容量インバーターを適用した制御性能が高い電気駆動ダンプトラックシステムを提供しています。基本的な走行に加えて、車体制御までを考えた高度なモータードライブ制御や、高温・低温・高地・高振動などの厳しい環境条件に適応させるためのインバーター装置の実装設計といった技術課題を克服しながら、さらなる大容量化、制御の高度化、新たな用途への適用などの開発を進めています。

5 新エネルギー発電用電力変換装置

資源の乏しい日本では、太陽光発電システムや風力発電システムなどの再生可能エネルギーの導入を加速させており、当社は太陽光パネルの直流電力や風車の交流電力を送電するための装置(PCS:Power Conditioning System)を提供しています。環境条件によって発電量が変化する再生可能エネルギーを、いかに安定的に運用していくか、社内外の研究・開発組織との協業による技術開発や提案を行い、安定した電力供給とさらなる自然エネルギー活用を促進しています。



2 産業用高圧ダイレクトインバーター

大型ポンプやファンを動かす高圧モーターを直接駆動する高圧ダイレクトインバーター。新素材・新工法の適用や、電磁界解析や熱流解析などの多岐にわたるシミュレーション技術を駆使した合理的な構造・装置構成によって、小型化・軽量化のニーズに応え、産業設備の制御性向上や省エネルギー化に貢献しています。



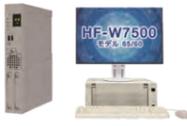
4 無停電電源装置(UPS)



UPSとは、万一の停電時でも、安定的に電力を供給するための電源設備です。高度に情報化された社会では、自然災害や万一の電源障害による停電は、社会システム全体の停止につながりかねません。UPSは、そのような事態に備えて、蓄電池やコンデンサーなどに蓄えられたエネルギーによって途切れることなく電力を送り続け、一瞬たりとも停止することが許されない通信ネットワークや医療機器、金融システム、プラント監視設備などの重要機器を守っています。

6 産業用コンピューター

水処理システムや交通システム、通信システムなど、24時間365日、休むことなく稼働する社会システムや、半導体製造装置や医療機器、ロボット分野など最先端の産業システムには、長期安定稼働が求められます。また、社会や産業のあらゆる場面におけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)やIoTの活用が進む中、産業用コンピューターには、単なる制御機能だけでなく、センサーなどからのリアルタイムデータを収集し、データの即時解析やエッジ処理を行う機能が求められています。当社では、これらのニーズに応える産業用コンピューターや産業用コントローラーを開発、生産設備の稼働状況をビッグデータとして収集・活用し、生産効率を高めるなど、プロダクト×OT×ITのシームレスな連携を支えています。



03 機械システム/メカトロニクス分野

機械システム/メカトロニクス分野では、主に水、空気、ガスをコントロールする圧縮機、ポンプ、送風機の産業機械のほか、さまざまなプラントのロジスティクスを支援する物流システムや、次世代の安全・安心を担う地震シミュレータ、車両走行試験装置など、社会や産業のためにはなくてはならない製品の研究、設計・開発、製作を行っています。活躍のフィールドは、国内はもとより、広く海外へと拡大し、長年積み重ねてきた研究開発や最先端技術を駆使して、エネルギーの安定供給、水不足の解消、災害対策など、地球規模での課題解決と未来の社会づくりに取り組んでいます。



機械システム/メカトロニクス分野の事業領域

1 圧縮機

圧縮機(Compressor)とは、羽根車/ロータの回転運動、ピストンの往復運動などで気体を圧送する機械で、私たちが生活に使用している気体(ガス)の圧縮、輸送、循環には、高性能の圧縮機が必要となります。また近年、石油をはじめとする地下資源の枯渇や環境への配慮などから、ターボ圧縮機の需要も高まり、石油精製や天然ガスといったプラントにおいて、その心臓部として世界各地で活躍しています。当社は海外を中心に累計1,000台を超える納入実績があり、近年ではブラジル沖の海底油田を採掘するために船上に設置する圧縮機も開発しています。圧縮機に類似の機械として送風機、ブロウなどがあり、これらは本質的には同じ機械で、用途で呼び方が変わります。



3 送風機



送風機(ファン)とは、トンネル内の換気やプラントなどで使われる大型ファンのことです。当社で扱う機種は多岐にわたり、トンネル内に充満する排気ガスを排出する換気設備向けの大型軸流換気ファンやジェットファンをはじめ、火力発電所や製鉄所向けの大型軸流・遠心ファン、下水処理場向けのターボブロウ、新幹線の車内換気用遠心ファン、原子力換気空調用遠心ファン、自動車実験風洞用大型軸流ファンなどを扱っています。高度な技術が要求される送風機は、一品一品オーダーメイドで設計し、製作、施工、アフターサービスまでを一貫体制で行っています。

2 ポンプ

当社は上下水場、排水機場といった国内公共分野で使われるポンプから、原子力、火力といった発電所向けのポンプまで、大型機種を中心に、設計・開発、製造を行っています。また、世界各地の水不足を解決するキープロダクトとして、ポンプの需要が高まる中、世界の大型プロジェクトにも参画し、数多くのポンプを納めています。米国・カリフォルニア州では、南北を貫く約960kmの送水設備の最重要施設であるエドモントンポンプ場向けに、当時では世界最高効率の8万馬力タービンポンプを開発、設計、製作し納入しました。高い技術により高効率・高性能を実現したポンプは、カリフォルニア州当局に高く評価され、南カリフォルニアの水資源確保に貢献しています。



4 物流システム



物流システムは、主にメーカーの工場、物流センターで用いられるシステムで、商品の管理や作業者の荷役業務をサポートするために使われています。当社は作業者の負担軽減や物流変動にも柔軟に対応可能な無人搬送車や、荷役業務を支援する「リムゾータ」を中心とした製品を提供しています。また、このような製品から得られた運行データなどを蓄積し、IoTで連携するシステム構築も実施しています。

5 試験機

試験装置事業は、構造物、高架橋、原子力機器などの地震時の挙動解明や、世界最高峰をめざす新幹線の研究開発を支援する動的力学試験システムの開発・設計・製作を行うものです。地震災害の軽減や新幹線の走行安全性向上などを通じて、社会の安全・安心を支えています。また、近年の大規模な地震で高層の建物に被害をもたらした、長周期地震動他に対応した実験システムを開発し展開をしています。



(写真提供:東海旅客鉄道株式会社)

7 研究開発

お客様の要求にグローバルかつタイムリーに対応するため、国内・海外の研究機関と連携して研究開発を行っています。大型ポンプおよび圧縮機の流体性能やロータダイナミクスなどの信頼性に関する技術開発により高性能化、低コスト化をめざします。

機械システム/メカトロニクス分野の特徴的な技術

1 アンモニアプラント用圧縮機

アンモニアは燃焼時にCO2を排出しないため、発電・船舶燃料としての利用が普及することにより、今後、カーボンニュートラルの有効な手段となることが期待されています。世界各地のアンモニアプラントにて豊富な実績がある当社の圧縮機は、CO2の排出削減に貢献します。



3 送風機

首都圏の流れを変える中央環状新宿線

首都高速中央環状新宿線の山手トンネルは、東京・山手通りの地下30mに位置し、全長約11kmの地下トンネルです。この開通により、交通が分散し、都心へのアクセスが円滑化しました。当社はトンネルに換気設備と9つの換気所の自動制御システムを導入し、新鮮な空気をトンネル内に供給、通行車両の排気ガスを地上40mの排気塔から排出することで、トンネル内の安全で快適な環境を実現しています。



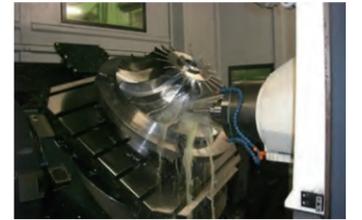
当社の環境価値創造への取り組み

国際的に脱炭素化の機運が高まる中、燃料・原料、発電、給電、消費など社会のあらゆる産業活動において、当社は環境価値を創造する企業として、「環境負荷を軽減する製品・サービスの提供」でカーボンニュートラル社会の実現に取り組めます。



6 モノづくり技術

モノづくり技術では、製品開発に必要な革新が求められています。機械加工、接合・溶接、組立技術の研究・開発を行い、高品質で信頼性のある製品を提供しています。特に羽根車の製造技術は業界トップレベルです。土浦事業所では、モノづくり技術開発を通じて世界最先端の機械工場をめざしています。



2 ポンプ

8万馬力のポンプが安定して水を供給～エドモントンポンプ場～

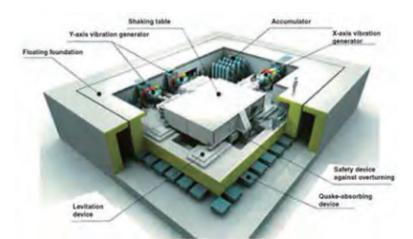
エドモントンポンプ場は、カリフォルニア北部の水源地から南カリフォルニアまで約1,100kmにわたる送水の要となる施設です。テハチャビ山地を越えるため、標高差約600mの送水トンネルを利用し、毎秒約120m³の水を送る世界最大級のポンプ14台が稼働しています。1台あたりの出力は約8万馬力で、ジャンボジェット機に匹敵します。最新の高効率ポンプ導入により、省エネと安定した水供給が実現され、信頼性も向上しました。



4 地震シミュレーター

長周期地震動に対応した実験システム

動的に、静的に地震動を再現。構造物、建築物の耐震性を設計段階で的確に把握できます。長手方向±1mのロングストロークがあり、長周期の地震動を再現し、軌道・台車・車両などの地震動における挙動を解明することによって、脱線防止策などの研究開発に貢献しています。



グローバル展開

当社は、世界各国にエンジニアを派遣し、短期的には受注の打ち合わせや国際学会への参加、長期的には機器据え付けや予防保全、さらに若手エンジニアの海外業務研修や留学を実施しています。これにより、グローバルな技術交流を推進し、世界トップクラスの技術集団をめざしています。



日立グローバルライフソリューションズ

お問い合わせ先

人事企画部 採用グループ
080-6038-5315
recruit.newgrad.op@hitachi-gls.com



所在地

本社
〒105-8410
東京都港区西新橋二丁目15番12号
(日立愛宕別館)

多賀事業所
〒316-8502
茨城県日立市東多賀町一丁目1番1号

栃木事業所
〒329-4493
栃木県栃木市大平町富田800番地

清水事業所
〒424-0926
静岡県静岡市清水区村松390番地



MATCHING FIELD

01 プロダクトエンジニア

市場動向や社会的ニーズを捉え、技術の進化を製品に反映させ、新しい価値を提供する役割を担っています。技術とお客様のニーズとを結びつける重要な役割を果たします。



02 ソリューションエンジニア

お客様のさまざまな課題やニーズを先取りし、製品知識や構造等の技術的知見を通じてソリューションを提案していくことがソリューションエンジニアの役割。社内外の各関連部門を巻き込みながら、安心・快適にご利用をサポートしていきます。
※今期の募集はプロダクトエンジニア分野のみとなります。



お客様のQoL向上に貢献するライフソリューションカンパニーへ。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社(以下、日立GLS)は、家電・空調を中心とした家電品、空調機器、設備機器等の販売、エンジニアリング・保守サービスの提供に加え、デジタル技術を活用したプロダクト・ソリューションの提供に注力しています。これまで培ってきた事業基盤と日立グループの総合力、またデジタル技術を活用したイノベーションを通じて、「360°ハビネス ひとりひとりに、笑顔のある暮らしを」という想いのもと、

「暮らしの充実」「医療の高度化、充実」「循環型社会」そして「低環境負荷」の4分野を中心に生活者のQoL(※1)向上に貢献するライフソリューションの創出、さらにグローバルアライアンスの強化による日立ブランド製品の海外販売とライフソリューション事業の海外展開を加速しています。
(※1) QoL=Quality of Lifeの略

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エネルギー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES

設計・開発(ハード・ソフト)

進化する技術を活用し、製品を通じて新しい価値を提供することが設計開発の役割です。日立の技術力を基盤に、マーケット動向や社会的ニーズを捉え、データ分析やデジタル技術を駆使して、機器やシステムの企画・開発から製品化までを担当します。

営業技術

特殊空調設備工事の営業として、お客様が抱える問題やニーズを把握し、解決・実行に向けて営業を行います。お客様の抱える問題やニーズを社内関係部署(設備設計や施工管理)に展開し、契約、工事完了まで窓口として進めて頂きます。

品質保証

品質保証は「モノづくりの最終番人」として製品生産の最終関門を守り、不具合の原因究明や対策を行います。また、「品質こそ日立製品の本質」をテーマに、品質保証技術の開発と実用化も推進し、安心・安全な製品提供に貢献しています。

設備設計

医療医療向けクリーンルーム設備や、半導体向け、食品工場等のお客様のご要望に沿った設備とする、設計図の作成や積算を通じた特殊空調システムの設備設計を行います。人々の快適な生活を支える重要な仕事であり、その設備工事全体をトータルエンジニアリングすることができる魅力的な仕事です。

製造・生産技術

生産量の拡大・生産効率の向上を技術面から実現させていく役割を担っています。IT技術等も駆使して、生産効率拡大のための生産技術の開発・実用化を追求し、製品のコストパフォーマンスを高めています。

施工管理

オフィスビル、学校、工場、病院、半導体向け及び再生医療向けクリーンルーム、冷凍冷蔵倉庫などの空調システム工事の施工管理を行います。人々の快適な生活を支える重要な仕事であり、施工計画の策定、予算管理、工事中の安全・品質管理等を行い、工事作業そのものではなく、その設備工事全体をトータルエンジニアリングすることができる魅力的な仕事です。

事業領域

日立GLSは、デジタル技術と環境配慮を基に、イノベーションを推進し、循環型モノづくり企業への変革を進めています。家電事業では、ハードウェアに加え、アプリケーションや遠隔監視などのデジタル要素を取り入れたコネクテッド家電を提案し、さらなる付加価値を提供しています。空調ソリューションでは、お客様の突発的な故障による事業機会の損失抑制のための予防保全、設備管理の省力化をめざすFacility Solution、再生医療などでの空気質を管理するHealthcare Solutionを提供し、グリーン&クリーンを通じて社会課題の解決に貢献しています。



家電事業の特徴的な技術

1 らくはや風アイロン(ヒートポンプ式)

仕上がりの良さを維持しながら時短・省エネを実現する「らくはや風アイロン(ヒートポンプ式)」。大容量ドラムと高速風&大風量の力で、シワを伸ばしてしっかり乾燥。衣類を蒸らした状態で風を当てることによって袖まできれいに。お客様のアイロンがけの手間を減らします。



3 ARお掃除

あなたの暮らしに、“見える”お掃除という新提案。スマホをつけて掃除すると掃除の軌跡が出現!アプリ画面でどこを掃除したか見えるからお掃除が上手にできます。



5 家事サポートアプリ「ハビネスアップ」

お客様に便利を超えた豊かさを提供すべく、家事に関わるさまざまなヒントを提供し、日々の快適な暮らしをサポートすることをめざした、日立の家電品をお持ちのすべてのお客様向けに提供しているアプリです。家電品の不具合発生通知から修理のお申し込みまでワンストップで対応できる「家電の救急アラート」を搭載し、大切な家電品を長く、安全に使い続けられるための各種サポートや継続的なアフターサービスを、より多くのお客様に提供するための取り組みとなっています。

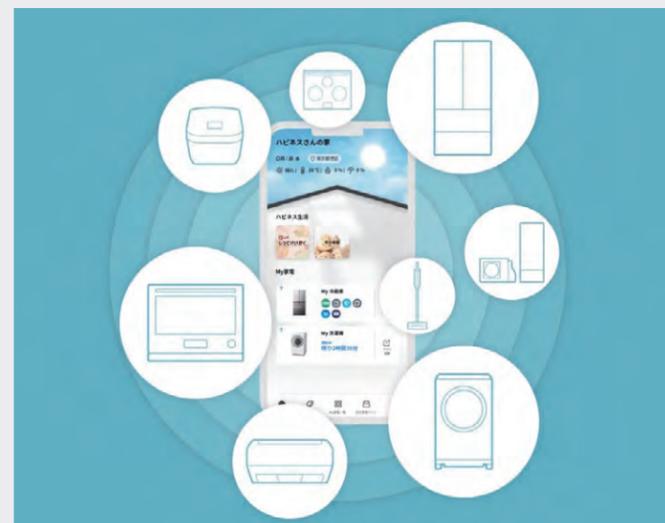
2 冷蔵庫カメラ

冷蔵庫・冷凍室・野菜室の食材をスマホで確認。外出先から庫内をチェックでき、買い忘れや重複購入を防止します。買い物中など外出先から、スマートフォンで庫内をチェックできるので、買い忘れや食材の二重購入、買いすぎを抑え、毎日の食材管理が手軽に行える。さらにドアを開けずに庫内をチェックできるので、ドアの開閉回数を低減し、冷気の流出抑制にもつながります。



4 こんがりも、あたたかも、これひとつ。「2in1トースターレンジ」

トースターと単機能レンジの2台分を1台にまとめた新コンセプトの「2in1(イン)1トースターレンジ」を発売。トーストをこんがりサクッと焼き上げ、こんがり焼き目のグリル料理もでき、レンジ加熱であたためや解凍も1台で済むので、コンパクトなキッチンスペースにもすっきり置くことができます。



空調事業の特徴的な技術

1 空調IoTソリューションexiida遠隔監視・予兆診断

「exiida遠隔監視・予兆診断」は、AI技術を活用した高度なIoTソリューションで、業務用冷凍・空調機器の稼働状態の監視と計画的な運用・保守管理をサポートするサービスです。また、「exiida遠隔監視・デマンド制御ソリューション」は室温など空調機器の稼働情報や気象情報などをもとに、AIが常時消費電力を予測して目標デマンド値を超えないように空調機器を制御することにより、お客さま施設の電気料金削減に貢献するサービスです。お客様との協創を通じた社会課題の解決をめざす上で豊富なソリューション群を展開しています。



2 再生医療施設向け空調ソリューション

当社は、空気の高精度に制御する技術を応用し、再生医療分野における細胞加工施設向け空調ソリューションを提供しています。温度・湿度・清浄度・室圧を精密に管理し、機器と空調の遠隔監視に加えて、施設全体を包括的にコーディネート。次世代型モジュール細胞培養加工施設/Cell Processing Center(以下、CPC)を開発し、エネルギー効率の向上とともに低消費電力を実現しました。日立のモジュール型CPCは、クリニックや大学・研究施設、製薬工場などで採用され、再生医療の現場やワクチン開発、創薬をトータルにサポートします。



OTHERS

1 私たちのめざすもの

日立GLSは、「ひとりひとりに、笑顔のある暮らしを。人と社会にやさしい明日を。私たちは、未来を拓くイノベーションで世界中にハビネスをお届けします。」というパーパスを掲げ、社会やお客様に選ばれる企業をめざしています。従業員一人ひとりがこのパーパスを指針とし、経営や事業戦略の判断基準としています。また、SDGs時代に対応した革新的な製品・サービスの開発や、アライアンスパートナーとの協創を通じて社会価値と顧客価値を創出し、持続可能な社会の実現に貢献します。

2 「その日を、いい日に。日立の家電」、新コミュニケーション施策 俳優・芦田愛菜さん出演のテレビCM「愛菜のまなざし」

日立GLSは、俳優の芦田愛菜さんをイメージキャラクターに起用し、「その日を、いい日に。日立の家電」をキーワードに、“困りごとの解決”や“便利”だけじゃない、日立の家電品が暮らしのなかで生み出すハビネスを伝えています。なんてことなく、けれど、かけがえない日々。だれかを想うだれかの気持ちのそばに、日立の家電品はあります。暮らしと家電品の物語を、やさしいまなざしで見つめる芦田愛菜さん。暮らしを見つめて生まれた日立の家電品だから、きっと暮らしを豊かにできる。そんなメッセージを伝えていきます。



日立チャネルソリューションズ

お問い合わせ先

人事総務部 人教・海外課
0561-53-6132
saiyou_mail@hitachi-ch.com



所在地

東京本社 〒141-8576 東京都品川区大崎一丁目6番3号 (大崎ニューシティ3号館7階)
旭本社 〒488-8501 愛知県尾張旭市晴丘池上1番地

採用情報

日立チャネルソリューションズの採用情報サイトはこちら



金融ターミナルソリューションベンダーとして、 グローバルに金融分野を中心とした 社会インフラを支えます。

日立チャネルソリューションズは、ATMなど金融機関を中心とした機器・システムやサービスを通じて、お客さまの課題解決に貢献しています。センシングやセキュリティ技術を活かしてグローバルに展開、多様な分野のエンジニアが活躍し、信頼性の高い製品・システムを提供しています。社会インフラを支える技術で、安心・安全で持続可能な社会の実現にも取り組みませんか。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エネルギー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES

職種紹介

設計開発

インフラを含めた社会のさまざまなシーンを支える製品の設計開発を担当します。世界のお客様に最適なソリューションを提供すべく、メカトロニクス、ロボティクス、エレクトロニクス、ファームウェア、ソフトウェアなど、多岐にわたる分野のエンジニアが活躍しています。

システムエンジニア

お客さまのニーズに対し、コンサルティングからシステム構築、運用フォロー・保守まで技術的な面から総合的なソリューションを提供します。

品質保証

お客様に対し、高品質で信頼性の高い製品を提供するために、製品を品質面から支えます。製品の開発初期から納入後のサポートまでハード、ソフトの両面から品質向上に携わる重要な職種です。

MATCHING FIELD

マッチング分野

01 ソフトウェアエンジニア

国内外の市場に展開される自社製品・サービスに搭載される、組み込みソフトウェアやアプリケーションソフトの設計・開発を担当します。ATMや銀行端末など、生活に密接に関わる製品やシステムのソフトウェア開発を通じて、社会インフラの安定稼働を支えます。Webベースのソフトウェア開発やAI技術を活用した新たなソリューションの企画・開発にも取り組みます。これらの開発を通じて、ユーザー体験の向上や業務効率化を実現し、より便利で安全な社会の構築に貢献します。



03 システムエンジニア

開発業務の上流工程に携わり、提案した製品やシステムの開発から導入・運用までのプロジェクトを担当。営業や設計部門などの関係部署と連携しながら、情報を集約し、最適な結論を導き出すことで、プロジェクトの円滑な進行を推進します。技術力に加え、コミュニケーション力や調整力も求められるポジションであり、技術とビジネスの両面から価値を創出する役割を担います。



02 ハードウェアエンジニア

メカトロニクス、ロボティクス、エレクトロニクスなどの専門性を活かし、ATMや両替機、窓口端末など、国内外の自社製品に搭載する装置・制御部・デバイスの開発を担当します。製品開発では、3D CADによる機構設計、センサー技術を活用した動作制御、マイコンや制御基板の設計など、幅広い技術を駆使して、ユーザーの操作に対して正確かつ安全に動作する仕組みをつくり上げます。金融分野に加え、流通やヘルスケアなどの市場に向けた製品開発にも取り組んでいます。環境負荷低減をめざしたエコデザイン設計にも注力し、重要な社会インフラを支えます。



04 品質保証

製品・システムの品質検査業務をはじめ、設計工程での品質確認、検査ツールの改善、品質向上施策の検討など、製品・システムの信頼性を高めるための品質向上活動を担当します。万が一、社外で事故や不具合が発生した際には、迅速かつ確かな対応を行い、原因究明と再発防止に努めます。品質保証は、ハードウェア分野とソフトウェア分野に分かれており、それぞれの技術特性に応じた検証・評価を実施。開発部門と密に連携しながら、製品の完成度を高めるための改善提案も行います。ユーザーに安心して使ってもらえる製品を届けるため、技術力と分析力、そして冷静な判断力が求められる重要なポジションです。



事業領域

1 基盤事業

当社はこれまで金融ターミナルソリューションベンダーとしていち早くグローバルに展開してまいりました。銀行やコンビニ、鉄道など、私たちの身近な社会インフラにおいて、日立チャネルソリューションズのATMなどの製品は国内外でリーディングポジションを確立しています。現在では100を超える地域で当社の製品が活躍しています。

2 ソリューション事業

私たちは、金融ドメインの知見とATM設計開発で得た技術力を活かし、ソリューション事業を推進しています。これまで培った技術と築きあげた信頼に基づく顧客基盤を活かし、デジタルの取り組みを強化することで、データから価値を生み出す新たなソリューションをお客さまに提供するとともに、金融、流通、交通・公共からヘルスケア、建設業界など新規分野へビジネスをグローバルに拡大していきます。

主な製品・ソリューション事例

1 国内向け金融ソリューション

現金自動取引装置(ATM)

従来のATMとしての機能や信頼性はそのままに、さまざまなデバイスやサービスと連携できる拡張性で、窓口業務のセルフ化と安心安全な操作環境を両立する自動機へ進化させることができます。



店舗業務改革ソリューション

金融機関における「店舗の効率化運営」や「顧客接点の多様化・高度化」に対応し、デジタル技術やAIを活用した店舗業務改革ソリューション「ブランチトランスフォーメーション(BX)」を提供。経営課題の解決と新たな価値創造に貢献します。



2 海外向け金融ソリューション

決済関連ソフトウェアを活かし、現金・非現金取引に対応するペイメントチャンネルソリューションをグローバル展開。ASEAN地域ではATMサービスの設備、運用、サポートを一体化したマネージドサービス事業を提供しています。



3 タッチレスソリューション

画面に触れない操作を実現する空中入力装置。タッチレスで操作することで、感染症など衛生上のリスク低減ができ、安心してお使いいただくことができます。ATMの取引やクリニック向け自動受付精算機の操作などで、活用されています。



4 ヘルスケア向けソリューション

服薬支援ロボ

処方される薬の種類や量が多い傾向にある高齢者など、薬の飲みすぎや飲み忘れ防止といった服薬管理を支援。あらかじめ薬をセットし、設定した時間に音声案内と画面表示で服薬をお知らせし、利用者が薬を取り出すことをサポートします。



クリニック向け自動受付精算機[セルフオート]

「誰もが安心して医療を受けられる環境づくり」にむけて、クリニックでは自動精算機の導入が進んでいます。「セルフオート」は、初めての方や高齢の方でも使いやすく、キャッシュレスにも対応し、医療スタッフの業務負担も軽減でき、会計締め処理の時間短縮など、現場からも高く評価されています。



3 セキュリティ

利用者やシステムを外部の脅威から守る「セキュリティ」技術。当社は高い安全性が求められる金融分野で、長年さまざまなセキュリティ対策をATMなどの機器やシステムにおいて提供し、多くのお客さまから高い信頼を得ています。国内・海外の事例や標準の調査・研究を進め、業界団体活動にも参加し、蓄積した知識・ノウハウを活かして、本人確認・サイバーセキュリティ・媒体セキュリティなどの技術の強化に取り組んでいます。

4 UX/UI

モノからコトへ。コト(体験や経験)が価値を持つ時代。誰もがわかりやすく、使いやすいユーザーインターフェース(UI)を追求し、新たなユーザーエクスペリエンス(UX)を提供します。生活に欠かせないATMや両替機などの自動機において、さまざまな利用者が使いやすく、安心して操作ができるユニバーサルデザインに考慮した設計を行ってきました。空中ディスプレイを活用したタッチレス操作、AIやARなどデジタル技術を活用した顧客相談など新たな体験を生むコミュニケーションにも取り組んでいます。

5 エッジ・クラウドConnect

エッジデバイス、エッジコンピューティングにより、センサーや取引など生成されたデータをリアルな現場の近くでリアルタイムに収集、分析、処理を行います。さらに、クラウドと連携して、高度な分析を要するデータの集積、解析、モニタリング、可視化を実現し、新たな製品・サービスの提供、機能・運用の改善など、顧客価値の創造につながります。

OTHERS

1 100の地域で信頼される技術力—当社が築くグローバルネットワーク！

日立チャネルソリューションズは、金融ターミナルソリューションベンダーとしていち早くグローバルに展開。現在では100を超える地域で当社の製品・システムが活躍しています。特に、入金された紙幣を出金に利用することができる紙幣選流式ATMにおいては、世界でシェアの20%以上を占め、業界をリードしています。



OFFICE



特徴的な技術

当社は、ATMなどの自動機やロボットにより、省力化・効率化やサービスの高度化などを実現するイノベーションを創出してきました。長年培った高度な「センシング」技術+「ハンドリング」技術をさらに磨き進化させるとともに、「セキュリティ」技術および「ユーザーエクスペリエンス/ユーザーインターフェース」(UX/UI)、「エッジ・クラウドConnect」技術の活用を推進しています。これらのコア技術を基盤に、これらからもお客さまと社会に新たな価値を提供していきます。

1 センシング/アルゴリズム

「センシング」は、さまざまなセンサーを通して、モノや人の状態などの情報を取得し、その情報から検知や認識、識別、認証などの判断を行う技術です。複数の状態・情報をリアルタイムで観測するマルチモダリティセンシングで、高速かつ高精度なセンシング技術を実現します。読み取った情報を活用した「ハンドリング」技術により、選別、分離、仕分けなどの自動搬送や自動走行などの制御を可能にします。

2 ハンドリング/モーション

自動機やロボットの制御で重要な役割を担うハンドリング技術。当社の技術は、ATMをはじめ、さまざまな自動機で世界で幅広く活躍しています。紙幣の取り込み、搬送、仕分け、収納、排出など、高速でさまざまな処理を行う搬送処理技術と高い信頼性により、紙幣選流式ATMは世界で高い評価を得ています。省人化・効率化を実現する自動化・ロボットソリューションとして、さまざまな分野へ利用が広がっています。

日立ハイテク

お問い合わせ先

人財開発部 新卒採用担当
070-4922-6069
saiyou.engineer.ak@hitachi-hightech.com



所在地

那珂地区

〒312-8504
茨城県ひたちなか市毛882番地

柏の葉地区

〒277-0871
千葉県柏市若柴226番地44中央141街区
1 KOIL TERRACE

那珂地区 マリンサイト

〒312-8504
茨城県ひたちなか市新光町552-53

日立地区

〒317-0073
茨城県日立市幸町三丁目1番1号

笠戸地区

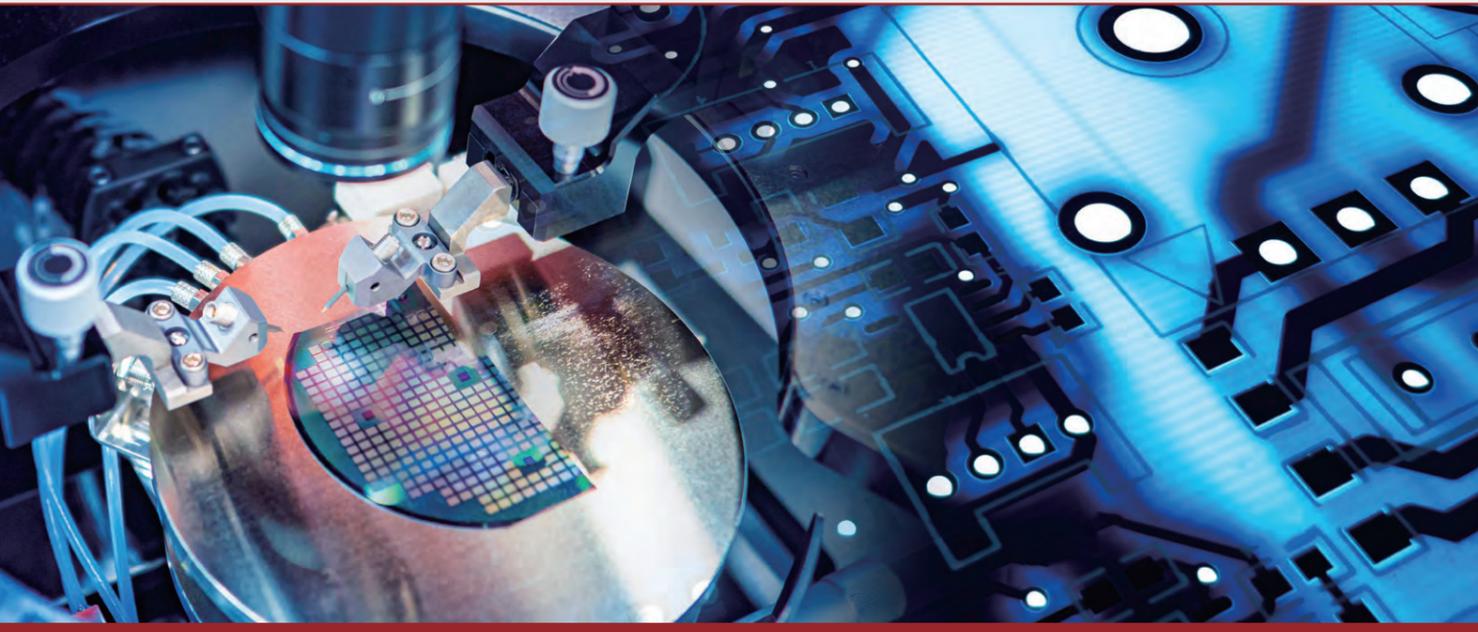
〒744-0002
山口県下松市東豊井794番地

虎ノ門地区(本社)

〒105-6409
東京都港区虎ノ門一丁目17番1号
虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー

青梅地区

〒198-0023
東京都青梅市今井三丁目7番19号



私たちは、最先端分野でお客様の飛躍と成長をお手伝いします。

2001年に、日立製作所の計測器グループ・半導体製造装置グループと日製産業が統合し、開発から製造・販売・サービスまでの一貫体制を確立しました。当社は、「ナノテクノロジー」「ヘルスケア」「コアテクノロジー」「産業社

会インフラ」の4つの事業セグメントでグローバルトップをめざし、企業価値の最大化を図ります。機械、電気、情報、物理、化学、生物など多様な技術領域のエンジニアが活躍できる環境を提供しています。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エネルギー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES 職種紹介

研究・設計開発

研究開発と設計開発は、電子線・イオンビーム応用製品、半導体計測・検査システム、ライフサイエンス製品、粒子線治療システム、X線治療システム、半導体製造用プラズマエッチング装置が中心です。設計職には機構系、電気・回路系、情報・ソフトウェア系、分析系4つの系統があります。

品質保証

品質保証は顧客に届ける製品およびシステムの最終的な責任を持ちます。自社製品の機能・品質・信頼性を担保するため、設計や製造と連携しながら試作品の認定および製品の出荷試験を実施します。

システムエンジニア

半導体製造装置、ヘルスケア機器、電子顕微鏡など多様な製品群に関わる開発を担当します。試作段階の制御ソフトウェアから、AI・画像処理・データ解析を用いたシステム設計まで幅広い領域を担います。半導体業界向けのデジタルソリューションやAIプラットフォーム開発など、製品価値の向上に直結する開発を行います。国内外の顧客や研究所と連携し、製品とデータを基盤としたソリューション創出に取り組んでいます。先端産業を支える自社製品群に対し、ソフトウェア面から開発・改善を行います。

生産技術

自社工場の製造ラインの設計・運用・保守および効率化のためのさまざまな仕組みづくりを行います。製造現場のモノづくりを支える、製品・分野横断的な技術の開発やファシリタマネジメントを行います。

営業技術

顧客に対し、弊社製品のユーザーサポートおよびトレーニング、デモンストレーションを行います。また、顧客のニーズを汲み取りながら、アプリケーションの開発を担当します。

MATCHING FIELD マッチング分野

01 半導体製造装置分野

私たちの生活に欠かせない存在である半導体。さまざまな分野の機器制御において重要な役割を果たす半導体技術の革新は、私たちの暮らしをより安全で快適なものにすると同時に、各種システムの効率化、小型化そして地球環境への負担軽減をも実現します。また、あらゆるモノがインターネットにつながるIoTやAIの普及、ビッグデータやクラウドの活用により、半導体が担う役割はますます大きくなっています。当社の半導体製造装置「エッチング装置」はそういった半導体製造工程に欠かせない装置であり、最先端の技術でこれからの暮らしに貢献します。

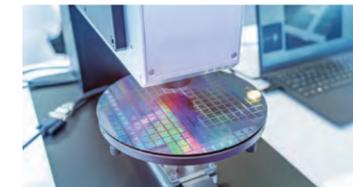
■主な装置 ・エッチング装置



02 半導体計測・検査装置分野

さらなる微細化や省電力などのニーズに応える電子デバイス製造の最前線に、半導体計測・検査装置において、独自の製品ラインナップで対応しています。主力製品は世界トップシェアの測長SEMなど半導体メーカーとの共同研究開発などにより、世界トップレベルのソリューションをお届けしています。

■主な装置 ・測長SEM・ウェーハ表面検査装置など



03 電子顕微鏡分野

環境や産業などの広範な分野で活躍する先端解析装置。当社のSEMやTEMなど電子顕微鏡は、新素材・材料の開発や、バイオテクノロジー研究など最先端科学技術の発展に貢献しています。

■主な装置 ・電子顕微鏡(SEM, TEM)・集束イオンビーム加工観察装置など



04 ヘルスケア診断分野（体外診断検査装置・デジタルなど）

【遺伝子検査装置】 世界で初めて生化学分析装置に免疫分析機能を統合した臨床検査用自動分析装置。当社の自動分析装置は、検査の効率性や測定精度、メンテナンス性などの向上を通して、臨床検査の普及と診断支援に貢献してきました。今や世界中で人々の健康管理やさまざまな疾患の早期発見に不可欠となっています。科学の進歩が目覚ましい現代においても、未だ明らかになっていないことが多いDNA。当社のバイオ分析技術は、バイオテクノロジーの飛躍的な発展に貢献し、オーダーメイド医療・創薬といった新しい世界を切り拓いていきます。

■主な装置 ・生化学自動分析装置・検体前処理システム・DNAシーケンサーなど・検体検査装置・スマートラボソリューション



05 ヘルスケア治療分野（放射線治療・先端医療システムなど）

日立がこれまで培ってきた加速器要素技術とプラント制御技術に基づき、国内外のお客様とともにがん治療の先進的な技術を開発し、治療システムとして提供しています。特に、放射線を用いたがん治療の中でも先進的な治療の一つである粒子線治療システムや、PET(Positron Emission Tomography)検査に関わる医療機関への支援サービスなどの製品やソリューションで、ヘルスケアが直面する課題にイノベーションで応えていきます。また、国を越えた各種プロジェクトにおいて、超電導の実験装置や超電導磁石を設計・製作し、医療機器などの民生向けにも技術を活用しており、モノづくりの立場から科学技術の発展にも貢献しています。

■主な装置 ・粒子線治療システム・PET支援サービス・超電導応用機器



06 モノづくり（生産技術・生産管理）・技術開発分野

各製品分野を横断する職種として、デジタルエンジニアリングによる開発設計プロセスの改革、組み込み制御システムの開発、新事業や製品試作、生産設備の試作開発を行います。加工技術や自動化技術の開発、生産ライン設計などを連携させ、設計からモノづくりまでの安定した企業基盤を築いています。技術開発部門では、基盤技術の強化と先行技術の開発を推進し、将来的な事業創生に向けた技術戦略を検討しています。



07 産業・社会インフラ分野

バリューチェーン全体を俯瞰した事業知見のもとに、お客様の本質的課題を抽出し、日立Gr.内外のパートナーと連携したエンジニアリング力で、最適なソリューションを提供。事業の強化・拡大を支援している分野です。社会インフラストラクチャー関連の開発やデジタルサービス基盤の構築、エンジニアリングに携わっていただきます。



08 デジタルソリューション・プラットフォーム分野

日立ハイテクの「見る測る分析する」技術にデータ分析・AI等を活用して、デジタルソリューションを実現するためのシステム開発・運用にも携わっていただきます。



09 知的財産分野

会社の知的財産を守る重要な仕事です。当社は、電子線技術、光学技術等を活用し、半導体、医用他、様々な産業にアプローチしています。知的財産部もそれらをカバーしているので、幅広い知識を身に付ける事が可能です。業務内容としては、以下の業務に携わっていただきます。

・知財インテリジェンス業務

事業戦略立案に資する知財分析情報を提供するほか、コミュニケーション・ツールとして知財情報を開示します。

・知財戦略提案・実行、知財確保、知財クリアランス業務

事業部門への知財戦略提案、合意した知財戦略に基づく知財の創出・権利化、他社知財クリアランスを実施します。



10 品質保証分野

品質保証職種として、完成した製品が規定の品質を満たしているかを確認し、納品後も顧客に安心や満足を保証するための体系的な活動を行います。

具体的には、以下の業務に携わっていただきます。

・製品の出荷検査の試験計画及び検査業務

・新規開発品の検証、認定試験業務

・新規採用部品認定試験、サプライヤ監視・指導業務

・フィールド稼働装置におけるテクニカルサポート

・不具合調査業務。エンジニアへの指示やアドバイス、出張による復旧支援業務。



11 事業開発・事業推進分野

日立ハイテクの技術や強みを活用して、既存事業の強化と新事業の創生を進めるとともに、根源的な顧客課題を発掘してソリューションの開発・事業化を推進しています。



6 【ヘルスケア診断分野】臨床検査用装置、検体検査装置、遺伝子検査装置



1 臨床検査用装置

血液などの成分を分析し、腎臓・肝臓等の健康状態の把握や各種疾患の検査を行う装置です。クリニックなど小規模な医療施設から、1日に数万の検体を処理する大規模な臨床検査センターまで広く活用されています。

2 検体検査装置自動化システム

分析装置で使用する血液検体の前処理(遠心分離・分注・バーコード貼付・開閉栓等)および自動搬送により検査業務の効率化に貢献します。

3 遺伝子検査装置

生命の設計図であるDNAの塩基配列や塩基長を解析するシステムを提供します。医療・健康分野や犯罪捜査のためのDNA鑑定などに幅広く利用されています。

4 スマートラボソリューション

分析装置や搬送装置と連携し、検査業務の効率化・精度向上を目指したDXソリューションを提供しています。

7 【ヘルスケア治療分野(放射線治療・先端医療システムなど)】粒子線治療システム、PET支援サービス、超電導応用機器

1 粒子線治療システム

日立のスポットスキャン照射技術は、複雑な形状の腫瘍に対して高精度に粒子線を照射し、正常部位への影響を最小限に抑えます。さらに、動体追跡照射技術と組み合わせることで、位置変動する患部にも対応した高精度な治療を提供しています。

2 PET支援サービス

医療機関がPET検査を導入する際、加速器や放射線施設の設計から運用までをトータルでサポートする「PET支援サービス事業」を展開しています。機器の調達やメンテナンス、薬剤製造までを包括的に支援します。

3 超電導応用機器

高温超電導技術を活用した超電導磁石や磁場発生装置の開発を進めています。特に、無冷媒かつ消費電力を抑えた超電導磁石の開発に力を入れています。



特徴的な技術

1 多彩なフィールドに広がる電子線・光学・プラズマ制御技術

日立ハイテクのコア技術は、電子顕微鏡や評価装置に活用される電子線技術、超微細加工技術、高密度エネルギー加工技術、画像処理技術、センシング技術、質量分析技術など、多様な分野で活躍しています。これらの技術は、半導体加工や医療分野など、最前線での製品開発を支え、特に次世代LSI加工ではプラズマ制御技術が重要な役割を果たしています。日立ハイテクのこれらの技術は世界トップレベルと評価されています。

3 【半導体計測・検査装置分野】

光学式ウェーハ表面検査装置(LS9300A、LS9300AEG)

1970年代後半に開発が始まったレーザ光散乱方式のウェーハ表面検査装置は、高感度化の取り組みを続け、半導体製造に欠かせないロングセラー装置となりました。2005年から開発された「LS9000」シリーズの現行機種LS9300Aは、高速ダイナミック制御技術と高感度センサを搭載し、高感度・高速検査を実現。さらに、ウェーハ裏面を非接触で搬送するシステムを備え、品質改善に大きく貢献しています。



5 【電子顕微鏡分野】

超高分解能電界放出形走査電子顕微鏡(SU9600)

サブナノレベルの物質構造を高精度かつ効率的に観察可能な、超高分解能電界放出形走査電子顕微鏡「SU9600」を10月31日発売を発表しました。「SU9600」は、従来機種から継承した世界最高レベルの超高分解能に加え、効率化・自動化機能の強化により、データ取得スループットの向上を実現しました。AI需要の増加を背景とした大量データによる解析ニーズに合わせ、高精度かつ高効率な観察業務の実現に貢献することで、次世代半導体・高機能材料の研究開発を支援します。



2 【半導体計測・検査装置分野】

高分解能測長 SEM(CG6300)

日立ハイテクの測長SEM「CG6300」は、最高の分解能、測長精度、再現性を達成し、基本性能と生産性を向上させました。高精度プロセスモニターやオフラインレンピ対応を実現し、次世代技術への挑戦を続けています。世界トップシェアを誇るこの製品は、お客様の信頼に応えるための革新的な技術力を象徴しています。



4 【半導体製造装置分野】

プラズマエッチング装置(M-9000)

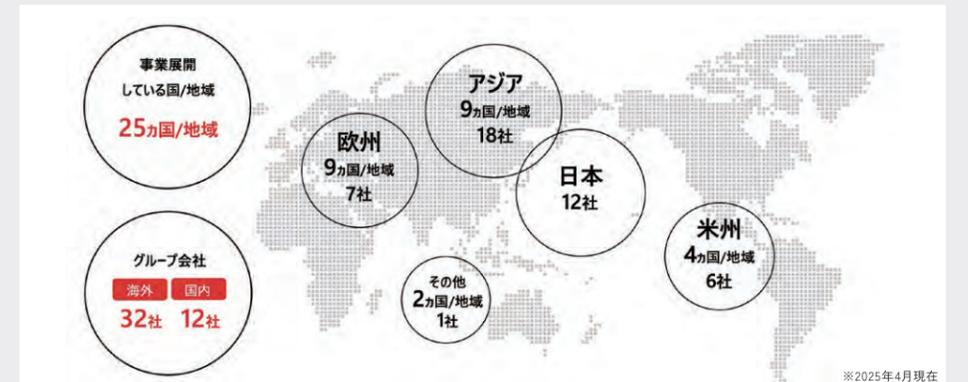
プラズマ中のイオンと反応ガスを利用して半導体デバイスの微細加工を行うドライエッチング装置です。20nm世代以降のデバイスでは、ダブルパターニングや3D構造、新規材料対応など高度で複雑なプロセスが必要です。装置は統一されたインターフェースと高精度モジュール化されたチャンバを搭載し、次世代デバイスに対応する拡張性と柔軟性を提供します。



OTHERS

1 拡大するグローバル市場へ

「ハイテクプロセスをシンプルに」をビジョンに掲げ、海外25の国と地域に拠点をもち、売上70%以上が海外での収益です。これにより、世界の最先端技術に触れ、迅速に市場ニーズを把握し、グローバルな価値創造に貢献しています。



2 日立製作所のヘルスケア事業を会社分割し、日立ハイテクに統合

2024年4月、日立製作所のヘルスケア事業が日立ハイテクに承継され、「ヘルスケア事業統括本部」が発足しました。この統合により、「診断×治療×デジタル」戦略を推進し、がん治療や個別化医療の実現に取り組むヘルスケアイノベーションを加速し、QoL向上、「がんなどを恐れることのない社会」をめざしていきます。

3 茨城県ひたちなか市に新工場を建設

日立ハイテクでは、病院・検査センターなどの検査室の自動化や迅速な検査・診断の実現に向けて、生化学自動分析装置、高感度免疫分析装置、検体検査前処理システムなど高性能かつ信頼性の高い製品の開発・製造を行ってきました。たけなわサイトの竣工により国内生産拠点の最適配置を行うことで、高度化が期待される医療に対応する高品質な臨床検査用装置の開発・製造効率化を実現し、一人ひとりに寄り添った医療提供をサポートします。また、地域企業との連携をさらに強化し、ひたちなか市からヘルスケア分野において世界で活躍する装置を開発・製造していきます。

4 笠戸地区に半導体製造装置の新製造棟を建設

山口県笠戸地区に半導体製造装置の生産能力増強を目的とした新製造棟を建設し、2025年度より生産を開始しています。新製造棟では、生産ラインのデジタル化や自動化により生産能力向上を図っています。また、従業員のウェルビーイング向上を考慮した働きやすい職場環境の整備を進めたほか、再生可能エネルギー電力の導入によるカーボンニュートラル達成を実現しています。半導体関連市場は生成AIや自動運転など今後も需要が拡大すると予想されている中、新製造棟の稼働開始により生産能力を向上させ、お客さまの開発期間短縮・コスト低減・生産性向上などの課題解決に向け新たな価値を創造していきます。



日立マネジメント パートナー

お問い合わせ先

総務部 採用担当
03-4541-2300 (代表)
saiyou.hitachimp.kq@hitachi.com



所在地

御茶ノ水オフィス(本社)
〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町二丁目29番地
東お茶の水ビル

茨城サポートセンタ
〒319-1221
茨城県日立市大みか町三丁目18番1号

上野オフィス
〒110-0015
東京都台東区東上野二丁目16番1号
上野イーストタワー

大森オフィス
〒140-8573
東京都品川区南大井六丁目26番2号
大森ベルポートB館



私たちの使命は、 24.5万人の創造性とパフォーマンスを 最大限引き出す環境づくり。

ビジネス環境の変化に伴い、多くの企業が変革と企業価値向上を求められています。日立グループの財務・人事関連業務専門会社として、私たちはシェアードサービスやシステムソリューションを提供し、顧客の財務・人事業務の効率化を支援します。約24.5万人のユーザーの働き方を変え、創造性とパフォーマンスを最大限に引き出す仕組みを整え、顧客の成長をサポートしています。

募集職種	研究開発 設計開発 システムエンジニア 生産技術 品質保証 営業技術 その他
卒業学部学科系統	機械工学 電気・電子・通信工学 情報工学 化学 物理学 数学 経営工学 土木工学・建築・環境工学 エネルギー・資源工学 その他
事業分野	デジタルシステム&サービス エナジー モビリティ コネクティブインダストリーズ 研究開発 コーポレート

JOB CATEGORIES 職種紹介

システムエンジニア (ITエンジニア)

当社が提供している人事関連システムに関する機能提案、設計、プログラミング、開発委託先の作業管理などの開発や保守業務、および各システムを継続的、安定的に稼働させるための運用設計、運用管理、障害対策などを行います。

システムエンジニア (業務エンジニア)

日立グループ各社の人事業務や制度を把握し、顧客の要望や法改正に伴う要求を実現するために要件定義を行います。また、当社システムに精通し、ITエンジニアと協力して、顧客の課題に対する最適なソリューションを提案します。

事業領域

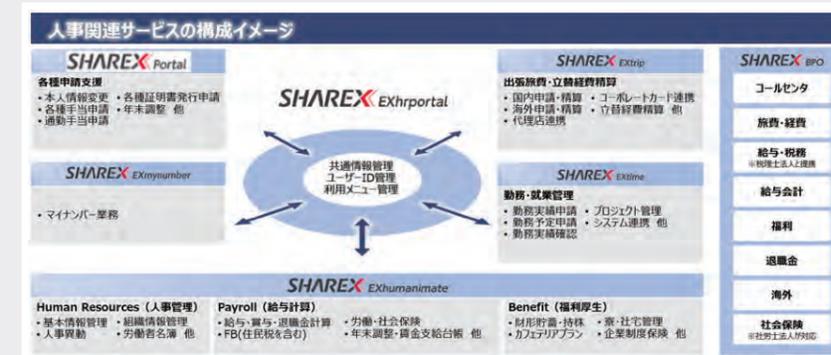
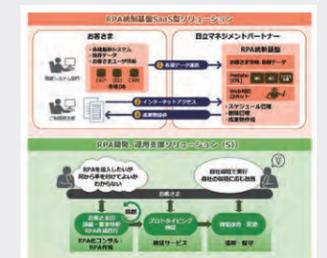
技術力とノウハウをもとにした財務・人事関連業務に関する シェアードサービスなどの提供

企業の複数の事業部門や拠点、M&Aによる規模変化に伴い、財務・人事などの間接業務が複雑化しています。日立マネジメントパートナーでは、日立グループ約180社約24.5万人に対して財務・人事関連業務の集約・効率化を図るシェアードサービスを提供しています。また、蓄積されたノウハウを活かし、システムソリューションサービスも提供し、ITシステムの導入から運用・保守までを一貫して支援しています。加えて、使いやすさや効率化を考えた次世代システムの開発も進めています。

特徴的な技術

1 RPAソリューションサービスの提供

当社では、人事関連業務のノウハウとRPA技術を組み合わせたソリューションを提供しています。人事、給与、勤怠管理などの業務効率化を図り、負担軽減と働き方改革を支援します。RPA導入のコンサルティングから開発、運用・保守までを一貫して提供し、お客様の課題解決に積極的に取り組んでいます。これにより、新たな価値創出への注力を促進します。



2 人事関連システム ソリューションサービスの提供

当社は、人事関連システム「SHAREX」をSaaS形式で提供しています。基幹システム「SHAREX EXhumanimate」では、日立グループ約180社の従業員データを一元管理し、毎月の給与計算をスムーズに行います。フロント系システムでは、従業員が勤怠情報や手当申請を簡単に行うことができ、業務効率を向上させます。これらのシステムは連携することで、より大きな効果を発揮します。また、各社の人事制度などに応じて柔軟に設定変更することもでき、従業員が使いやすい環境を提供しています。

OTHERS

1 次世代人事関連システム開発

システムの老朽化や新技術の登場に伴い、システム提供会社は定期的な刷新が必要です。さらに、働き方の多様化やM&Aにより人事関連システムへの新たな要求や期待が高まっています。当社は、多様なお客様の制度・ご要望に対応し、将来にわたってサービスを提供していくために、2025年8月に新フロント系システムの「SHAREX Portal」をリリースし、旧システムから切り替えを実施しました。その他にも人事関連システムの新規開発を計画しており、ソフトウェア開発だけでなく、業務分析や要求分析にも携わる機会があります。



2 社員の特徴、社風

当社では、社員同士が積極的にコミュニケーションを取る風土があり、上司や先輩にも気軽に相談できる環境が整っています。システムソリューションやシェアードサービスに精通したプロフェッショナルが集まり、新しい挑戦が歓迎される職場です。若手社員も開発プロジェクトに参加し、裁量を持って働ける機会が多く、成長をサポートする環境が整っています。



日立ビルシステム

お問い合わせ先

人事総務本部
人財開発センター 採用グループ
0120-331-782
bsbu.saiyou.hc@hitachi.com



所在地

本社 〒101-8941
東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地
ワテラストワー

生産拠点 〒312-8506
(水戸事業所) 茨城県ひたちなか市市毛1070番地

亀有総合センター 〒120-0002
東京都足立区中川四丁目16番29号



人・ビル・社会に新たな価値を提供し、 持続可能な社会の実現に貢献します。

日立ビルシステムは、1920年代にエレベーターの研究開発に着手して以来、日立グループの一員として高品質な昇降機(エレベーター、エスカレーター)、さらには空調機器をはじめとするビル設備や、ビルソリューションなど、ビルを支える製品・サービスを提供し、安全・安心・快適な社会づくりに取り組んでいます。100万台超の昇降機をはじめとするビル設備に対し、2,000拠点超の事業拠点をベースに、IoTやAIなどのデジタル技術を活用したメンテナンスサービスをグローバルに提供し続けており、その強みを生かしたソリューションの提供を通じて、ビル全体のグリーン化、スマート化を行っております。これからも、デジタル・グリーン・コネクティブを革新のドライバーとして、社会イノベーション事業の拡大を図り、持続可能な社会、ウェルビーイングの実現に貢献していきます。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エナジー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES 職種紹介

- 設計開発**
先進性・信頼性・安全性エレベーター、エスカレーターの高いの新技術研究および新製品の開発
- 設計**
国内・輸出エレベーター、エスカレーターの設計および設計取り纏め業務
- スマートビル**
スマートビル分野における、戦略立案、新事業の創出、システム構築・運用
- サービス開発**
ビルソリューションのシステム・サービス開発、データ解析および、メンテナンスツールの開発
- メンテナンス企画・設計**
エレベーター、エスカレーター・冷凍機・ソリューションのフィールドサービス事業に関する技術・商品の開発および、戦略策定、事業企画、保全設計、技術サポート

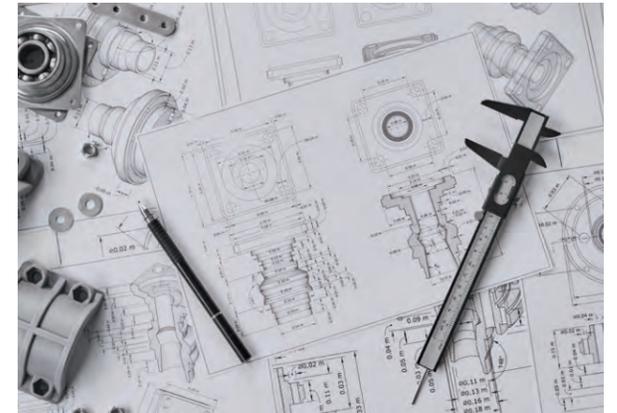
MATCHING FIELD マッチング分野

01 設計開発分野（駆動・機構システム分野）

設計、製造、据付、保守といったバリューチェーン全体での収益性を考慮しながら、エレベーター製品の駆動・機構システムの設計開発を担っています。

- 【製品開発】
- 顧客ニーズをもとにした開発計画の立案
 - エレベーター機構システム、装置、部品の設計
 - シミュレーション、および製品試作による評価

- 【設計】
- エレベーター機械品の設計(強度検討、機械部品 選定、構造品・意匠品の設計など)
 - 設計標準化業務(2次元/3次元での標準図作成、設計基準作成など)
 - 原価低減活動(構造検討、見積業務など)



02 設計開発分野（制御システム分野）

設計、製造、据付、保守といったバリューチェーン全体での収益性を考慮しながら、セキュリティ認証システムとの連動や広告等を表示するサインージへの対応など、様々なサービス・プロダクトと連携するコネクティブエレベーターやエレベーター製品の制御システムの設計開発を担っています。

- 【製品開発】
- エレベーター全体仕様検討
 - 運転関連制御・位置、速度制御・モータ制御のソフト開発全般(C言語)
 - 設計書、回路図作成
 - コーディング作業

- 【設計】
- エレベーター電気品の設計(電気回路検討、電気部品選定、ソフト設計など)
 - 設計標準化業務(標準図作成、設計基準作成など)
 - 原価低減活動



03 設計開発分野（ソフトウェア分野）

設計、製造、据付、保守といったバリューチェーン全体での収益性を考慮しながら、セキュリティ認証システムとの連動や広告等を表示するサインージへの対応など、様々なサービス・プロダクトと連携するコネクティブエレベーターの制御システム開発を推進しており、その根幹となるソフトウェアの開発を担っています。

- システム検討
- コーディング作業
- ソフト開発
- 検証作業(単体テストおよびエレベーターシステムテスト)



04 デジタルソリューション・サービスプラットフォーム分野

不動産業界では、ビル価値向上、競争力強化にむけてIoT技術などを活用したビルのスマート化が進んできています。不動産デベロッパー、ビル管理会社、ビル利用者などのステークホルダーに対して、「スマート」「グリーン」「QoL向上」といった新たな価値を提供するデジタルソリューションのシステム設計・開発を推進しています。



05 システムエンジニア（スマートビルディング・デジタルソリューション分野）

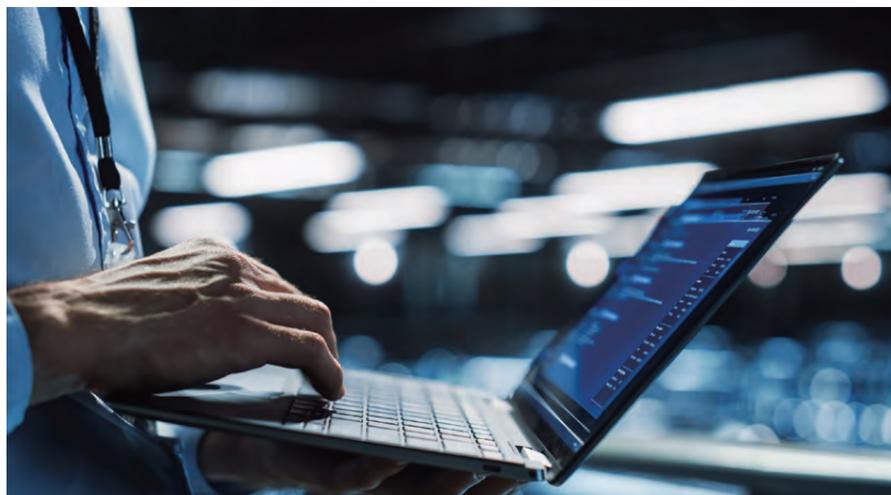
スマートビルディング・デジタルソリューション分野ではさまざまな社会課題を解決すべく、社内外との連携により、ビル管理の自動化や利便性を向上するサービスなど、最先端技術とデザイン技術の掛け合わせによる環境、建物管理、就業者のQoL向上の各分野でスマートビルディングサービスの事業創生を実践し、新たな価値・ソリューションを創出しています。



06 メンテナンス企画・設計分野

当社の強みの一つとして、長期的なお客さまへのフィールドサービス事業があります。このフィールドサービス事業は市場情勢や景気に大きく左右されず一定の安定収益を作り出す、当社の業務基盤です。

メンテナンス企画・設計分野では、この長期的なメンテナンス業務を企画、統括、支援しています。



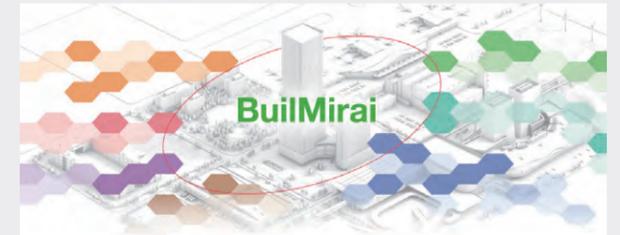
事業領域

1 昇降機事業のライフサイクル

昇降機のライフサイクルは【新設】【メンテナンス】【リニューアル】に分かれます。新設は新しく昇降機を取り付ける工程をさし、その後のメンテナンスでは、引き渡し後の整備や修理で性能を維持します。リニューアルは古くなった昇降機の入替や修理を行います。開発・設計はこれらの該当する工程に関わっていただきます。

2 ビルソリューション事業の概要

当社ではビルに必要な設備(プロダクト)を取り扱いながら、それらをOTの技術で制御運用、さらにIT(先進のデジタル技術)で繋げることで、先進的なIoTプラットフォームを構築しています。現在注力しているサービス【スマートビルソリューション】は、昇降機の遠隔監視で得たノウハウを生かし、設備、人流等、ビル内のあらゆるデータを蓄積～見える化～分析をしています。IoTプラットフォームで得た情報をもとに、スマートシティに代表される新たなサービスを立ち上げ、ビルの所有者様や利用者様に快適かつ付加価値の高い新たなサービスをトータルで提供しています。



主な昇降機の一例

1 オーダー型エレベーター

建物のコンセプトや用途に応じてデザインするエレベーターです。超高層ビルや大規模施設に対応する高速大容量エレベーター、リゾート施設、ショッピングセンターの空間を華麗に演出する展望用エレベーターなど、都市空間に応じたスタイルを提案します。



2 エスカレーター

最新のエスカレーターは、インター制御を用いて突然の停止時に転倒を防ぐソフトストップ機能や、ハンドレールからの乗り出しを防ぐ注意喚起機能など、安全機能が充実しています。また、欄干照明のLED化により、省エネルギー性も向上しています。



3 標準型エレベーター

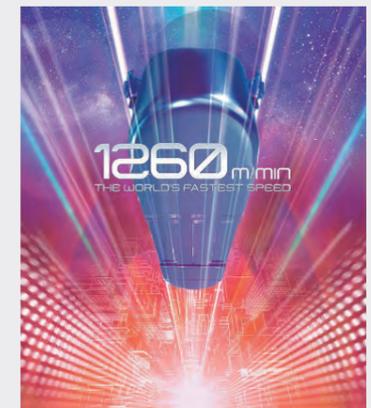
4つのPlusでさらなる進化を遂げた、当社標準型エレベーター「アーバンエース HF Plus」。デザイン・DX化・レジリエンスの向上など多くの最新技術が搭載されています。また、乗り場にも監視映像を表示できる「かご内防犯カメラ」や、行き先階を第三者に見せない「シークレット運転」などで、セキュリティを強化、天井照明のオールLED化や再生電力を有効利用する機能などで、省エネルギー性をさらに高めています。

特徴的な技術

1 【日立の超高速エレベーター】分速1,260mの世界最高速を実現(※)

※2025年9月時点、日立調べ

日立は100年以上にわたりエレベーター開発を進め、都市の高層化と高機能化に貢献してきました。その成果の一例が、2019年に中国の「広州周大福金融中心」に納入された、分速1,260mの世界最速エレベーターです。「世界一のエレベーターをつくる」という精神は、日立技術者の心の中に脈々と受け継がれています。



2 人流予測型エレベーター運行管理システム「FI-700」を開発

大規模な複合ビル向けに、AIを活用した人流予測型エレベーター運行管理システム「FI-700」を開発しました。このシステムは、過去の運行データから利用人数を予測し、待ち時間を最大20%低減します。ビル設備とのデータ連携も可能で、移動効率を向上させます。

OTHERS

1 グローバル展開

当社グループは、水戸事業所をはじめ、中国の広州・上海、シンガポールに研究拠点を配置し、日本、中国、タイを中心に生産拠点を展開しています。加えて、中国や東南アジア、インド、中東における事業体制を強化し、海外売上比率はグループ全体の約6割に達しています。

3 エレベーター研究塔

中東や中国でのビルの高層化に伴い、大容量かつ高速なエレベーターの需要が高まっています。これに対応するため、当社では世界トップクラスの高さを誇る213mの「G1TOWER」で、様々なエレベーターの技術開発や試験を行い、高層ビル市場のニーズに応えています。

2 将来の取り組みについて

日立ビルシステムは、社会インフラであり、生活基盤である、ビルと街に焦点を当てます。環境課題に対するビルと街のグリーン化と、ビルと街に集う人々のQoL向上の二つの価値を同時に実現します。地球を守りながら、一人一人が安心して生き生きと暮らし・就業できる、ビルと街の実現に貢献していきます。

日立ヴァンタラ

お問い合わせ先

日立ヴァンタラ株式会社 採用担当
hv_japan_hr_ta@hitachivantara.com



所在地

本社
〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地
神奈川事業所
〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地
大森ベルポートB館
〒140-8573 東京都品川区南大井六丁目26番2号(大森ベルポートB館)

採用情報 日立ヴァンタラの新卒採用マイページはこちら

募集要項 日立ヴァンタラの募集要項はこちら



事業領域

ハイブリッドクラウド向けデータインフラ製品・サービスをグローバルに展開

お客様のデータセンター(オンプレミス環境)とクラウドを組み合わせたハイブリッドクラウド環境で、安全かつ柔軟なデータ活用を実現する製品・サービスを、世界100以上の国や地域で展開しています。ストレージやPCサーバを中心に、データ連携と高速計算処理を提供し、環境に配慮した製品開発に取り組んでいます。さらに、生成AIのビジネス利用を加速するAIインフラソリューションを提供。これらをお客様が柔軟に利用できる as a Serviceでも展開しています。



ハイブリッドクラウド・データプラットフォーム(VSP One)



ストレージ(VSP One Block他)



AIインフラソリューション(Hitachi iQ)

特徴的な技術

1 高信頼なストレージ技術とクラウドで社会インフラを支える

日立では独自開発したハードウェアとソフトウェアによる高性能・高信頼なデータストレージシステムを提供しています。特に、独自の仮想化技術により、金融や公共といったミッションクリティカルな社会インフラの重要業務をグローバルで支えてきました。さらに、これまで培ってきた技術をソフトウェア化し、Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloudといった主要なクラウドプラットフォーム上でも提供しています。従来の各企業が自社で保有するオンプレミスシステムとクラウド間で、シームレスなデータ連携を可能にし、効率的で柔軟な運用が可能なハイブリッドクラウド環境を実現、お客様のビジネス環境の更なる最適化を実現することができます。

2 企業の課題を解決する生成AI基盤の開発・提供

生成AI活用において、AIのトレーニングや推論のためには非常に大きなコンピューティングリソースを必要としています。日立ヴァンタラではサーバによる計算性能の追求だけでなく、AI分析の基となる大量データを抱えるストレージの処理性能を高める技術に着目し、高速なファイルシステムを実現することでAIの進化に貢献。そして、これらの技術とサービスを「Hitachi iQ」というソリューションで、Hitachi Vantara LLCとともにグローバルに商品展開しています。また、日立グループで提供される生成AI活用サービスを支える基盤としても採用され、生成AIの活用を支援しています。



OTHERS

数字でみる日立ヴァンタラ

<p>Fortune Global 100企業の</p> <p>86% が採用</p> <p>世界を代表する企業に選ばれ続けてきたことが、私たちの信頼の証です。</p>	<p>製品を提供している国・地域数</p> <p>100 以上の国と地域</p> <p>ビジネスや社会を支える製品を世界中に提供しています。</p>	<p>データインフラストラクチャ関連特許</p> <p>2000 件以上*</p> <p>データインフラストラクチャ分野で確かな実績を重ね、先進的かつ革新的な技術を開発し続けています。 *2025年7月時点の日立ヴァンタラの特許件数</p>	<p>企業向けストレージ製品開発・提供年数</p> <p>50 年以上</p> <p>日立のDNAを受け継ぐ日立ヴァンタラの製品・ソリューションは、長きにわたり社会インフラを支えて続けています。</p>	<p>プラスチック部品の再生材比率</p> <p>最大50%*</p> <p>ストレージ製品に再生材を活用し、持続可能なIT利用の実現に取り組んでいます。 *再生PC(ポリカーボネート)を使用している一部のプラスチック部品における再生材比率</p>
---	---	---	--	---

革新的なデータ基盤でビジネスを支え

データの力で未来を拓きます

デジタル技術の進展や生成AIの台頭により、データ活用の重要性が高まっています。日立ヴァンタラは、お客様のデータ活用に不可欠なデータインフラ製品・サービスを提供しています。シリコンバレーに本拠を置く

Hitachi Vantara LLCとの一体運営で、グローバルにビジネスを展開。世界的なビジネスネットワークを活かしてイノベーションを加速していきます。私たちと一緒に、データインフラの未来を創造しませんか。

募集職種	研究開発 設計開発 システムエンジニア 生産技術 品質保証 営業技術 その他
卒業学部学科系統	機械工学 電気・電子・通信工学 情報工学 化学 物理学 数学 経営工学 土木工学・建築・環境工学 エネルギー・資源工学 その他
事業分野	デジタルシステム&サービス エネルギー モビリティ コネクティブングストリーズ 研究開発 コーポレート

JOB CATEGORIES / MATCHING FIELD

システムエンジニア

様々な業界・業種のお客様向けに、生成AIやハイブリッドクラウドサービスなどの最新技術と日立ヴァンタラのIT製品を組み合わせ、高信頼なITソリューションを提供しています。お客様の困りごとやご要望をよくヒアリングし、最適なITインフラを提案・構築し、課題解決しています。社内の他部門(営業部門・設計開発部門など)と密接に連携し、社会イノベーション事業に貢献できるやりがいのある職種です。

ハードウェアエンジニア

データインフラ製品向けの組み込みソフトウェアの企画、仕様決定、設計開発を担当します。グローバルなプロジェクトで海外メンバーと協力しながら革新的な開発に取り組み、世界中のお客様のデータを守るシステムを構築する、非常に刺激的な職場環境です。

プロダクトマネージャ/製品企画

データインフラ製品の未来を描き、数千億円規模の事業の方向性を決める製品戦略を担います。海外チームと一体となり、市場や技術の動向、お客様の声をもとに戦略を立て、製品を世界中に送り出すことで、社会インフラを支える実感が得られます。ビジネスを成功させる仕組み、競合に勝つ戦略、顧客に価値を届ける発想など、多様な視点が必要で、自分の考えを製品に反映できる、やりがいのある職種です。

ソフトウェアエンジニア

データインフラ製品向けソフトウェアの企画、仕様決定、設計開発を担当します。グローバルなプロジェクトで海外メンバーと協力しながら革新的な開発に取り組み、世界中のお客様のデータを守るシステムを構築します。ハードウェア制御だけではなく、ユーザ操作I/FとしてのAPIやGUIの設計・開発、AWSやAzure等と連携したシステム設計など、幅広い技術領域に挑戦できる環境です。常に新しい発想と技術に触れられる、非常に刺激的な職種です。

品質保証・保守

データインフラ製品・サービスの品質保証業務を担当します。検証を通じて製品・サービスを深く理解し、お客様サポートや保守サービスなども行います。品質・サービスの品質と顧客満足度の向上に貢献する職種です。

サプライチェーンマネジメント

不確実性が高まる世界情勢に即応し、100以上の国と地域のお客様へ確実に製品をお届けする、ジャストインケース型サプライチェーンを構築します。生産技術エンジニアは、国内外の製造拠点と連携し、品質の安定と生産効率向上を担います。サプライチェーンエンジニアは、国内外の部品サプライヤ・製造・流通・販売拠点をデータで繋ぎ、サプライチェーンの効率向上を担います。

日立産業制御ソリューションズ

お問い合わせ先

総務統括本部 人事教育部
採用担当
0120-527-440
お問い合わせフォーム

フォーム



WEB



所在地

東京本社

〒110-0006
東京都台東区秋葉原6番1号
(秋葉原大栄ビル)

茨城支店

〒310-0011
茨城県水戸市三の丸一丁目
4番73号(水戸京成ビル)

茨城本社

〒319-1221
茨城県日立市大みか町
五丁目1番26号

中部支店

〒460-8435
愛知県名古屋市中区栄
三丁目17番12号(大津通電気ビル)

横浜事業所

〒244-0817
神奈川県横浜市戸塚区吉田町
292番地

関西支店

〒530-0005
大阪府大阪市北区中之島二丁目3番18号
(中之島フェスティバルタワー)

茨城第一事業所

〒319-1293
茨城県日立市大みか町五丁目2番1号
(日立製作所 大みか事業所構内) 茨城第一事業所

西日本営業所

〒730-0036
広島県広島市中区袋町5番25号
(広島袋町ビル)

勝田事業所

〒312-0034
茨城県ひたちなか市塚口832番2
(日立システムプラザ勝田)

名古屋オフィス

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄
3丁目14番15号(スギビル)



OT×デジタルで次の安全・安心・快適な社会へ

私たちが考える「次の」安全・安心・快適な社会とは、日立産業制御ソリューションズがめざす未来は、テクノロジーと人間が完全に調和し、人々が楽しく暮らせる社会です。今後、AIやデバイス、センサーや通信などの最新テクノロジーが発展し、まだデジタル化されていない人・モノの動きや人の考え、心理までもがデジタル化される世界の訪れが見込まれます。そこでは、現場で働く人が機械にあわせるのではなく、機械のサポートを得て心理的負担が解消された状態

で安全に作業ができます。また、人物の行動を映像のような人間の五感に近い情報をもとに見極め、安全の先にある安心なエリアが広がります。さらに高齢者などが誰にも遠慮することなく、自由かつ快適に行動できるような自動運転のオンデマンドモビリティサービスが実現されます。日立産業制御ソリューションズはそんな「次の」安全・安心・快適な社会の実現に取り組みます。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エナジー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES 職種紹介

システムエンジニア

当社のシステムエンジニアはOT、IT、組込みに分かれます。OT系(Operational Technology):さまざまな業界の現場において、お客様の業務を理解し機械や設備を最適に動かす制御システムを企画・設計・開発します。IT系(Information Technology):お客様の経営課題を解決するシステムを企画・設計・開発します。また、高度な情報処理技術を活用したデータ解析などのエンジニアリングも行います。組込み系:お客様の製品に求められる最先端の技術や機能を提案、実現する組込みハード・ソフトの設計・実装・評価を行い、製品開発を支援します。

設計開発

進化する技術を反映し、製品として結実させ世の中に新しい価値を提供していくことが、設計開発の役割です。時々刻々と変化するマーケット動向や社会的ニーズに即応して、機器やシステムの企画・開発から製品化までを手がけます。産業ソリューション、社会・公共ソリューション、コネクティブエンジニアリングの分野において、システムや製品などのハードウェア・ソフトウェア設計・開発、プラント設備の設計・解析シミュレーションや計装制御設計を行います。

品質保証

各事業における製品の品質保証(検査・合否判定)のみならず、受注前から設計計画に関与し、全開発プロセスにおいてお客様視点でレビュー・検査を実施しています。「品質」を「ご満足いただける製品完成度・サービスレベル」と定義し、機能性・信頼性・保守性・使用性などを多角的にチェック。お客様の期待に応える高品質を実現し続けるための施策・仕組みづくりも行います。

MATCHING FIELD マッチング分野

01 SE (電力・エネルギーシステム IT系、OT系)

電力業界向け関連システムのフロント業務もしくは、開発を担う。社会インフラを支える電力の安定供給に貢献する業務となり、要件定義、開発、テストまで一貫した業務を行う。



02 SE (水環境システム IT系、OT系)

社会生活を支える上下水道のインフラを最適に稼働させる監視制御システムの設計開発を行う。各自治体の上下水プラントにおいて、インフラを最適に稼働させるための制御ソフト作成と内部仕様設計や、電気設備において盤ハード製作設計から監視制御システム設計を行う。



03 SE (鉄道・モビリティシステム OT系)

鉄道事業者向けを中心とした監視・制御システムのシステム開発全般(要件定義、基本設計、詳細設計、製作、試験および現地調整)を行う。
・Visual Information System
・設備状況監視システム



04 SE (鉄道・モビリティシステム IT系)

鉄道事業者向け基盤システム開発、維持保守を行う。
・設備・保守管理/運行管理システム(新幹線/在来線)
旅客向けシステムのアプリケーション開発、インフラ設計・構築を行う。
・ICなど発券端末/ポイント管理システム



05 SE (道路システム IT系、OT系)

安全・安心に利用できるよう高速道路に設置されている照明設備や情報板設備などの監視・制御システムの設計・開発業務を行う。お客様へのシステム提案から上流設計・詳細設計・製作・現地調整(納品)まで一貫して行う。



06 SE (防災システム IT系、OT系)

公共・防災系の情報システムや民需向け情報システムにおいて、設計・開発業務を行う。要件定義からエンドユーザーへの納品まで幅広く携わり、防災に関するトータルソリューションを提供する。



07 SE (社会インフラ IT系)

官公庁、通信キャリアなどが提供する社会インフラにかかわる情報システムにおいて、システム開発全般(要件定義、基本設計、詳細設計、開発、試験、データ/システム移行、現地調整、維持保守、およびPMサポート業務)を行う。



08 SE (金融システム IT系)

金融機関向けシステムの設計、開発全般(開発提案・設計・開発・テスト・保守)を行う。



09 SE (ディフェンスシステム IT系)

ディフェンスシステムのフロント業務もしくは、開発を行う。ディフェンスシステムの開発提案、設計、開発、試験、構築、保守までを担当し、社会インフラに貢献するトータルソリューションの幅広い業務に携わる。



10 SE (映像応用ソリューション IT系)

映像監視、解析技術を利用したセキュリティシステム、インシデントなどの自動検出システムのシステム開発全般(要件定義、基本設計、詳細設計、製作、試験および現地調整)を行う。



11 SE (産業分野向けIT系/ERP、ロジスティクス、パッケージ開発、システム開発、AI)

・お客様の運用に合わせた仕様の提案・設計を行い、最適なシステムを導入する。(基幹系システムERP(主にSAP)、ロジスティクス、AI、情報システム)
・自社パッケージの開発・導入・保守を行う。(設備・資産管理システム「SmartFAM」、ロジスティクスソリューション「NEUPLANET」/シリーズ、マルチコンタクトセンターソリューション「TELEPHONYMASTER」)

12 SE (産業分野向けOT系/医薬品、自動車、鉄鋼、加工組立、食品、ガス、化学、空港)

各業種(医薬品、自動車、鉄鋼、加工組立、食品、ガス、化学、空港)の製造工場・生産プラントにおいて、安全・安心な生産を支援する製造実行システム(MES)や設備制御・監視システムの開発・導入を行う。(医薬品・医療機器製造業向け製造管理システム「HITPHAMS」、データインテグリティプラットフォーム「DI-PF」、食品・化学組立製造業向け製造実行システム「ProductNEO」、自動車工程管理システム「NXAUTO」、生産スケジューラ「Asprova® APS」、統合監視制御システム「Integrate SCADA」)

13 SE (産業分野向けOT系／医薬品、自動車、加工組立)

各業種(医薬品、自動車、加工組立)の製造工場において、安全・安心な生産を支援する製造実行システム(MES)の開発・導入を行う。(医薬品・医療機器製造業向け製造管理システム「HITPHAMS」、製薬業界向けの品質イベント管理システム「TrackWise」、GMP文書管理システム「HITQUAA」、バリデーションライフサイクル管理システム「iVal」、加工・組立製造業向け製造実行システム「MONOSOLEIL」、自動車工程管理システム「NXAUTO」、生産スケジューラ「Asprova® APS」)

15 組み込みSE (ソフトウェア：自動運転システム、IoTデバイス(画像認識、セキュリティ))

自動車および産業機器で使用される、組み込みソフトウェア/ITソフトウェア/クラウドシステムの設計・開発を行う。

- ・車載情報(自動車向けコックピット)システムの upstream 設計
- ・車両制御システム(MBD応用開発)の設計・開発
- ・センシングシステム、コネクテッドシステム(自動車・建設機械ほか)
- ・組み込みOS/プラットフォーム、サイバーセキュリティ対応、映像監視システム
- ・製造DX(半導体製造ほか) ・AIエージェント(生成AI活用ほか)

17 組み込みSE (ハードウェア：半導体内部論理設計 (LSI/FPGA))

LSI, SoCなどの半導体内部の論理設計、および、半導体論理の評価を行う。

- ・半導体メーカー向け論理設計
- ・半導体メーカー向けテスト設計
- ・産業機器向けFPGA設計

19 組み込みSE (ハードウェア：自動車、鉄道車両、インフラ制御機器(発電/送電/水道))

自動車に搭載される組み込み機器、および、電力・エネルギーシステムの仕様設計および回路設計、評価を行う。

- ・鉄道システム向けハードウェア開発 ・自動車用の制御機器設計
- ・電力システム

21 ソフトウェアエンジニア (ソリューションパッケージ IT系)

CAD、CAE、鋳造パッケージ、学校給食管理システムなどのソフトウェア開発全般(企画、基本設計、詳細設計、製作、試験)と、それらを使用したソリューションのシステム開発全般(要件定義、基本設計、詳細設計、製作、試験および現地調整)を行う。

23 ハードウェアエンジニア (制御装置設計)

発電プラントや送変電設備において、お客様の要求仕様に基づく監視制御システムの全体システム設計、および制御装置の電気回路設計を行う。また、制御盤の筐体構造設計から実装器具の実装・配線設計まで制御盤製作に関わる設計全般を行う。

25 プラントエンジニア (解析シミュレーション、計装制御システム)

発電プラントの設備等について、設計・各種解析シミュレーション(安全解析、耐震解析 他)により安全性・健全性を評価する。また、安全な運転のために、プラントデータを計測・制御するシステム設計を行う。

14 組み込みSE (ソフトウェア：医療用画像システム)

医療用製品に搭載される医療情報システムに関する組み込みソフトウェアの設計・開発を行う。

- ・医療用画像システムを主とした医療情報システム
- ・AIで医療従事者をサポートするシステム

16 組み込みSE (ソフトウェア：自動車、建設機器、鉄道車両、医療用画像システム(AI・画像認識))

自動車および産業機器に搭載される、組み込みソフトウェアの設計・開発を行う。

- ・車載情報(自動車向けコックピット)システム、センシングシステム
- ・自律制御システム(自動車・建設機械ほか)、組み込みOS/プラットフォーム
- ・サイバーセキュリティ機能、半導体製造機器、鉄道システム、医療機器、医療情報システム、AUTOSAR、産業機器

18 組み込みSE (ハードウェア：自動車(回路/機械/解析シミュレーション))

自動車および産業機器のハードウェア設計・開発を行う。

- ・車載情報(自動車向けコックピット)、車両制御システム(電動化機能)
- ・機能安全&セキュリティ、統合解析、パワーエレクトロニクスプラットフォーム
- ・デジタル回路、無線ソリューション

20 ソフトウェアエンジニア (生産・情報システム IT系)

業務系ITシステムのコンサルティング(適用ソフト選定、業務適用コンサルティング)および、システム開発全般(要件定義、基本設計、詳細設計、開発、試験および現地調整)を行う。

22 ソフトウェアエンジニア (電力・エネルギーシステム IT系、OT系)

発電プラント(原子力・火力)の安全かつ安定した運用を支える制御・監視システムのソフトウェア開発を行う。業務は、機能設計・詳細設計・製作・試験・現地調整まで一貫して担当する。

24 ハードウェアエンジニア (産業分野向け画像検査装置)

医薬品、飲料品の画像検査装置(画像やAIを活用し、容器に格納された医薬品の異物混入検査、容器のキズの有無、飲料缶の刻印検査などを行う検査装置)の設計・開発・導入・保守を一貫して行う。

26 品質保証 (OTシステム)

産業分野の工場向け製造実行システムやプラント設備向け監視制御システム、社会・公共分野の上下水監視制御システムや道路施設の監視制御システムなど、情報制御システムに関するドキュメント・プログラムの検査、試験結果の評価を行う。また、現地納入後の動作確認・試運転を行う。

事業領域

1 産業ソリューション

医薬品・食品・自動車・鉄鋼プラントなどの産業分野において、生産制御システム開発、自社パッケージ開発、経営系基幹システム開発、産業向け情報システムの構築、AI・ビッグデータ解析などを通じてプラントの高効率・高品質化を支援しています。



3 コネクティブエンジニアリング

自動運転における車載情報システム・車両制御のほか、映像処理、カメラ機能・回路設計、ロボティクス、画像技術をつかったハードウェア製品、さらに、工場をIT化・ビジュアル化し状況を可視化するサービスまで、民生用・産業用を問わず高度な技術を幅広く提供しています。

4 品質保証

全3事業における製品・サービスに対する品質保証業務を担うほか、プロジェクト管理・プロジェクトマネージャ育成なども実施し、設計段階から出荷まで当社製品・サービスの維持・向上を図ります。

特徴的な技術

OT×デジタル

Q: OTって何?

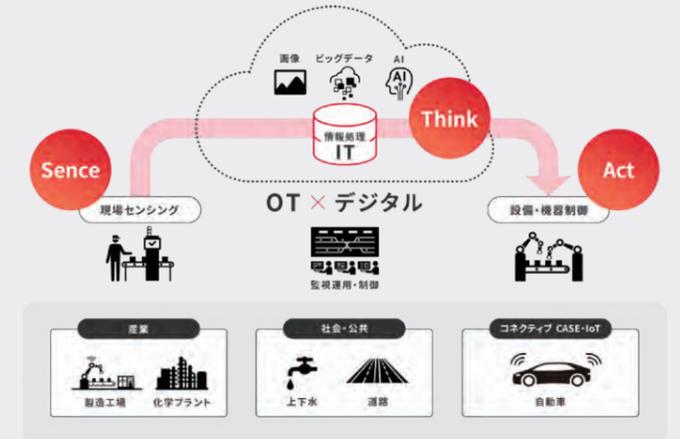
A: OTはOperational Technologyの略で、製造工場や化学プラントなど産業分野、鉄道や上下水道などの社会インフラで、設備、システムを最適に動かすための「制御・運用技術」です。

Q: OT×デジタルで何ができるの?

A: 日立産業制御ソリューションズが長年培ってきた「OT」技術を基軸に、AIを活用した画像応用、データ分析などの「デジタル技術」を組み合わせ、現場運用に適したDX化により、お客様の新たな価値創造に貢献します。この「OT×デジタル」の分野で、唯一無二の存在となることをめざしています。

2 社会・公共ソリューション

上下水や交通、電力など公共・社会分野向け制御システム・情報システムや、構造設計を行うプラントエンジニアリングなど、社会・公共分野で制御、情報システムを提供しています。



OTHERS

「PJじぶん2.0」

「PJじぶん2.0」は、社員一人ひとりが思い描くキャリア・夢を実現するため「なりたいじぶん」に向けて成長していけるよう、会社がサポートしていく取り組みです。

自律的学び

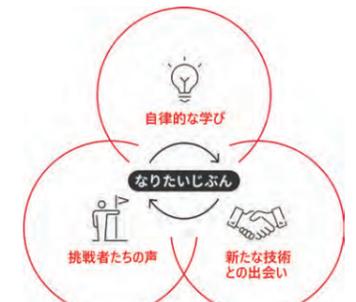
スタディサプリ* / 情報処理試験対策講座 / オーディオブックなどの教育メニュー(14,000講座以上)からキャリア志向に合わせ自由に選択し、自発的に学べます。
*スタディサプリは、株式会社リクルートの登録商標です。

挑戦者たちの声

キャリアを考えるヒントとして、社員のキャリアインタビューやスペシャリストエンジニア、各種資格取得者の声などを発信しています。

新たな技術との出会い

視野を広げるため、新たな技術(スキル)などの講演会や交流会の情報を提供しています。



日立プラント コンストラクション

お問い合わせ先

人事総務本部
総務部
教育採用グループ
03-6758-2199
recruit.hpc.jt@hitachi.com



所在地

本社 〒170-8630
東京都豊島区東池袋三丁目1番3号
ワールドインポートマートビル

茨城事業所 〒317-0073
茨城県日立市幸町3-2-2

茨城事業所 〒312-0003
たら崎工場 茨城県ひたちなか市足崎西原1370-1



MATCHING FIELD マッチング分野

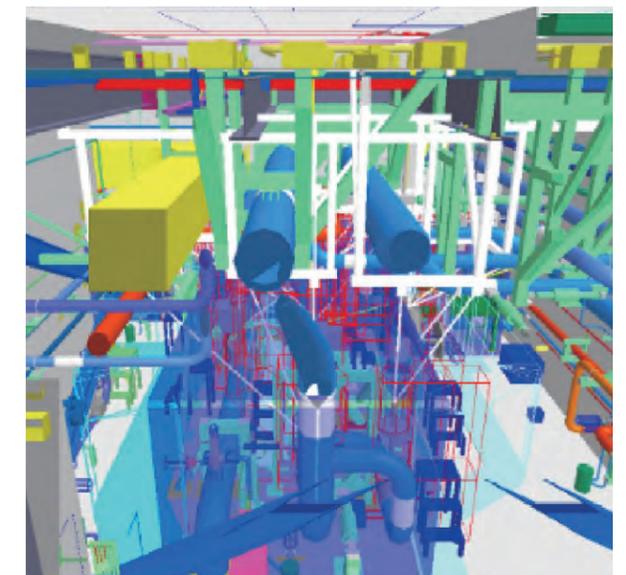
01 原子力(施工管理)分野

原子力プラント建設における施工計画策定(手順・人員等)、人員・資器材の手配調整、各作業工程における管理・監督や現場サイドでの安全・品質・工期・コストの管理および作業監督を行う分野です。



02 原子力(設計)分野

原子力プラント建設に必要とされる機械設計、電気・計装設計、空調設備設計、あるいはシミュレーション解析・評価など、詳細設計を行う分野です。



人々が安心できる明日を建設しよう

私たち日立プラントコンストラクションは、原子力発電、水力発電、パワーグリッドなど安定的で環境価値が高いエネルギー関連事業や地球温暖化問題の解決への貢献が期待される交通事業、それぞれの分野におけるエンジニアリング、建設工事、メンテナンスを通じて脱炭素社会の実現に大きく貢献しています。またデジタル技術や仮想現実(VR)技術を駆使したシミュレーション技術、さらに現場作業を効率化できる設備開発などの技術開発にも積極的です。今後も国内外の社会・産業インフラにおけるエンジニアリング・施工技術を通じて、豊富な経験と高度な技術でリーディングカンパニーをめざします。

募集職種	研究開発	設計開発	システムエンジニア	生産技術	品質保証	営業技術	その他			
卒業学部学科系統	機械工学	電気・電子・通信工学	情報工学	化学	物理学	数学	経営工学	土木工学・建築・環境工学	エネルギー・資源工学	その他
事業分野	デジタルシステム&サービス	エネルギー	モビリティ	コネクティブインダストリーズ	研究開発	コーポレート				

JOB CATEGORIES 職種紹介

プラント設計職種

業界ごとに分かれ、それぞれのお客様のニーズに対して、コンサルティングからシステム構築、運用フォロー・保守まで技術的な面から総合的なソリューションを提供します。社会や人々の暮らしに不可欠なITシステムやソリューションをお客様とともに提供していきます。

研究・開発職種

「研究・開発」職種は、受注・設計・工事・検査までの一連の工程と安全管理までの全体の流れをデジタルに管理する「ICT Construction®」の推進・拡大など、工期短縮や作業の安全性・効率化に貢献する様々な工法または施工工具の開発と、建設現場へのデジタル技術の導入・活用を担います。

施工計画・管理職種

「施工計画・管理」職種は、「プラント設計」職種と連携しながら、現場において顧客やメーカー、ゼネコン等多くの企業と連携・調整のうえ、協力会社の作業者を指揮し、安全、品質、工程、コスト管理を行いながら工事を完遂させる役割を担います。

研究・開発職種

各種管理業務の推進リーダーとして、「品質管理・品質保証」「安全管理・安全指導、安全活動の企画・推進」または「原子力発電所従事者が安心して働けるための放射線管理」を担います。それぞれの管理職種ごとにスペシャリストを育成、配置します。

03 機電(再エネ・変電・交通)分野

水力発電所、変電所、車両検修設備やモノレールシステム機器など鉄道関連設備、各種工場設備など多種類のプラントにおいて主要機器の据付工事を行う分野です。



04 放射線管理分野

「放射線管理」の分野は、放射線測定器を用いた作業環境の放射線計測や評価、適切な個人線量計の着用計画と被ばく線量評価など、原子力事業の遂行にあたり、放射線下で働く方々のサポートを行う非常に重要な分野です。



事業領域

1 原子力事業

当社の原子力事業の歴史は長く、1970年日本原子力発電(株)殿の敦賀原子力発電所1号機の建設開始より原子力事業に貢献してきました。長年の経験に加え、自社の独自技術や工法、自社開発の製品などを活かし、より高いレベルの安全性、効率性を考え事業を実現しています。原子力発電所の主要設備である原子炉、タービン、発電機および原子力核融合関連研究施設・核燃料再処理施設などの施工計画、建設工事(計画・製作・据付)、予防保全(改造工事・更新工事・メンテナンス)を中心に、原子力発電のさまざまな業務に対応しています。



3 交通事業

鉄道事業は移動手段・輸送手段のなかで、エネルギー効率が高く、環境負荷が小さいため、地球温暖化問題の解決への貢献が期待されており、道路渋滞の解消が見込まれることから、世界中で鉄道の整備が進められています。当社は、鉄道運営に欠かせない、鉄道車両メンテナンス設備の納入や動力源となる電気設備の据付工事の提供を通じて、サステナブルな社会における鉄道の発展に寄与する事業を行っています。豊富な海外案件の実績から、主に国外のプロジェクトに携わっており、当社は海外プロジェクトにおいて車両メンテナンス設備をワンストップでまとめあげることが出来る、数少ない日系企業の一つとなっています。



特徴的な技術

1 装置開発-廃炉ビジネス基盤構築

バンドソーを用いた切断においては、①切断対象への刃の挟まれ、②極度の切り曲り、③著しい刃の欠損、が問題となります。これらの問題に対し、切断対象への刃の挟まれ、極度の切り曲り、著しい刃の欠損の予兆を検知し、回避する自動運転ロジック実現の見通しを得ました。その結果、監視人員を75%削減可能見通します。



2 変電事業

発電所で発電された高圧の電力を消費者が使用するために不可欠な変電所。電力インフラに欠かせない設備であり、高い安定性と安全性が求められる設備です。当社の変電事業は、主に変電所の主要機器の据付や土木・建築工事、鉄塔などの付帯設備の設計・施工・納入などを行っています。

これらの工事において、当社は長年の経験と専門的な知識の蓄積を活かした効率的な工法検討や、ITを活用した業務支援システムを当社独自の強みとして、より安全に安定的な電力供給ができる設備の建設に貢献しています。当社の変電所事業はお客様より高い評価を得ており、国内だけでなく、海外にも進出し、活動領域を拡大しています。



4 再生可能エネルギー事業

現在世界的に脱炭素社会への取り組みが加速し、温室効果ガスの排出が無い再生可能エネルギーへの注目が高まっています。太陽光・風力・水力といった再生可能エネルギーは、国内で生産できる低炭素のエネルギー源であり、その安定供給に向けた取り組みが続けられています。当社は、発電施設の施工をコア事業として発展を続けてきました。長年に渡ってエネルギー事業に携わってきた実績・知見・ノウハウは、再生エネルギー分野にも活かされています。機器据付における長年の経験蓄積や研究開発による高度な施工技術は多くのお客様にご支持いただいております。社会貢献度の高い再生エネルギー分野でも、当社はお客様のご要望に合う据付工事をご提供いたします。



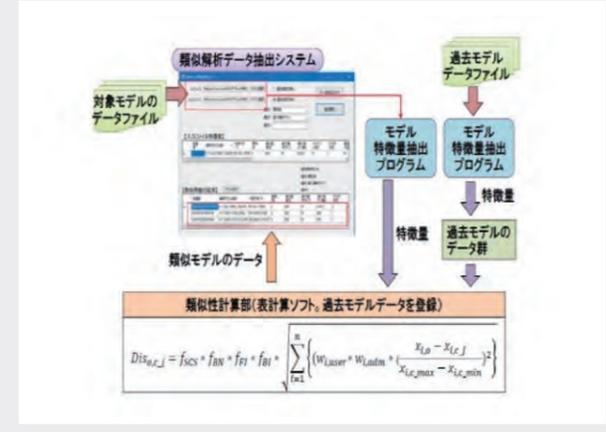
2 装置開発-免震装置を用いたエアコンシステムの開発

電力会社では、原子力規制基準への対応として低コスト化をめざした検討が進んでいます。それに対して、鉛直免震機構として荷重支持に定荷重ばねと動滑車を用い、復元機能にコイルばね、さらにクロスリニアベアリングなどを用いた水平免震機構とを統合させた耐震性を満たす免震構造を持った新たな三次元機器免震システムを開発しました。



3 ICT Construction®-新規制対応技術の構築

解析者のリソース不足や膨大なチェックエビデンスの作成およびチェック作業、作業許認可解析の品質維持等の問題に対応すべく、AIを活用し、過去モデルから類似モデルを自動抽出するシステムや荷重差替えの自動再解析を行うシステム、解析モデルの3D形状表示解析結果を色調で可視化するシステム等を開発しました。



5 生産性向上(支援技術)-ジャイロ効果を活用した吊荷の回転制御装置

東京電力福島第一原子力発電所の放射線量が高い場所で機材の搬入、設置を行う場合、作業員が吊荷に結び付けたロープなどを現場で持ち、吊荷の方向を制御しながら搬入を行うことは難しいです。その為、遠隔で吊荷の回転を制御する装置を開発し、吊荷の回転(動き)を止めるという特性から「ハチドリ」と名付け、現場で活用しています。



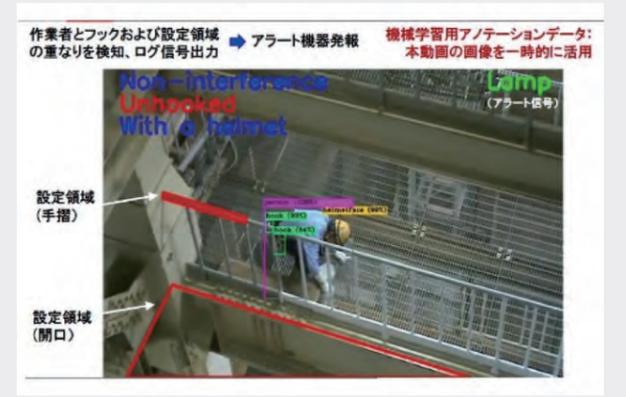
4 生産性向上(支援技術)-デジタル施工プラットフォーム

吊搬作業の実現性を検討するシミュレータにおいて、MR(Mixed Reality:複合現実)デバイスを用いて現場に重畳した実スケール3Dモデルを確認しながら吊搬アニメーションを作成する機能や3Dモデルと干渉物との距離計測を現場内で実施し、干渉物との距離がシステム画面上に自動的に表示する機能等を開発しました。



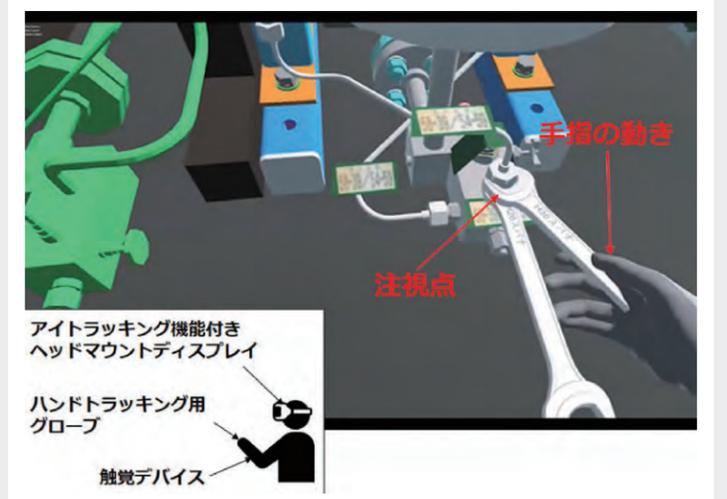
6 安全管理支援技術開発 - デジタル技術活用による現地 安全管理の高度化

現場では、労働力、熟練技術者の減少などに起因する災害発生件数が増加傾向にある為、ICTを活用したヒト、モノ、環境情報を共有した協調安全方策推進が必要となっています。本技術は、定点カメラからの画像情報とAI解析技術を活用し、①ヒト、モノを認識し、②相対位置関係で危険性を判定後、③アラートを発報し注意喚起を図る。というものになります。



7 デジタル技術を活用した技術伝承システム開発 - 熟練者ノウハウ活用に向けた技術基盤構築

建設業では、高齢層の増加と若年層の減少が顕著であり、将来的な熟練者の大量退職が予測されます。そのような中、熟練者や作業員は現場を渡り歩くことが多く、ノウハウ伝承が効率よくなされない為、デジタル技術を活用した熟練者ノウハウ伝承基盤を構築しました。



グループ会社に直接応募する場合(自由応募)

日立インダストリアル プロダクツ	<p>応募受付・選考方法は、「マイナビ2027」にてご案内。 ★採用関連イベント等のご案内を希望される方はマイページ登録をお願いいたします。 マイページ登録方法:当社HP「採用情報」→「新卒採用」→「ENTRY」ボタンをクリック</p> <p>【募集職種】 営業技術、設計開発、生産技術、品質保証、施工管理 ◆エントリーシートおよび適性検査による書類選考後、合格者は面接(2回予定)を実施</p>
日立グローバル ライフソリューションズ	<p>応募受付・選考方法は、「マイナビ2027」にてご案内。 【募集職種】プロダクトエンジニア(設計・開発/品質保証/製造・生産技術)、ソリューションエンジニア(技術営業/業務用空調・家電サービス/情報システム・IT)、提案・ソリューション営業(家電営業/業務用空調/営業企画)、マネジメント・プランニングスタッフ(経営企画/商品企画/事業企画/生産管理/資材調達/経理・財務/法務/人事・総務)など ◆エントリーシート、適性検査による書類選考後、合格者は面接(2~3回)を実施。</p>
日立チャンネル ソリューションズ	<p>自由応募についても職種別採用を実施。 応募受付・選考方法は、「マイナビ2027」にてご案内 【募集職種】 設計開発/システムエンジニア/品質保証/営業/資材調達/経理財務/人事総務/法務など ◆エントリーシート、適性検査による書類選考後、合格者は面接(2回予定)を実施。</p>
日立ハイテク	<p>応募受付・選考方法は、「マイナビ2027」および当社HPの「採用情報」ページにてご案内。 【募集職種】以下いずれかのコースを選択して応募。 エンジニア職(研究・設計開発/品質保証/生産技術/営業技術) 営業・事業スタッフ職(営業/経理/情報システム/人事総務など) ◆エントリーシートによる書類選考・適性検査後、合格者は面接(複数回)を実施。</p>
日立マネジメント パートナー	<p>応募受付・選考方法は、「マイナビ2027」および当社HPの「採用情報」ページにてご案内。 【募集職種】 システムエンジニア(ITエンジニア/業務エンジニア) ◆エントリーシートおよび適性検査による書類選考後、合格者は面接(2回予定)を実施。</p>
日立ビルシステム	<p>当社採用HPまたは、「マイナビ2027」よりエントリーをお願いします。 (自由応募でも職種別採用を実施しています。) 【募集職種(予定)】総合職(技術系): 製品開発/営業技術/ビルソリューション/設計/施工管理/品質保証/メンテナンス企画/設計/生産管理/社内IT/フィールドエンジニア 総合職(事務系):営業/財務経理/調達/人事総務 ◆書類選考・Web適性検査・面接(2回)を予定。</p>
日立ヴァンタラ	<p>応募受付・選考方法は、「マイナビ2027」にてご案内。 【募集職種】 技術系(理系の方):システムエンジニア、ソフトウェアエンジニア、ハードウェアエンジニア、品質保証・保守、プロダクトマネージャ/製品企画、サプライチェーンマネジメント等 事務系(文理不問):グローバル・ビジネス、営業、調達、事業企画、財務等 【選考方法】エントリーシートおよび適性検査による書類選考後、合格者は面接(2回予定)を実施。</p>
日立産業制御 ソリューションズ	<p>応募受付・選考方法は、「マイナビ2027」および当社HPの「採用情報」ページにてご案内。 自由応募でも職種別採用を実施、いずれかの職種を選択して応募。 【募集職種】 総合職(技術系)(文理不問、一部職種は理系の方のみ):システムエンジニア/設計開発/品質保証 総合職(営業・事務系)(文理不問):営業/経営サポート ◆書類選考(エントリーシート、適性検査)、面接(2回)を予定。</p>
日立プラント コンストラクション	<p>応募受付・選考方法は、「マイナビ2027」にてご案内。 【募集職種】 技術系総合職(文理不問):施工計画・管理/プラント設計/研究・開発/品質/安全管理/放射線管理 事務系総合職(文理不問):営業/コーポレート(経理財務・資材調達・人事総務・労働安全管理・社内情報ネットワーク管理 等) ◆エントリーシート、適性検査による書類選考後、合格者は面接(2回程度)を実施。</p>

Information

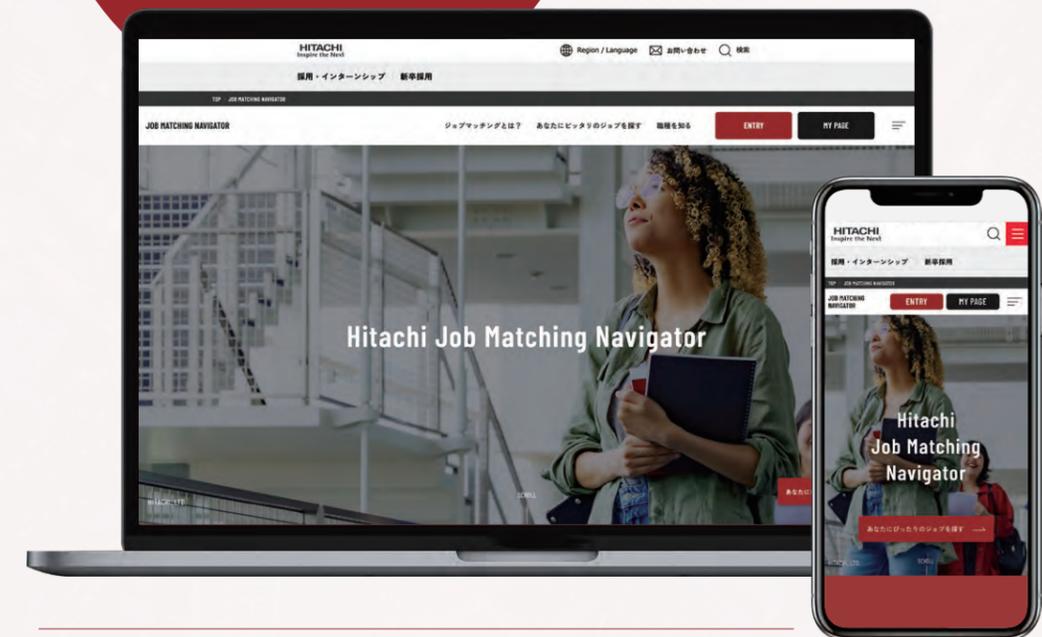
詳細情報はこちらから!

Hitachi Job Matching Navigator

WEBサイトでもご覧いただけます。



マッチング分野などの最新情報は
WEBサイトで随時更新しています。



WEBサイトへのアクセス

本冊子の各事業フィールド紹介ページ
「お問い合わせ先」にあるQRコードから、
それぞれのWEBサイトへアクセスいただけます。

HITACHI